

# 平城京出土陶硯集成Ⅱ

— 平城京・寺院 —



奈良文化財研究所



平城京より出土した陶硯

# 平城京出土陶硯集成Ⅱ

— 平城京・寺院 —

奈良文化財研究所

## 序

本書は平城宮跡から出土した陶硯を集成した『平城京陶硯集成Ⅰ－平城宮跡－』につづき、平城京城および南都の諸寺院より出土した陶硯資料を集めたものである。これにより平城宮、平城京城、南都の諸寺院の資料が出揃い、わが国における古代の陶硯の様相を知るうえで、一級の考古資料を提示することができた。

ここに集録した558点の資料と、『陶硯集成Ⅰ』を合わせると、1,000点以上にのぼる。これらは奈良文化財研究所の約50年に及ぶ平城宮、京、寺院の発掘調査の積み重ねによって、蓄積してきたものである。

律令国家を支えた文書行政の普及を物語る陶硯の出土は、全国の古代遺跡から確認されているが、言うまでもなく都が置かれた平城京からの出土数が群を抜いて多く、全国の出土数の2割程度にも相当する。

資料のなかには報告書の刊行に先立って報告したものも含まれるが、これは古代史研究における陶硯のもつ資料的価値をかんがみた結果である。本書を『陶硯集成Ⅰ』とあわせ、古代史の総合的研究に大いに御活用いただければ幸いである。

2007年3月

独立行政法人 文化財研究所  
奈良文化財研究所長

田辺 征夫

## 例 言

### 1. 掲載資料について

- (1) 『平城京出土陶硯集成Ⅱ-平城京・寺院-』（奈良文化財研究所史料第80冊）として公開するのは、2005年度までに奈良文化財研究所がおこなった平城京を除く平城京および寺院の発掘調査で出土した全ての陶硯である。ただし、平城京域外にあたる奈良山（平城ニュータウン）と法隆寺についても、平城京周辺の調査として掲載した。
- (2) 本書で扱った資料は、平城京371点、寺院187点、合計558点である。同一個体の可能性が高いが、接合しないものは、原則として別個体として扱ったが、実測図は合成したものもある。
- (3) 原則として踏脚円面硯や圓足円面硯などの定形硯および既刊の報告で陶硯である可能性が指摘されたものを対象とし、転用硯は除外したが「猿面硯」については掲載した。

### 2. 陶硯の種類について

- (1) 陶硯の種類については、基本的に下記の文献を参考にし、付図に示す名称を適用した。それら以外は特殊硯として一括した。なお、既報告や先行研究での細分を括弧内に記したものもある。  
踏脚円面硯は製作技法によるA・B、圓足円面硯は視面の形状によるa・b・cに細分した。  
奈良国立文化財研究所 1976『陶硯』『平城宮発掘調査報告Ⅶ』  
橋崎彩一 1982『日本古代の陶硯-とくに分類について-』『考古学論考 小林行雄博士古稀記念論文集』  
山中敏史 1983『埋蔵文化財ニュース41 陶硯陶硯文献目録』  
神野恵・川越俊一 2003『平城京出土の陶硯』『古代の陶硯をめぐる諸問題』 奈良文化財研究所

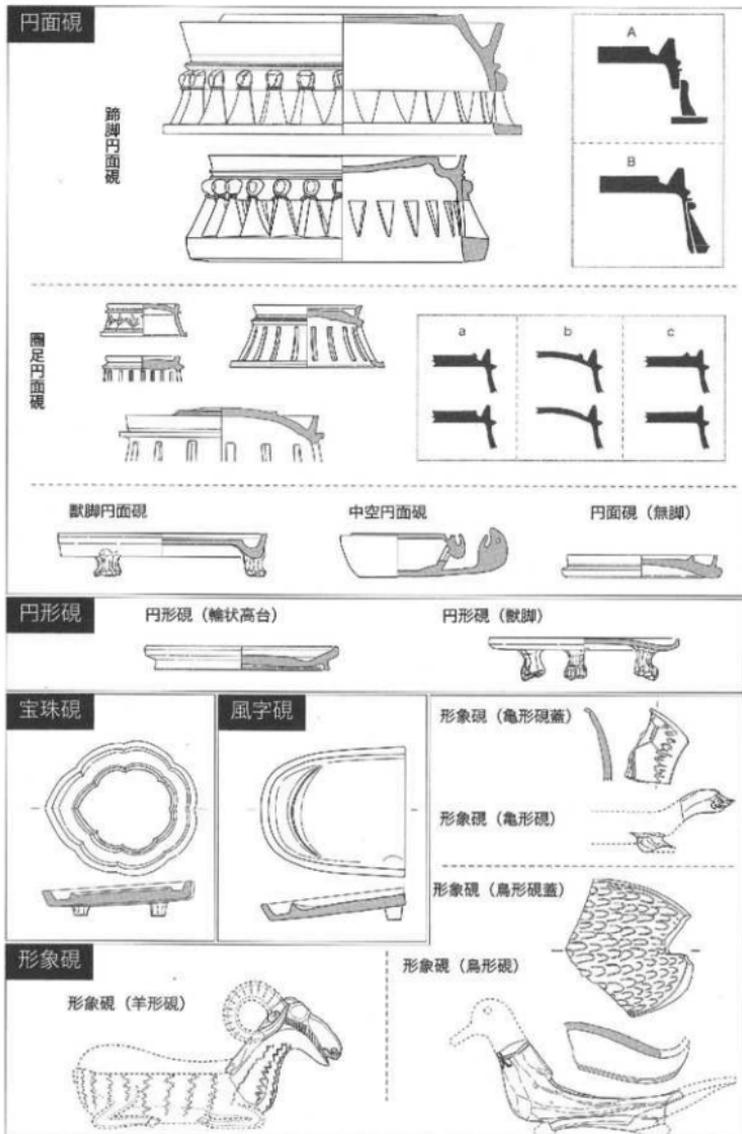
### 3. 資料の掲載順について

- (1) 資料は平城京、寺院の順に配し、遺物番号は平城京が1~300番代、寺院が400~500番代とする。平城京は回数順に、寺院は寺院ごとに並べた後、回数順に配した。回数内の順は、おおむね踏脚円面硯、圓足円面硯、その他である。

### 4. 本書の作成について

- (1) 資料の整理は都城発掘調査部長 川越俊一の指導のもと、考古第二研究室が担当し、西口宗生、玉田芳英、高橋克壽、神野恵、森川実、小田裕樹が携わった。資料整理および図版の作成には今津朱美、岡本真実、福田清美、丸山美和が協力した。
- (2) 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ章の執筆および第Ⅳ章の作成は、川越、西口、森川の協力のもと神野が担当した。
- (3) 本書に掲載した写真は奈良文化財研究所の牛嶋茂、中村一郎、鎌倉綾および西大寺フォト杉本和樹の撮影による。
- (4) 本書の編集は、都城発掘調査部長 川越俊一の指導のもと、考古第二研究室の神野が担当した。

付図. 陶硯の種類





## 目 次

I	はじめに	1
II	主要遺構概説	2
	第1節 平城京域の主要な調査	2
	第2節 寺院の主要な調査位置	4
III	平城京・寺院の陶硯について	6
	第1節 平城京の陶硯の出土傾向	6
	第2節 寺院の陶硯の出土傾向	7
	第3節 平城京・寺院の陶硯の種類	7
	第4節 出面硯の種類・法量・焼成	8
IV-1	平城京出土陶硯一覧表	9
IV-2	寺院出土陶硯一覧表	49
V	図 版	
VI	写真図版	

## 挿図目次

図1	平城京条坊図	1
図2	左京一条三坊・四坊の調査と陶硯の分布	2
図3	左京二条二坊・三条二坊の調査（B・D期）と陶硯の分布	3
図4	右京八条一坊十三・十四坪の調査（II期）と陶硯の分布	3
図5	興福寺の調査区	4
図6	薬師寺の調査区	5
図7	宮・京・寺院の陶硯の種類比	7
図8	円面硯の種類と外径径	8



## II 主要遺構概説

### 第1節 平城京城の主要な調査

左京一条三坊・四坊(図1-① 図2) 京都と奈良を結ぶ国道24号線のバイパス工事に伴う調査で、1969年から1970年にかけておこなった。平城宮に比較的近い立地で、十四・十五坪からは園池を伴う建物群が見つかったことから、有力貴族の邸宅と推定されている。奈良時代初頭から末期の3期の遺構変遷を確認し、1期のSD485からは、紀年木簡(713~717)や「和銅」と記す墨書土器とともに、多量の土器が出土し、「平城宮土器II」の指標となっている。ここからは形象硯(8)が出土しており、時期のわかる資料として注目される。東三坊大路は平安時代以降も平安京に続く主要な幹線道路として残り、東側溝SD650からは告知札など京都との往來を示す遺物とともに、9世紀初めから10世紀初頭までの遺物が多く出土した。埋土は上下層に大別でき、出土した銭貨、木簡、土器などから下層のSD650Aは9世紀前半、上層のSD650Bは9世紀後半に堆積したとみられているが、出土した陶硯はSD650A・Bともに圈足円面硯を中心に風字硯、黒色土器B類の風字硯を含むなど、内容に大きな差異は認められない。周辺でおこなわれた奈良市教育委員会の調査(市第440次など)によって、この一帯は平安時代に有力者が占拠していたことが確認されている。

左京三条二坊一・二・七・八坪(図1-② 図3) 本格的な調査は1985年にはじまり、1987年に「長屋王宮」と書かれた木簡が発見され、長屋王邸であることが明らかになった。7期にわたる遺構変遷を確認し、出土した遺物も膨大である。陶硯は138点数えるが、包含層からの出土が多く、遺構から出土したものは、長屋王邸時代(A~B期)のものはほとんど無く、長屋王自尽(729)後のC期以降のものが多く、とくに二条大路南側溝に沿って掘られた濠状土坑SD5100(C期)や、敷地を分割する坪境小路の側溝SD4229・4231・4361・4359・4589・4909(D期以降)からの出土が目立つ。陶硯の出土分布を、長屋王邸の時期(B期)の遺構配置と重ねると、正殿がある中央内部からの出土はなく、東内郭より分布が偏る。しかしながら、これら陶硯と長屋王邸との関連は、なお今後の検討



図2 左京一条三坊・四坊の調査と陶硯の分布

が必要である。また平城Ⅲの指標であるSD5100から出土した踏鞴円面硯B(258・278)は、その初現を考えたうえで注目される。

**右京八条一坊十三・十四坪** (図1-③ 図3) 1984年から1986年にわたる調査で4期の遺構変遷を確認した。奈良時代前半の紡造・漆工関連の工房跡が見つかり、十三坪内に工房の管理施設とみられる官衙風の建物群が展開することから官営工房の可能性が指摘されている。奈良時代後半には小規模宅地に細分されるが、陶硯の出土は、十三坪と十四坪を東西に貫く坪境小路の南北側溝SD1496・SD1499で、築地塀が切れる付近に集中する。この築地塀は後半にはなくなり、両側溝も幅を広げて付け替えられる(SD1500・SD1495)ことから、これらの陶硯は前半の官営工房に由来する可能性が高いとみられる。

**左京七条一坊十五・十六坪** (図1-④)

1994年から1995年の調査で6期にわたる遺構変遷を確認し、奈良時代を通じて官人の宅地であったことが推定されている。奈良時代末には建物規模の拡大や施設が充実した様子が何われ、周辺から出土した生産関係の遺物と合わせ、生産活動の場へと変化した可能性も指摘されている。この調査で出土した26点の陶硯の多くは東一坊大路西側溝SD6400から出土したものである。ここからは奈良時代から平安時代初頭の土器を含む遺物が多く出土しており、京城における陶硯の内容の一端を示すものである。

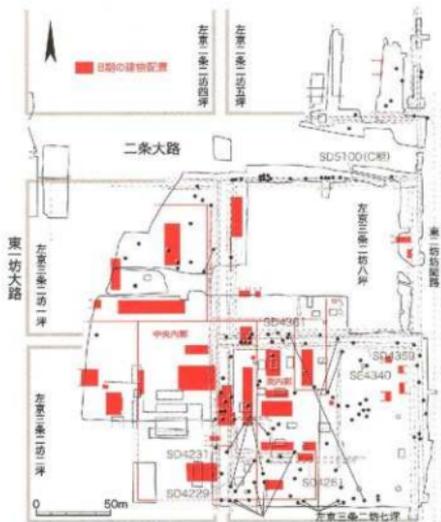


図3 左京二条二坊・三条二坊の調査 (B・D期) と陶硯の分布

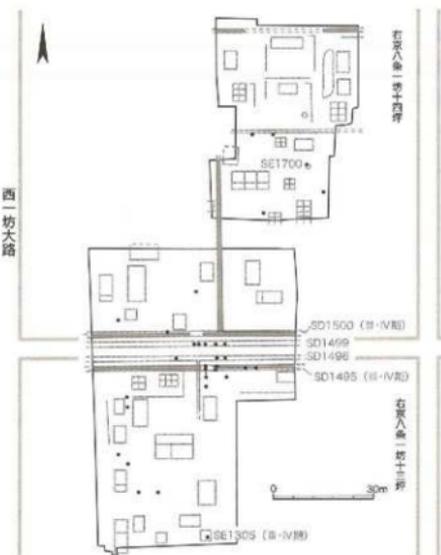


図4 右京八条一坊十三・十四坪の調査 (Ⅱ期) と陶硯の分布

## 第2節 寺院の主要な調査位置

寺院については各寺院ごとの調査の概要を述べる。興福寺一乗院と薬師寺の調査区については、既往の報告では調査位置が指示しないため、図4・5に掲げる。その他については、第IV章の一覧表に掲げた参考文献と『平城京条坊総合地図』<sup>37)</sup>を参照されたい。

**大安寺(6BDA)** 大安寺の発掘調査で陶硯が出土したのは、1975年度に奈良県教育委員会と共同でおこなった個人住宅の新築と駐車場造成に際する調査(奈文研第95-18次・奈良県75-1次)である。調査区は大安寺の北面中房推定地にあたる。

**法華寺(6BFK・6BFO)** 法華寺旧境内は現在では個人住宅になっている地域が多く、その新築や改変に伴う小規模な調査が多い。7点の陶硯が出土した第98-17次は法華寺境内での收藏庫建設に伴う調査で、SD03は法華寺の造営時の礎石建物雨落溝と考えられている<sup>38)</sup>。法華寺は平城宮東院地区を接するため、旧境内西寄りて出土した陶硯の中には平城宮で使用されていたものを含む可能性がある。

**元興寺(6BGN)** 奈文研がおこなった元興寺境内の調査は、1995年から始まった名勝旧大乗院庭園の史跡整備に伴う調査である。奈良時代の遺構は部分的に検出されているが、元興寺に関連するものは見つかっていない。

**法隆寺(6BHR)** 1978年から1985年度にかけて行った防災施設工事に伴う発掘調査<sup>39)</sup>が主体的である。遺構に伴って出土した陶硯はいずれも7世紀代のものも含まれる。本書では奈文研の発掘調査で出土した陶硯のみ掲載したが、保管品等については『法隆寺考古資料』<sup>40)</sup>を参照されたい。

**海龍王寺(6BKA)** 法華寺同様、旧境内地の多くは個人住宅になっており、調査も小規模なものが中心である。硯が出土したSD1140は海龍王寺の北を画する桑間小路の北側溝である。

**興福寺(6BKF)** (図5) 寺院出土資料のなかで最も点数が多いのは、1963年の奈良県地方裁判所の建設に伴う発掘調査でみつかった興福寺一乗院の宸殿下層土坑の資料である<sup>41)</sup>。一乗院は天禄元年(970)

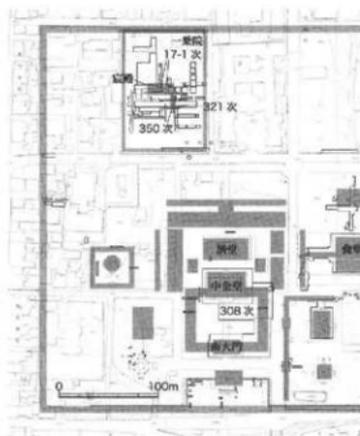


図5 興福寺の調査区

に創設された興福寺の子院である。この創建時の基壇土の下で検出した土坑から、多くの須恵器、土師器、瓦とともに奈良三彩や緑釉、灰釉、陶硯が出土し、一部は重要文化財に指定されている。共伴する土器は奈良時代末から平安時代初頭にかけてのものが主体的である。調査では一乗院創設前の壇上積基壇などを検出し、この地に堂舎が配されていたことを確認した。これらの陶硯は興福寺の何らかの機関で使用されていた可能性が高く、古代の寺院が所有する陶硯の様相を示すものであろう。出土した99点の大部分は小片であるが、同一個体は少なく、個体数の多さをうかがわせる。小型の圈足門面硯が多い点や圈足円面硯の硯面内面を朱用に転用するものがあるなど、奈良時代末の寺院の陶硯の使用実態を示す好例であろう。



### Ⅲ 平城京・寺院の陶硯について

#### 第1節 平城京の陶硯の出土傾向

これまで平城京の発掘調査は奈文研、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、大和郡山市教育委員会などが継続的におこなってきた。本書所収の陶硯資料は、奈文研による発掘調査で出土したものに限られることと、また、調査地は平城宮周辺が多いといった偏りがあり、規模にもばらつきがある点は指摘しておきたい。

先にも指摘したように、「硯」の使用実態の側面からみれば、転用硯の存在を無視することはできないが、陶硯の出土傾向が遺跡の性格に大きく関わることは言うまでもない。京成での陶硯の大きな出土傾向として、小規模な調査でも数点の陶硯が出土することもあれば、大規模な調査にも関わらず、ほとんど陶硯が出土しない場所がある点が指摘できる。

比較的まとまって陶硯が出土する場所には、有力な皇族・貴族の邸宅が挙げられる。左京三条二坊一・二・七・八坪の四町を占める長屋土邸は、先述のように出土した陶硯が長屋王家に帰属するとの確証が得られないものの、邸宅内に実務的な家政機関を持つことが明らかであることから、ここで使用されたものを含むと考えたい。長屋土邸のように比較的大規模に調査がおこなわれ、邸宅内の区画や建物配置が明らかになされた例は少ないが、正殿がある邸宅の中核部（中央内郭）からは、ほとんど陶硯が出土せず、東外郭に分布が偏る点は注目に値する。いっぽう、石組みの圓池遺構がみつきり有力な皇族・貴族の離宮あるいは宅地が想定される左京三条二坊六坪（第96次）<sup>91</sup>や少なくとも一坪以上の規模の宅地が想定される左京三条二坊十五坪（第83・86次）<sup>92</sup>では、広範囲にわたって発掘調査行われているものの、ほとんど陶硯が出土していない。有力者の邸宅でも、より実務的な空間に出土が偏ることが指摘できる。

こういった分布の偏りは平城宮や寺院でも確認できる。平城宮においては大極殿院、朝堂院といった中核部分から陶硯が出土することは少なく、より実務的な空間である周辺の官衙域に分布が偏ることがすでに指摘されている<sup>93</sup>。また、寺院においても中核伽藍から陶硯が出土することは少ない。これは他の遺物の出土状況にもみられることで、陶硯の使用、廃棄の過程を考えれば、容易に竹首できよう。

次に陶硯が多く出土する遺跡として宮外官衙や官宮工房などの機関が挙げられる。長屋土邸に西接する左京三条一坊七・十五・十六坪（第118-8・231・242-8・266・314-7次）は、墨書土器、漆紙文書などの遺物や遺構から、大寺院の可能性が指摘されている<sup>94</sup>。出土した陶硯は踏脚川面硯を含むなど、官衙的な様相が強いともいえる。また、右京八条三坊十四・十五坪（第168・179次）は西市に近接する工房で、先述のとおり出土遺物の内容から官宮工房の可能性が指摘されている。左京七条一坊十五・十六坪のSD6400（第252・253次）や、東市の北側にあたる左京八条三坊十五・十六坪の陶硯の東堀河SD1306（第93・94次）でも鋳造関連の遺物が共存しており、工房に関連する可能性がある。これらの陶硯は工房の生産管理に関わる場面で使用されていたことを示すものであろう。平城宮内においても工房関連の遺物と共存して陶硯が出土しており、同様の傾向をみることができよう。

それでは一般的な庶民の宅地では陶硯が出土することがまれであるのかといった点については、転用硯を視野に入れた議論が今後の課題であろう。

## 第2節 寺院の陶硯の出土傾向

本書では便宜的に各寺院の寺域内より出土した陶硯を、寺院の資料として扱った。しかし、奈良時代後半になって造営された西大寺、西隆寺では寺院造営以前の遺構がみつかっており、これらの遺構から出土した陶硯も含まれる。本来、これらは平城京城の資料として扱うべきであるが、個々の遺物について、寺院との関連を見極めることは難しいため、寺院の資料とせざるをえなかった。また、法隆寺の資料では7世紀代にさかのぼる遺構から出土した陶硯もある。よって、これらの資料体が奈良時代の寺院が有する陶硯の実態を、どれほど反映しているのかという点については注意を要するが、前節でも述べたように伽藍の中核部分では陶硯の出土が少ないなど、一定の傾向を指摘することはできる。

寺院の資料の約3分の1は、興福寺一乗院の宸殿下層下土坑より出土した資料である。相伴する土器が奈良時代末から長岡京期を中心とすることから、寺院のもつ陶硯のあり方だけでなく、この時期の陶硯の型式を考えるうえで重要な一括資料である。

## 第3節 平城京・寺院の陶硯の種類

平城京城から出土した陶硯の全体的な数量としては、平城宮跡が2005年度までの調査面積約39万㎡で536点の出土に対し、平城京城が約22万㎡で372点の出土をみており、単純な密度計算からすると、平城宮では約700㎡の調査で1点、京では約600㎡で1点の出土ということになり、平城宮のあり方よりも多い数値がみえてくる。すでに述べたように、平城宮内の調査でも陶硯の出土は大極殿院地区といった中核部分に少なく、実務的な官衙域に偏る傾向があるため、これまで調査してきた場所にも左右されるが、この京城での数字を積極的に評価するならば、奈良時代における陶硯の普及を物語る値と言えよう。ちなみに寺院では約400㎡につき1点の計算になる。

内容を目を移すと、京城では平城宮に比べ踏脚円面硯の比率が低いことが指摘できる。宮の踏脚円面硯、圓足円面硯に占める割合が約9割を占めるのに対し、京は約8割と、宮に比べやや雑多な内容をもつ傾向が指摘できる。また、寺院は円面硯が8割近くを占めるが、踏脚円面硯はきわめて少ないことと、大型の圓足円面硯が少ないことが指摘できる(図8)。図7から京、

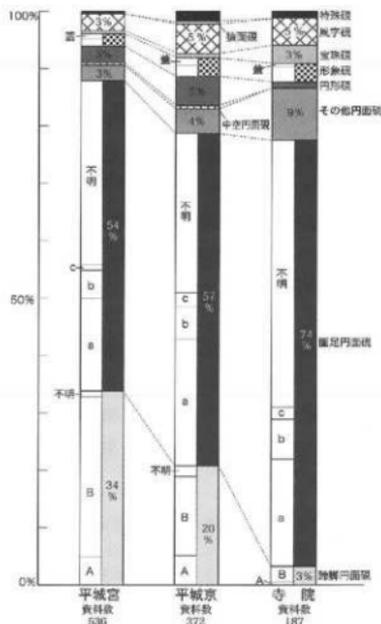


図7 宮・京・寺院の陶硯の種類比

寺院ともに風字硯が多いように読み取れるが、宮の資料に比べて黒色土器などの平安時代にくだる陶硯を含むことが挙げられる。

平城宮の資料では見受けられなかったものとして、京の資料には短い踵脚状の獣脚をもち、いわゆる百足硯に類する円面硯(237)、圓足円面硯に踵脚円面硯を模倣したような珠文を持つもの(41・99)、輪状高台の円形硯に脚部の剥離痕をもつもの(50・232)、羊形の形象硯(82・142)、奈良三形の亀形硯蓋(348・349・350)などがある。

寺院の資料には、特筆すべきものとして、硯部内面に「廣大」とへら描きするもの(445)、踵脚円面硯の外堤部外面に蓮華様の戯画を施すもの(583)、硯面は円形、外堤を八角形につくるもの(541)、筆立て状の穿孔をもつもの(572)などがある。また、一乗院では硯部内面を朱用硯に転用するもの(454)があり、同じ土坑から朱が付着する須臾器の転用硯も多数出土しており、墨と朱の使い分けの実態を示す好例である。

#### 第4節 円面硯の種類・法量・焼成

圓足円面硯の硯面の形状による比率は宮、京、寺院を通じて、ほぼ同じ割合で存在し、奈良時代の圓足円面硯の実態を反映しているのではないと思われる(図7)。京・寺院出土の円面硯の種類と外堤径の関係をみると(図8)、概してa類は小型のものから大型のものまで見られるが、b類、c類に大型のものはみられない傾向がわかる。これは7世紀代の円面硯がa類を中心とすることから考えても、b、c類が奈良時代になって中型～小型の圓足円面硯に採用された硯面の形態であることを反映しているであろう。

圓足円面硯の硯面形状・法量と焼成方法の関係をみると、硯面形状と焼成方法に関連性は見受けられないが、大型の圓足円面硯aには正置焼成が目立つ。また、本書に集録した踵脚円面硯については、A類が倒置焼成であるのに対し、B類はいずれも正置焼成である。平城宮の資料をみても、B類は正置焼成が一般的であり、硯面を覆う重焼きの痕跡から蓋の有無など、陶硯の産地を含めた検討が今後の課題である。

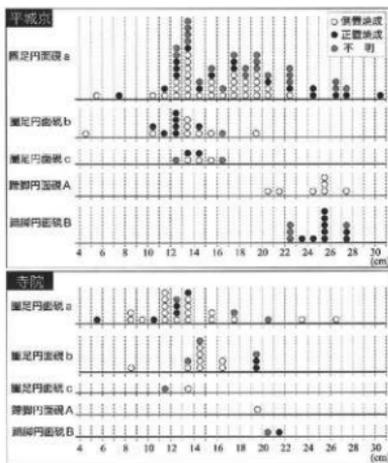


図8 円面硯の種類と外堤径

- (1) 奈文研1986『平城京左京三条二坊六坪発掘調査報告』(学報44)
- (2) 奈文研1975『平城京左京三條二坊』(学報25)
- (3) 奈文研2006『平城京出土陶硯集成I—平城宮跡—』(史料77)
- (4) 奈文研1993『平城京左京三条一坊七坪発掘調査報告』  
奈文研1995『平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告』  
奈文研2005『平城京漆紙文書—』(史料69)

# IV<sub>-1</sub>.

平城京出土陶硯 一覽表

## 凡 例

①**次数** 平城宮跡発掘調査部がおこなってきた調査次数である。異なる次数間で接合した場合は、新しい次数を優先し、・を用いて併記した。

②**出土地点** 平城京での条坊位置、出土地区、出土日時の順に記した。条坊位置については、以下のように略した。出土地が条坊側溝などの場合、最寄り坪の位置を記した。別地点から出土した個体が接合した場合、/を用いて併記した。

(例)「平城京左京三条一坊十四坪」→「左京3-1-14」

③**遺構・層序** 出土時の遺構名・層序を示し、報告書の遺構番号を併記した。なお、奈文研の調査で使用している大小地区割は1989年度に国土方眼に、また2003年度に世界測地系にあわせた座標を使用しているが、ここでは出土時の地区割をそのまま掲載している。

④**種類** 例言の付図を参照。

⑤**法量** 円面硯の場合、外径径(x)、硯面径(y)、底部径、器高を記した。その他の場合、器長、器径、器高を記した。いずれも単位はcm。また、円面硯の計測位置は付図1参照。

⑥**焼成** 硯面を上にした状態を正置、硯面を下にした状態を倒置とし、括弧内にその根拠を記した。陶製の部位を指す名称は付図2参照。

⑦**概観・報告** 発掘調査報告および年報・概観・紀要を記し、その他の参考文献を併記したのものもある。奈文研刊行物は以下のように略称する。

「平城宮発掘調査報告Ⅵ」→「平城報告Ⅵ」

「昭和48年度 平城宮跡発掘調査部発掘調査概報」

→「昭和48年度平城概報」

「1973年度 奈良国立文化財研究所年報」→「1973年度年報」

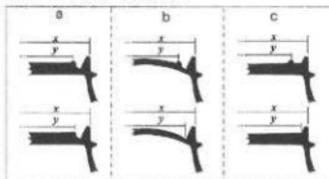
「奈良国立文化財研究所年報1997-Ⅲ」→「年報1997-Ⅲ」

「奈良文化財研究所紀要2005」→「紀要2005」

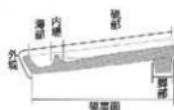
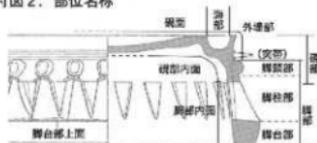
⑧**PL. Ph.** 本書所収の実測図版番号(PL.)と写真図版番号(Ph.)。

⑨**備考** 脚柱数、透かしの形状、ヘア抜き沈線、文様、同一個体の可能性、重焼きの痕跡および共存土器の年代などを記した。なお、土器の年代は学報の平城宮土器の大別に従う。

付図1. 円面硯の計測部位



付図2. 部位名称



番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
1	① 46次	② 左京3-1-14 6AFJ C140 680301	③ 床土
	④ 踏脚円面礎B	⑤ 外堤径27.1 礎面径20.3 残存高10.5	⑥ 正置(外堤部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告」fig. 10-23, PL. 10-23		⑧ PL. 1, Ph. 1
	⑨ 2と同一個体※ 復原脚数23		
2	① 46次	② 左京3-1-14 6AFJ C140 680301	③ 床土
	④ 踏脚円面礎B	⑤ 底面径32.3 残存高2.0	⑥ 正置(御合部上面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告」fig. 10-23, PL. 10-23		⑧ PL. 1, Ph. 1
	⑨ 復原脚数23 1と同一個体※		
3	① 46次	② 左京3-1-14 6AFJ CF36 680228	③ 床土
	④ 圓足円面礎B	⑤ 外堤径12.1 残存高3.8	⑥ 正置(礎面、外堤部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告」fig. 10-22, PL. 10-22		⑧ PL. 1, Ph. 1
	⑨ 長方形透孔 復原脚数10		
4	① 46次	② 左京3-1-14 6AFJ CT38 680228	③ 床土
	④ 圓足円面礎	⑤ 外堤径17.7 残存高2.7	⑥ 正置(外堤部外面、突縁上面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告」PL. 10-25		⑧ PL. 1, Ph. 1
	⑨ 復原脚数17~18		
5	① 46次	② 左京3-1-14 6AFJ BP36 680120	③ 床土
	④ 風字礎	⑤ 残存長9.0 残存幅8.6 残存高4.0	⑥ 正置(礎面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告」fig. 10-24, PL. 10-24		⑧ PL. 1, Ph. 1
	⑨		
6	① 55次	② 左京1-3-16 6AFB IT29 690416	③ 灰色砂
	④ 圓足円面礎a	⑤ 外堤径15.8 礎面径5.8 器高5.8 脚部径16.0	⑥ 倒置(礎部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1974「平城報告VI」(学報23) PL. 64-241		⑧ PL. 1, Ph. 1
	⑨ 十字形透孔×8、長方形透孔×4		
7	① 55次	② 左京1-3-15 6AFB IC28 690311	③ 灰褐砂 SD485
	④ 圓足円面礎	⑤ 外堤径11.2 残存高2.1	⑥ 正置(外堤部外面、突縁上面に降灰)
	⑦ 奈文研1974「平城報告VI」(学報23) PL. 64-242		⑧ PL. 1, Ph. 2
	⑨ 長方形透孔 復原脚数23 共伴土器は平城Ⅱ		
8	① 55次・56次	② 左京1-3-15 6AFB IX28/HR26 670418/670827	③ 1黒/溝2層1砂 SD485
	④ 形象礎(鳥形礎カ)	⑤ 残存長14.8 残存高4.4	⑥ 正置(礎面に降灰)
	⑦ 奈文研1974「平城報告VI」(学報23) PL. 64-243		⑧ PL. 1, Ph. 2
	⑨ 共伴土器は平城Ⅱ		
9	① 56次	② 左京1-3-14・15, 1-4-2・3 6AFB FC15 690718	③ 白色砂
	④ 圓足円面礎a	⑤ 礎面径9.4 残存高1.6	⑥ 倒置(礎部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1974「平城報告VI」(学報23)		⑧ PL. 1, Ph. 2
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29 礎面に重焼き痕(径約6cm)		
10	① 56次	② 左京1-3-15 6AFB HO25 691007	③ 葦石上褐色土
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長4.8	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1974「平城報告VI」(学報23)		⑧ Ph. 2
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
			⑧ PL, Ph
11	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB DJ10 690908	③ 溝1砂 SD650A
	④ 踏脚円面硯A	⑤ 底部径26.5 残存高2.8	⑥ 倒置(脚台部下面に降灰)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23)		
	⑧ 復原脚数18 共伴土器は9C		
12	① 57次	② 左京1-4-4 6AFB DN10 690922	③ 溝2砂 SD650A
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外径径13.7 復面径8.4 残存高4.1	⑥ 正置(外堤部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-784		
	⑧ 長方形透孔 復原脚数12 共伴土器は9C		
13	① 57次	② 左京1-4-4 6AFB BV10 691121	③ 溝砂 SD650A
	④ 圓足円面硯b	⑤ 外径径12.6 復面径10.0 残存高4.7	⑥ 正置(復面、外堤部外面、突縁上面に降灰)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-783		
	⑧ 透孔無し、脚部外面にヘラ書き沈線タテ4条、ナメ1条 14と同一個体々 共伴土器は9C		
14	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB DJ10 690908	③ 溝1砂 SD650A
	④ 圓足円面硯b	⑤ 外径径12.6 復面径10.0 残存高3.8	⑥ 正置(復面、外堤部外面、突縁上面に降灰)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-786		
	⑧ 透孔無し、脚部外面にヘラ書き沈線タテ2条以上 13と同一個体々 共伴土器は9C		
15	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB DV10 690820	③ 溝1砂 SD650A
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外径径18.6 復面径11.4 残存高4.3	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-782		
	⑧ 長方形透孔、駒吻広狭あり、脚部(広)外面に被形状のヘラ書き沈線、脚部(狭)外面にヘラ書き沈線タテ1条 共伴土器は9C		
16	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB EI10 690813	③ 溝1砂 SD650A
	④ 圓足円面硯	⑤ 外径径20.6 残存高3.6	⑥ 正置(復面、外堤部外面、突縁上面に降灰)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-781(実測図版)		
	⑧ 共伴土器は9C		
17	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB EJ10 690813	③ 1砂 SD650A
	④ 圓足円面硯b	⑤ 外径径13.4 復面径11.2 残存高2.7	⑥ 倒置(復面内面に降灰)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-781(写真図版), PL. 79-785(実測図版)		
	⑧ 長方形透孔、復原脚数5、脚柱外面にヘラ書き沈線タテ1条、18と同一個体々 共伴土器は9C		
18	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB EI10 690814	③ 2砂 SD650A
	④ 圓足円面硯b	⑤ 外径径13.4 復面径11.2 残存高3.5	⑥ 倒置(復面内面に降灰)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-785		
	⑧ 長方形透孔、復原脚数5、ヘラ書き沈線、17と同一個体々 共伴土器は9C		
19	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB EG10 690811	③ 南北溝2砂 SD650A
	④ 圓足円面硯b	⑤ 外径径16.0 復面径13.2 残存高2.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-783		
	⑧ 長方形透孔、復原脚数5 共伴土器は9C		
20	① 57次	② 左京1-4-4 6AFB BO10 691121	③ 溝西砂 SD650B
	④ 鳳字硯	⑤ 残存長4.8 残存幅8.0 残存高1.2	⑥ 倒置(硯表面に自然釉)
	⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-792		
	⑧ 共伴土器は9C		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成	
⑦ 概観・報告	⑧ PL, Ph		
⑨ 備考			
21	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB CB10 690902	③ 溝1黒 SD650B
④ 風字硯	⑤ 残存長10.5 硯尾端9.8 残存高2.0	⑥ 倒置(硯裏面に降灰)	
⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-789	⑧ PL. 2, Ph. 4		
⑨ 共伴土器は9C			
22	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB DU10 690810	③ 溝1砂 SD650A
④ 風字硯	⑤ 残存長10.4 残存幅5.6 残存高3.3	⑥ 正置(硯面に降灰)	
⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-791	⑧ PL. 2, Ph. 4		
⑨ 共伴土器は9C			
23	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB ER10 690729	③ 南北溝1砂 SD650A
④ 風字硯	⑤ 残存長8.8 残存幅5.7 残存高3.6	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)	
⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-788	⑧ PL. 2, Ph. 4		
⑨ 共伴土器は9C			
24	① 57次	② 左京1-4-4 6AFB CA10 690903	③ 溝1 灰色土 SD650B
④ 風字硯	⑤ 残存長6.0 残存幅9.0 残存高1.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-790	⑧ PL. 2, Ph. 5		
⑨ 共伴土器は9C			
25	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB DK10 690909	③ 溝1砂 SD650A
④ 二面風字硯	⑤ 残存長9.4 残存幅7.6 残存高3.2	⑥ 正置(硯面に降灰)	
⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-787	⑧ PL. 2, Ph. 5		
⑨ 共伴土器は9C			
26	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB DA10 690820	③ 1砂 SD650A
④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長9.6 残存幅6.8 残存高1.8	⑥	
⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-794	⑧ PL. 2, Ph. 5		
⑨ 27と同一個体※ 共伴土器は9C			
27	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB DA10 690820	③ 1砂 SD650A
④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長6.4 残存幅3.6 残存高1.6	⑥	
⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-794	⑧ PL. 2, Ph. 5		
⑨ 26と同一個体※ 共伴土器は9C			
28	① 57次	② 左京1-4-3 6AFB DV10 690820	③ 溝西砂 SD650B
④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長3.6 残存幅4.2 残存高6.0	⑥	
⑦ 奈文研1974『平城報告VI』(学報23) PL. 79-793	⑧ PL. 2, Ph. 5		
⑨ 共伴土器は9C			
29	① 60次	② ウツナバ古墳 4PUN 東西トレンチ 691104	③ 盛土
④ 圓足円面硯	⑤ 外径径15.6	⑥ 正置(外縁部外面、突縁上面に降灰)	
⑦ 奈文研1970『1969年度年報』	⑧ PL. 2, Ph. 5		
⑨			
30	① 68次	② 左京2-2-6 6ALG BP56 700718	③ 溝1黒 SD5780
④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径20.4 硯面径15.3 残存高3.5	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)	
⑦ 奈文研1970『平城宮第59. 63. 68次発掘調査報告』、木簡学会1995『木簡研究』17	⑧ PL. 2, Ph. 5		
⑨ 長方形透孔、復原脚数23			

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
31	① 68次	② 左京2-2-6 6ALG 70601	③ 68次東北 泓川採集
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径15.8 硯面径12.0 残存高2.5	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1970『平城宮第59. 63. 68次発掘調査概報』、木簡学会1995『木簡研究』17		⑧ PL. 2, Ph. 6
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23		
32	① 68次	② 左京2-2-6 6ALG AR57 700714	③ 暗灰土
	④ 円形硯	⑤ 外堤径19.8 器高2.3	⑥ 倒置(硯表面に自然蝕)
	⑦ 奈文研1970『平城宮第59. 63. 68次発掘調査概報』、木簡学会1995『木簡研究』17		⑧ PL. 2, Ph. 6
	⑨		
33	① 82-2次	② 右京北辺1-2 6AGB 730816	③
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 残存長4.4	⑥ 正置(脚台部上面に自然蝕)
	⑦ 奈文研1974『1973年度年報』(一覽表のみ)		⑧ Ph. 6
	⑨		
34	① 86次	② 左京3-2-15 6APT HI130 730308	③ 灰褐色土
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長6.0	⑥ 倒置(硯部内面、尖線下面に自然蝕)
	⑦ 奈文研1975『平城京左京三条二坊』(学報25)		⑧ Ph. 6
	⑨		
35	① 89次	② 左京2-2-14 6AFF EB26 740430	③ 暗灰褐色土
	④ 円形硯(輪状高台)	⑤ 外堤径15.9 底部径12.0 器高2.1	⑥ 倒置(外面に自然蝕)
	⑦ 奈文研1975『昭和49年度平城概報』		⑧ PL. 2, Ph. 6
	⑨ 海部にやや傾斜する 傾斜硯の可能性あり		
36	① 90次	② 左京5-1-4 6AFR LN60 740327	③ 土坑
	④ 踏脚円面硯 A	⑤ 外堤径22.3 硯面径17.0 残存高6.9	⑥ 倒置(硯部内面に自然蝕)
	⑦ 奈文研1975『昭和49年度平城概報』		⑧ PL. 3, Ph. 7
	⑨ 復原脚数31 外堤部外面に鉄粒を塗布		
37	① 90次	② 左京5-1-4 6AFR LI56 740514	③ 大土坑 SE1092
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 硯面径15.2 残存高2.4	⑥ 不明(明確な腐蝕跡なし)
	⑦ 奈文研1975『昭和49年度平城概報』		⑧ PL. 3, Ph. 7
	⑨ 長方形透孔、復原脚数31		
38	① 93次	② 左京8-3-9 6AHJ JK67 750319	③ 暗灰砂 SD1300
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径12.6 硯面径11.0 残存高2.5	⑥ 正置(硯面、外堤部外面、尖帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』		⑧ PL. 3, Ph. 7
	⑨ 硯面に溶着痕あり		
39	① 93次	② 左京8-3-9 6AHJ 750414	③ 運河南下層 SD1300
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径12.8 硯面径9.4 残存高2.0	⑥ 倒置(硯部内面に自然蝕)
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』		⑧ PL. 3, Ph. 7
	⑨ 長方形透孔、復原脚数30		
40	① 93次	② 左京8-3-9 6AHJ JK66 750319	③ 運河 暗灰砂 SD1300
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外堤径14.8 硯面径13.2 残存高2.0	⑥ 正置(外堤部上面、尖帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』		⑧ PL. 3, Ph. 7
	⑨ 長方形透孔、復原脚数12 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成	⑧ PL, Ph
	⑦ 概略・報告						
	⑨ 備考						
41	① 93次	② 左京8-3-9 6AHJ JK67 750324	③ 運河 暗灰砂				SD1300
	④ 圓足円面硯 c	⑤ 外径19.4 視面径14.0 残存高4.3	⑥ 倒置(視部内面、外堤部外面に降灰)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』					⑧ PL. 3, Ph. 7	
	⑨ 復原断面12 珠文あり 踏脚円面復の可能性あり						
42	① 93次	② 左京8-3-9・16 6AHJ ID67 750212	③ 運河 灰燻粘質土				SD1300
	④ 圓足円面硯	⑤ 外径径17.1 残存高2.2	⑥ 倒置(視部内面、突帯下面、外堤部外面に降灰)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』					⑧ PL. 3, Ph. 7	
	⑨ 長方形透孔、復原断面20						
43	① 93次	② 左京8-3-9 6AHJ JK68 750324	③ 運河 暗灰砂				SD1300
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径16.6 残存高1.5	⑥ 倒置(視部内面、突帯下面、外堤部外面に降灰)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』					⑧ PL. 3, Ph. 7	
	⑨ 長方形透孔						
44	① 93次	② 左京8-3-9 6AHJ JK76 750314	③ 暗灰土				SD1300
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径15.3 残存高1.6	⑥ 不明(脚部内外面に自然釉)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』					⑧ PL. 3, Ph. 8	
	⑨ 長方形透孔、復原断面21						
45	① 93次	② 左京8-3-9・15・16 6AHJ Z 750328	③				
	④ 形象硯	⑤ 残存長6.4 残存幅7.0 残存高3.0	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』					⑧ PL. 3, Ph. 8	
	⑨ 底部に脚部の斜断面、薄部堤中央に穿孔あり						
46	① 93次・94次	② 左京8-3-15 6AHJ GC40/IIA46 750509/750311	③ 暗灰粘質土・暗褐土				
	④ 形象硯(鳥形硯蓋)	⑤ 残存長12.6 残存幅14.2 残存高4.6	⑥ 正置(外面、側面に降灰)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』 p. 33					⑧ PL. 3, Ph. 8	
	⑨ 外面にヘラ書きで羽毛の表現						
47	① 94次	② 左京8-3-10 6AHJ GD50 750527	③ 井戸				SE1350
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径13.3 視面径9.6 器高6.2 底部径16.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』 p. 33					⑧ PL. 3, Ph. 8	
	⑨ 方形透孔、脚数8、復表面を転用(墨・朱付着)						
48	① 94次	② 左京8-3-10 6AHJ GB46 750523	③ 南北溝				SD1334
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径14.4 視面径9.6 残存高4.1	⑥ 倒置(視部内面、外堤部内面に自然釉)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』					⑧ PL. 3, Ph. 8	
	⑨ 長方形透孔、復原断面16						
49	① 94次	② 左京8-3-10 6AHJ GH47 750514	③ 束土				
	④ 圓足円面硯	⑤ 外径径8.0 残存高2.8	⑥ 倒置(視部内面、突帯下面に自然釉)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』					⑧ PL. 3, Ph. 9	
	⑨ 長方形透孔、復原断面13 外堤部外面の突帯の下に沈線ヨコ2条						
50	① 94次	② 左京8-3-10 6AHJ GK53 750516	③ 南北溝				SD1365
	④ 円形硯(輪状高台・有脚)	⑤ 視面径12.8 高台径14.6 残存高2.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)				
	⑦ 奈文研1976『平城京左京八条三坊発掘調査概報』					⑧ PL. 3, Ph. 9	
	⑨ 脚部斜断面あり						

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備考		
51	① 96次	② 左京3-2-6 6AFI QK31 751209	③ 北東柱穴(新1の採取穴) SB1552
	④ 圍足円面硯 a	⑤ 外堤径17.5 硯面径12.8 残存高4.0	⑥ 倒置(外堤部外面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1986『平城京左京二条二坊六坪発掘調査報告』(学報44) PL.25-301	⑧ PL. 3, Ph. 9	
	⑨ 十字透孔×8		
	⑧ 遺構不明		
52	① 100次	② 右京5-4-3 6AGQ 1トレンチ 760916	③ 黄壤土
	④ 圍足円面硯 a	⑤ 外堤径30.6 硯面径24.4 残存高2.8	⑥ 正置(外堤部上面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1977『平城京右京五条四坊三坪発掘調査概報』	⑧ PL. 3, Ph. 9	
	⑨ 透孔不明		
	⑧ 遺構不明		
53	① 103-1次	② 左京3-2-7 6AFI SC23 770509	③ 暗灰褐粘質土
	④ 圍足円面硯 a	⑤ 外堤径13.4 硯面径9.6 残存高2.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親良邸の調査』(学報54)	⑧ PL. 3, Ph. 9	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数18		
	⑧ 遺構不明		
54	① 103-1次	② 左京3-2-7 6AFI SC25 770517	③ 暗灰褐粘質土
	④ 圍足円面硯	⑤ 残存長4.3	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親良邸の調査』(学報54)	⑧ Ph. 9	
	⑨ 長方形透孔		
	⑧ 遺構不明		
55	① 103-14次	② 右京1-2-4 6AGA PN87 770111	③ 灰色砂質土(褐色斑)
	④ 特殊硯(楕円形硯)	⑤ 残存長11.0 残存幅5.3 器高3.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1978『昭和52年度平城京概報』	⑧ PL. 3, Ph. 9	
	⑨		
	⑧ 遺構不明		
56	① 103-16次	② 右京北辺2-2 6AGR B192 780301	③ 暗灰褐土
	④ 圍足円面硯	⑤ 底部径10.6 残存高3.8	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1978『昭和52年度平城京概報』	⑧ PL. 4, Ph. 10	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数14		
	⑧ 遺構不明		
57	① 105次	② 左京4-3-1 6AFL PL84 770722	③ 暗灰砂質土
	④ 圍足円面硯	⑤ 残存長2.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1978『昭和52年度平城京概報』	⑧ Ph. 10	
	⑨ 長方形透孔		
	⑧ 遺構不明		
58	① 112-3次	② 左京3-2-7 6AFI RJ51 780706	③ 暗褐粘質土
	④ 円形硯(有脚)	⑤ 外堤径19.6 器高3.0	⑥ 倒置(硯表面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親良邸の調査』(学報54) PL165-1117	⑧ PL. 4, Ph. 10	
	⑨ 脚部制離車が海部の下にあり、脚部は3ヶ所カ		
	⑧ 遺構不明		
59	① 112-7次	② 右京北辺2-2 6AGR BL27 781003	③ 灰褐色砂質土
	④ 圍足円面硯	⑤ 外堤径18.2 残存高2.3	⑥ 倒置(外堤部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城京概報』	⑧ Ph. 10	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17		
	⑧ 遺構不明		
60	① 112-9次	② 右京5-2-12 6AGO OF43 781128	③ 井戸埴土 SE341 (SE01)
	④ 風字硯(黒色土器 B類)	⑤ 残存長9.8 残存幅8.8 残存高1.9	⑥
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城京概報』	⑧ PL. 4, Ph. 10	
	⑨		
	⑧ 遺構不明		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
61	① 116次	② 左京3-1-7 6AFG N 790410	③ 灰土
	④ 踏脚円面硯A	⑤ 残存高3.4	⑥ 正置(脚部外面、脚台部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1980「平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報」		⑧ Ph. 10
	⑨		
62	① 116次	② 左京3-4-7 6AFG NG21 790427	③ 灰揚土
	④ 圓足円面硯	⑤ 外周径13.6 残存高5.7	⑥ 不明
	⑦ 奈文研1980「平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報」		⑧ PL. 4, Ph. 10
	⑨ 長方形透孔、復原脚数10、脚柱外面にヘラ掻き比線タテ1条		
63	① 116次	② 左京3-4-7 6AFG NJ23 790501	③ 円形大土坑 SK1796
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径38.4 残存高7.2	⑥ 正置(脚部外面、脚台部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1980「平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報」		⑧ PL. 4, Ph. 10
	⑨ 長方形透孔、脚柱幅に広狭あり、復原脚数9(広)+9(狭) 64と同一個体々		
64	① 116次	② 左京3-4-7 6AFG NH25 790426	③ 灰揚土
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.2	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1980「平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報」		⑧ PL. 4, Ph. 10
	⑨ 長方形透孔、63と同一個体々		
65	① 116次	② 左京3-4-7 6AFG OA21/OC20 790518/	③ 茶褐色土・北端東西溝 SD1889
	④ 円形硯(有脚)	⑤ 外周径21.4 残存高1.8	⑥ 側置(裏面に自然軸)
	⑦ 奈文研1980「平城京左京三条四坊七坪発掘調査概報」		⑧ PL. 4, Ph. 10
	⑨ 脚部割離痕あり、復原脚数3々 硯面に重焼き痕(径約21.0cm)		
66	① 118-2次	② 右京北辺4-3 6ACT 第1トレンチ 790424	③ 灰黒粘土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外周径24.2 硯面径18.0 残存高5.2	⑥ 正置(外周部外面に降灰)
	⑦ 奈文研編1984「平城京右京一条北辺四坊六坪発掘調査報告」奈良県教育委員会		⑧ PL. 4, Ph. 11
	⑨ 脚部割離痕あり、復原脚数3々		
67	① 118-8次	② 左京3-1-15 6AFJ VH10 790726	③ SD3935 暗褐色砂 SD3935
	④ 踏脚円面硯A	⑤ 底部径32.0 残存高5.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1980「昭和54年度平城概報」		⑧ PL. 4, Ph. 11
	⑨ 復原脚数23		
68	① 118-8次	② 左京3-1-15 6AFJ VJ09 790804	③ SD3935 2砂 SD3935
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外周径26.6 硯面径20.5 残存高4.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1980「昭和54年度平城概報」		⑧ PL. 4, Ph. 11
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23		
69	① 118-8次	② 左京3-1-15 6AFJ VM09 790711	③ SD3935 2砂 SD3935
	④ 圓足円面硯a	⑤ 底部径19.2 残存高3.0	⑥ 側置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1980「昭和54年度平城概報」		⑧ PL. 5, Ph. 11
	⑨ 長方形透孔、復原脚数18		
70	① 118-8次	② 左京3-1-15 6AFJ VM09 790731	③ SD3935 2砂 SD3935
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長3.2	⑥ 不明(脚部内外面に自然軸)
	⑦ 奈文研1980「昭和54年度平城概報」		⑧ Ph.11
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備考		
71	① 123-17次	② 右京2-3-11・15 6AGD 801007	③ 灰粘土
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 外堤径21.4 硯面径19.4 残存高4.8	⑥ 正置(突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1981『昭和55年度平城遺報』	⑧ PL 5, Ph. 11	
	⑨ 復原脚数25		
72	① 124次	② 右京7-2-7 6AIF E 800701	③ 大土坑 SK745 (SK02)
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径12.6 硯面径11.2 残存高1.7	⑥ 倒置(外堤部外面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1981『昭和55年度平城遺報』	⑧ PL 5, Ph. 11	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23~24		
73	① 124次	② 右京7-2-7・10 6AIF E 800630	③ 灰黒粘土
	④ 風字硯	⑤ 残存長10.4 残存幅5.1 残存高2.5	⑥ 不明(明確な腐痕跡なし)
	⑦ 奈文研1981『昭和55年度平城遺報』	⑧ PL 5, Ph. 12	
	⑨		
74	① 131-9次	② 右京6-1-14 6AIA 810713	③ 東西溝Ⅲ 灰砂 SD2885A (SD01A)
	④ 円面硯	⑤ 硯面径14.4 残存高1.8	⑥ 不明(硯部内面に一部自然粘)
	⑦ 奈文研1982『昭和56年度平城遺報』	⑧ PL 5, Ph. 12	
	⑨ 硯表面に青海流のあて具痕		
75	① 131-31次	② 左京2-2-13 6AFF GJ12 820210	③ 土坑2 SK2287
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径18.8 残存高3.8	⑥ 不明(明確な腐痕跡なし)
	⑦ 奈文研1984『平城京左京二条二坊十三坪の発掘調査』	⑧ PL 5, Ph. 12	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数14 脚柱外面にヘツ抜き沈澱タテ1条		
76	① 131-34次(西市2次)	② 右京8-2-12 6ASI RU79 810617	③ 井戸堀土 SE395
	④ 踏脚円面硯 A	⑤ 残存長2.8	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1982『平城京西市跡-右京八条二坊十二坪の発掘調査』	⑧ Ph. 12	
	⑨ 77と同一個体々		
77	① 131-34次(西市2次)	② 右京8-2-12 6ASI RU79 810611	③ 井戸堀土 SE395
	④ 踏脚円面硯 A	⑤ 残存長1.9	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1982『平城京西市跡-右京八条二坊十二坪の発掘調査』	⑧ Ph. 12	
	⑨ 76と同一個体々		
78	① 131-34次(西市2次)	② 右京8-2-12 6ASI RZ81 810518	③ 噴筒土
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径37.6 残存高1.8	⑥ 倒置(脚部内面に自然粘)
	⑦ 奈文研1982『平城京西市跡-右京八条二坊十二坪の発掘調査』	⑧ Ph. 12	
	⑨ 三角形透孔々、復原脚数18 踏脚円面硯の可能性あり		
79	① 131-36次(西市3次)	② 右京8-2-12 6ASI Q南掖張区 810729	③ 遺構面直上
	④ 踏脚円面硯	⑤ 底部径29.0	⑥ 倒置(脚部底面、側面に自然粘)
	⑦ 奈文研1982『平城京西市跡-右京八条二坊十二坪の発掘調査』	⑧ Ph. 12	
	⑨		
80	① 135次	② 右京7-2-15 6AIF NI153 811110	③ 南東土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長3.2	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1977『昭和56年度平城遺報』	⑧ Ph. 12	
	⑨ 長方形透孔々		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告	⑧ PL, Ph	
	⑨ 備考		
81	① 137次	② 右京2-2-16 GAG SE83 811219	③ 井戸内 暗灰粘土 SE540
	④ 踏脚面視B	⑤ 底部径25.0 残存高6.5	⑥ 正置(脚部外面、脚台部上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1982「1981年度年報」	⑧ PL. 5, Ph. 12	
	⑨ 復原脚数18		
82	① 141-9次	② 左京4-4-9 6AFK HK84 820629	③ 柱穴1 SB2393
	④ 形象視(半形視)	⑤ 残存長11.4 残存幅12.2 残存高11.6	⑥ 正置(首部上面から視部上面に降灰)
	⑦ 奈文研1983「平城京左京四條四坊九坪発掘調査報告」巻頭写真, fig. 23	⑧ PL. 5, Ph. 13	
	⑨		
83	① 141-26次	② 右京3-3-5 6AGH AG52 821125	③ 大土坑 SK851
	④ 圓足面視	⑤ 底部径19.6 残存高9.3	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1983「昭和57年度平城京報」第41図35	⑧ PL. 5, Ph. 14	
	⑨ 長方形透孔 脚柱幅に広狭あり、復原脚数4(広)+4(狭) 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ7条(広)、タテ1条(狭) 84~86と同一個体々		
84	① 141-26次	② 右京3-3-5 6AGH AG52 821125	③ 大土坑 SK851
	④ 圓足面視	⑤ 底部径19.6 残存高10.0	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1983「昭和57年度平城京報」第41図35	⑧ PL. 5, Ph. 14	
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ7条 83・85・86と同一個体々		
85	① 141-26次	② 右京3-3-5 6AGH AG52 821125	③ 大土坑 SK851
	④ 圓足面視	⑤ 底部径19.6 残存高9.0	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1983「昭和57年度平城京報」第41図35	⑧ PL. 5, Ph. 14	
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ7条 83・84・86と同一個体々		
86	① 141-26次	② 右京3-3-5 6AGH AG52 821125	③ 大土坑 暗灰茶褐色土 SK851
	④ 圓足面視	⑤ 残存長8.9	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1983「昭和57年度平城京報」第41図35	⑧ PL. 5, Ph. 14	
	⑨ 長方形透孔 83~85と同一個体々		
87	① 149次	② 右京8-1-11 6AII NA91 830608	③ 西側溝 SD920(第3層)
	④ 踏脚面視A	⑤ 外境径24.0 残存高5.5	⑥ 倒置(外面部下面、視部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1984「平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書」fig. 21-6	⑧ PL. 5, Ph. 14	
	⑨ 復原脚数26~27		
88	① 149次	② 右京8-1-11 6AII NF92 830606	③ 西側溝 SD920(第3層)
	④ 踏脚面視A	⑤ 底部径27.0 残存高1.7	⑥ 倒置(外面部下面、視部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1984「平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書」fig. 21-6	⑧ PL. 5, Ph. 14	
	⑨ 復原脚数23		
89	① 149次	② 右京8-1-11 6AII OC92 830530	③ 西側溝3 SD920(第3層)
	④ 踏脚面視B	⑤ 外境径25.7 視面径19.0 残存高4.7	⑥ 正置(突帯上面、脚部上面、視部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1984「平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書」fig. 21-7	⑧ PL. 6, Ph. 15	
	⑨ 復原脚数24 90と同一個体々		
90	① 149次	② 右京8-1-11 6AII NF92 830606	③ 西側溝 SD920(第3層)
	④ 踏脚面視B	⑤ 底部径29.4 残存高6.8	⑥ 正置(脚台部上面に降灰)
	⑦ 奈文研1984「平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書」fig. 21-7	⑧ PL. 6, Ph. 15	
	⑨ 復原脚数24 89と同一個体々		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
91	① 149次	② 右京8-1-11 6AII NA92 830608	③ 西側溝 黒褐土 SD920 (第2層)
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 底部径28.0 残存高5.0	⑥ 正置(脚柱部外面、脚台部上面に降灰)
	⑦ 奈文研1984『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』		⑧ PL. 6, Ph. 15
	⑨ 復原脚数23		
92	① 149次	② 右京8-1-11 6AII OO92 830530	③ 西側溝 暗灰粘土 SD920 (第4層)
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 外巻径22.0 残存高4.3	⑥ 不明(明確な露痕跡なし)
	⑦ 奈文研1984『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』		⑧ PL. 6, Ph. 15
	⑨ 復原脚数19		
93	① 149次	② 右京8-1-11 6AII OS91 830606	③ 西側溝 黒褐土 SD920 (第2層)
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径8.6 残存高4.2	⑥ 正置(脚柱部外面、脚台部上面に降灰)
	⑦ 奈文研1984『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』fig. 21-1		⑧ PL. 6, Ph. 15
	⑨ 長方形透孔、復原脚数11 脚柱部外面に散面様へラ描き沈線		
94	① 149次	② 右京8-1-11 6AII OK93 830520	③ 灰色砂質土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 硯面径14.4 残存高7.4	⑥ 正置(脚柱部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1984『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』fig. 21-2		⑧ PL. 6, Ph. 15
	⑨ 復原脚数15		
95	① 149次	② 右京8-1-11 6AII NA91 830608	③ 西側溝 3 SD920 (第3層)
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径10.5 残存高6.0	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1984『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』fig. 21-4		⑧ PL. 6, Ph. 15
	⑨ 透孔なし		
96	① 149次	② 右京8-1-11 6AII OP92 830603	③ 西側溝 灰色粗砂 SD920 (第1層)
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径10.0 残存高2.8	⑥ 不明(脚部内外面に降灰)
	⑦ 奈文研1984『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』fig. 21-5		⑧ PL. 6, Ph. 15
	⑨ 脚柱外面に斜格子状へラ描き沈線		
97	① 149次	② 右京8-1-11 6AII OJ95 830513	③ 灰褐色砂質土
	④ 中空円面硯	⑤ 外巻径11.9 硯面径10.0 残存高1.8	⑥ 不明(明確な露痕跡なし)
	⑦ 奈文研1984『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』fig. 21-3		⑧ PL. 6, Ph. 16
	⑨		
98	① 149次	② 右京8-1-11 6AII NA92 830609	③ 西側溝 3 SD920 (第3層)
	④ 円面硯(獸脚)	⑤ 残存幅7.0 残存高5.4	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1984『平城京右京八条一坊十一坪発掘調査報告書』fig. 21-8		⑧ PL. 6, Ph. 16
	⑨ 硯でない可能性あり		
99	① 151-1次	② 左京4-2-1 6AFM QN89 830420	③ 灰褐土
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径25.0 残存高4.6	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1984『平城京左京四条二坊一坪発掘調査報告書』		⑧ PL. 6, Ph. 16
	⑨ 三角形透孔 脚柱上位に珠文あり、踏脚円面硯横置き		
100	① 151-1次	② 左京4-2-1 6AFM QN87/QO87 830504/830421	③ 整地上/灰褐土
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径25.0 残存高4.6	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1984『平城京左京四条二坊一坪発掘調査報告書』		⑧ PL. 6, Ph. 16
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16 脚部外面にへラ描き		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
101	① 156-10次	② 右京2-3-12 6AGD JE16 840703	③ 大土坑 炭混褐色土
	④ 円面硯	⑤ 残存長5.8	⑥ 正置(硯面に降灰)
	⑦ 奈文研1985「昭和59年度平城概報」		⑧ Ph. 16
	⑨ 硯表面を硯に転用		
102	① 156-18次	② 左京2-3-3 6AFE 11P68 840907	③ 東西溝13
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径23.2 残存高4.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1985「昭和59年度平城概報」		⑧ PL. 6, Ph. 16
	⑨ 長方形透孔、復原脚数9 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ2条 103と同一個体カ		
103	① 156-18次	② 左京2-3-3 6AFE 11T67 840912	③ 包含層
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径23.2 残存高5.3	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1985「昭和59年度平城概報」		⑧ PL. 6, Ph. 16
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条以上 102と同一個体カ		
104	① 160次	② 左京8-1-3 6AHL QT61 841022	③ 炭混茶褐色土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高4.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1985「平城京左京八条一坊三・六坪発掘調査報告書」		⑧ Ph. 16
	⑨		
105	① 160次	② 左京8-1-3 6AHL QQ59 840723	③ 小穴
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外径径26.0 視面径18.2 残存高4.7	⑥ 正置(外壁部外面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1985「平城京左京八条一坊三・六坪発掘調査報告書」fig. 41-324		⑧ PL. 6, Ph. 16
	⑨ 長方形透孔、復原脚数39 外壁部内面に重焼き痕跡(径23.2cm)		
106	① 160次	② 左京8-1-3 6AHL QU61/QU60 840914/840906	③ 池 炭混暗灰粘質土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外径径11.9 視面径9.4 残存高2.0	⑥ 正置(硯面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1985「平城京左京八条一坊三・六坪発掘調査報告書」fig. 41-326		⑧ PL. 6, Ph. 17
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23		
107	① 160次	② 左京8-1-3 6AHL QR64 840827	③ 暗褐色粘質土
	④ 圓足円面硯c	⑤ 外径径16.8 視面径12.6 残存高6.2	⑥ 正置(外壁部外面、脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1985「平城京左京八条一坊三・六坪発掘調査報告書」fig. 41-325		⑧ PL. 6, Ph. 17
	⑨ 透孔なしカ		
108	① 160次	② 左京8-1-6 6AHL QU47 840928	③ 大土坑
	④ 形象硯(鳥形硯)	⑤ 残存長6.7 残存幅6.5 残存高12.0	⑥ 正置(頭部上面、頸部上面に自然軸)
	⑦ 奈文研1985「平城京左京八条一坊三・六坪発掘調査報告書」fig. 41-327		⑧ PL. 6, Ph. 17
	⑨ 頸部前面にヘラ描きで羽毛を表現		
109	① 162次	② 右京3-3-5 6AGH BP61 841127	③ 東西溝溝 灰褐粘質土
	④ 円面硯(無脚)	⑤ 外径径16.0 視面径12.5 器高2.0 底部径16.0	⑥ 倒置(硯表面、裏面に降灰)
	⑦ 奈文研1985「昭和59年度平城概報」		⑧ PL. 6, Ph. 17
	⑨ 硯面に火傷あり		
110	① 164-12次	② 左京2-3-6 6AFE 11R22 851017	③ 暗灰褐砂質土
	④ 円面硯(無脚)	⑤ 外径径13.0 視面径10.0 器高2.5 底部径11.9	⑥ 正置(硯面、裏面に自然軸)
	⑦ 奈文研1986「昭和60年度平城概報」		⑧ PL. 6, Ph. 17
	⑨		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
111	① 164-12次	② 左京2-3-6 6AFE H区 851005	③ 遺物包含層
	④ 円面硯(駄脚)	⑤ 残存長5.4 残存幅4.4	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1986『昭和60年度平城西報』		⑧ PL, 6, Ph. 17
	⑨ 視でない可能性あり		
112	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QS57/QT57 851024/851024	③ 土坑 暗灰粘土/灰褐土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 外径径22.9 硯面径17.6 残存高4.5	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46) PL. 43-530		⑧ PL, 7, Ph. 18
	⑨ 復原脚数22		
113	① 168次	② 右京8-1-14 6AII PA57 851121	③ 北側溝 上層 SD1499
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 硯面径17.0 残存高4.8	⑥ 正置(海部・外堤部外面、脚部上面に降灰)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)		⑧ PL, 7, Ph. 18
	⑨ 114~117と同一個体々		
114	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QT56 851115	③ 南側溝 上層 SD1495
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存長6.2	⑥ 正置(外堤部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)		⑧ PL, 7, Ph. 18
	⑨ 113・115~117と同一個体々		
115	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QT53 851115	③ 南側溝 下層 SD1496
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 底部径24.4 残存高5.5	⑥ 正置(脚部外面、脚台部上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)		⑧ PL, 7, Ph. 18
	⑨ 113・114・116・117と同一個体々		
116	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QS55 851118	③ 南北溝 SD1464
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高6.2	⑥ 正置(脚部外面に自然釉)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)		⑧ PL, 7, Ph. 18
	⑨ 113~115・117と同一個体々		
117	① 168次	② 右京8-1-14 6AII PI55 851025	③ 灰褐土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高6.1	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)		⑧ PL, 7, Ph. 18
	⑨ 113~116と同一個体々		
118	① 168次	② 右京8-1-14 6AII PD53 851028	③ 灰褐土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高5.3	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)		⑧ Ph. 18
	⑨		
119	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QJ65 850809	③ 灰褐粘土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高5.7	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)		⑧ Ph. 18
	⑨		
120	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QL63 850808	③ 灰褐土 下層
	④ 圓足円面硯a	⑤ 硯面径20.4 底部径27.3 残存高8.8	⑥ 正置(突帯上面、脚台部上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46) PL. 43-527		⑧ PL, 7, Ph. 19
	⑨ 長方形流孔、復原脚数30 脚台部無面に沈線2条 121・122・171と同一個体々		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
121	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QK66 850812	③ 大土坑 SK1376
	④ 圓足円面鏡 a	⑤ 復元径20.4 底部径27.3 残存高8.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46) PL. 43-527		⑧ PL. 7, Ph. 19
	⑨ 長方形透孔、復原脚数30 脚台部備面に沈線2条 120・122・171と同一個体カ		
122	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QU55 851115	③ 灰褐色
	④ 圓足円面鏡	⑤ 残存高2.0	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 7, Ph. 20
	⑨ 長方形透孔、復原脚数30 脚台部備面に沈線2条 120・121・171と同一個体カ		
123	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QT52 851113	③ 南側溝上層 SD1495
	④ 圓足円面鏡 a	⑤ 外境径22.7 視面径17.4 残存高3.4	⑥ 正置(溝部、外境部上面と外面に降灰)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46) PL. 43-528		⑧ PL. 7, Ph. 20
	⑨ 長方形透孔、復原脚数22		
124	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QU68 860118	③ 南側溝下層 SD1496
	④ 圓足円面鏡 a	⑤ 外境径18.2 視面径15.0 残存高2.8	⑥ 倒置(視部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46) PL. 43-529		⑧ PL. 7, Ph. 20
	⑨ 長方形透孔、脚柱幅に広狭あり、復原脚数4(広)+12(狭)		
125	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QCG64 850813	③ 灰褐色
	④ 圓足円面鏡 a	⑤ 外境径17.2 視面径13.0 残存高3.7	⑥ 倒置(視部内面、外境部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 7, Ph. 20
	⑨ 長方形透孔、復原脚数8~9		
126	① 168次	② 右京8-1-14 6AII PC62 851019	③ 灰褐色
	④ 圓足円面鏡 b	⑤ 外境径13.5 視面径10.0 残存高2.0	⑥ 倒置(視部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 7, Ph. 20
	⑨ 長方形透孔、復原脚数25		
127	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QTS7 851120	③ 南側溝最下層(新) SD1496
	④ 圓足円面鏡 b	⑤ 外境径4.4 視面径3.0 残存高1.4	⑥ 倒置(視部内面、外境部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 7, Ph. 20
	⑨ 長方形透孔、復原脚数13 外境部外面に2~3本の波状文		
128	① 168次	② 右京8-1-14 6AII PG58 851023	③ 灰褐色
	④ 圓足円面鏡 c	⑤ 外境径12.6 視面径5.7 残存高3.1	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 7, Ph. 20
	⑨ 長方形透孔、復原脚数15		
129	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QH67 850919	③ 土坑4 SK1357
	④ 圓足円面鏡	⑤ 外境径26.5 残存高3.9	⑥ 倒置(視部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 7, Ph. 20
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28		
130	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QO58 850805	③ 灰褐色
	④ 圓足円面鏡	⑤ 外境径16.0 残存高2.1	⑥ 正置(視面、外境部外面に自然軸)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 7, Ph. 21
	⑨ 透孔不明 現でない可能性あり		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序	⑧ PL, Ph
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成	
	⑦ 概観・報告			
	⑧ 備考			
131	① 168次	② 右京8-1-14 6AII PA59 851129	③ 北側溝 下層	SD1499
	④ 圍足円面硯	⑤ 底部径19.0 残存高3.8	⑥ 不明(脚台部外面に一部降灰)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)			⑧ PL, 7, Ph. 21
	⑧ 長方形透孔、復原脚数16 脚部下端に沈線1条(透孔位置の基線*) 132と同一個体*			
132	① 168次	② 右京8-1-14 6AII PA59 851121	③ 北側溝 下層	SD1499
	④ 圍足円面硯	⑤ 残存高3.9	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)			⑧ PL, 7, Ph. 21
	⑧ 長方形透孔、脚部下端に沈線1条(透孔位置の基線*) 131と同一個体*			
133	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QU56 851121	③ 灰掘土	
	④ 圍足円面硯	⑤ 底部径26.8 残存高4.0	⑥ 正置(脚台部外面に降灰)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)			⑧ PL, 7, Ph. 21
	⑧ 長方形透孔、復原脚数28 134と同一個体*			
134	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QT56 851118	③ 南側溝 上層	SD1495
	④ 圍足円面硯	⑤ 残存長6.4	⑥ 正置(脚部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)			⑧ PL, 7, Ph. 21
	⑧ 長方形透孔、133と同一個体*			
135	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QQ65 850801	③ 灰掘土	
	④ 圍足円面硯	⑤ 底部径21.5 残存高2.1	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)			⑧ PL, 7, Ph. 21
	⑧ 長方形透孔、復原脚数24			
136	① 168次	② 右京8-1-14 6AII PD66 851012	③ 灰掘土	
	④ 圍足円面硯	⑤ 底部径17.0 残存高3.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)			⑧ PL, 7, Ph. 21
	⑧ 十字形透孔×4、長方形透孔×4、復原脚数8			
137	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QB57 850919	③ 井戸掘形(内側)	SE1305
	④ 圍足円面硯	⑤ 底部径13.2 残存高4.9	⑥ 正置(脚部外面、脚台部外面に降灰)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)			⑧ Ph. 21
	⑧ 長方形透孔			
138	① 168次	② 右京8-1-14 6AII PA56 851119	③ 北側溝 上層	SD1500
	④ 圍足円面硯	⑤ 残存長5.1	⑥ 不明(脚部内外面に降灰)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)			⑧ Ph. 21
	⑧ 長方形透孔			
139	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QG62 850816	③ 灰掘土	
	④ 円面硯(有脚)	⑤ 硯面径13.2 残存高1.5	⑥ 倒置(硯面裏に降灰)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)			⑧ PL, 7, Ph. 21
	⑧ 脚部(載脚*)の割離痕あり *学報では低圍足復			
140	① 168次	② 右京8-1-13 6AII 860123	③ 中央アゼ中 土器群	SD1495
	④ 円面硯(無脚)	⑤ 外縁径12.6 硯面径8.6 器高1.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46) PL. 43-526			⑧ PL, 7, Ph. 22
	⑧ *学報では「QG62区 灰掘土出土」			

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成	
	⑦ 概観・報告			⑧ PL, Ph
	⑨ 備考			
141	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QR57 850805	③ 南北溝①	SD1412
	④ 宝珠礎	⑤ 残存長6.5 残存幅9.8 器高2.5	⑥ 倒置(表裏面、脚柱に自然軸)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46) PL. 43-524			⑧ PL. 7, Ph. 22
	⑨ 風字痕の可能性あり			
142	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QU60 851022	③ 東西溝 上層	SD1495 上層
	④ 形象礎(半形礎)	⑤ 残存長8.3 残存幅6.5 残存高7.7	⑥ 正置(顔面左半分に降灰)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46) PL. 43-522			⑧ PL. 7, Ph. 22
	⑨ ヘリ抜き沈線で顔、角の細部を表現			
143	① 168次	② 右京8-1-13 6AII QP65 850803	③ 不整形土坑	SK1398
	④ 形象礎蓋(亀形礎蓋)	⑤ 残存長5.4 残存幅7.4 残存高3.0	⑥ 正置(外面に自然備)	
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46) PL. 43-523			⑧ PL. 7, Ph. 22
	⑨ ヘリ抜き沈線で亀甲を表現			
144	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RD25 870220	③ 暗灰燻土	
	④ 踏脚円面礎A	⑤ 外堤径25.5 視面径20.2 残存高4.8	⑥ 倒置(礎部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋三郎-藤原麻呂邸の調査』(学報54) PL. 164-4441			⑧ PL. 8, Ph. 22
	⑨ 復原脚数20 145・238と同一個体々			
145	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RD34 871024	③ 灰燻土	
	④ 踏脚円面礎A	⑤ 外堤径25.5 視面径20.2 残存高4.4	⑥ 倒置(礎部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋三郎-藤原麻呂邸の調査』(学報54) PL. 164-4441			⑧ PL. 8, Ph. 22
	⑨ 復原脚数20 144・238と同一個体々			
146	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RE37 861121	③ 灰燻土	
	④ 踏脚円面礎A	⑤ 視面径22.5 残存高5.0	⑥ 倒置(外堤部下面、突帯下面に降灰)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋三郎-藤原麻呂邸の調査』(学報54)			⑧ PL. 9, Ph. 23
	⑨ 復原脚数4々 174・175と同一個体々			
147	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RF48/RM44/RD49 861104/861110/870122	③ 灰燻土/灰燻土/東側溝 上層	SD4229
	④ 踏脚円面礎B	⑤ 外堤径25.0 視面径18.8 残存高4.2	⑥ 正置(突帯上面に自然軸)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋三郎-藤原麻呂邸の調査』(学報54)			⑧ PL. 8, Ph. 23
	⑨ 復原脚数20 148・149と同一個体々			
148	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RH42 861117	③ 灰燻土	
	④ 踏脚円面礎B	⑤ 残存長6.1	⑥ 不明(明確な遺痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋三郎-藤原麻呂邸の調査』(学報54)			⑧ PL. 8, Ph. 23
	⑨ 147・149と同一個体々			
149	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RD50 861031	③ 灰燻土	
	④ 踏脚円面礎B	⑤ 残存高4.2	⑥ 不明(明確な遺痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋三郎-藤原麻呂邸の調査』(学報54)			⑧ PL. 8, Ph. 23
	⑨ 147・148と同一個体々			
150	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RS41/RG49/RJ42 870110/870122/870112	③ 灰燻土/東側溝 上層/暗灰燻土	SD4229
	④ 踏脚円面礎B	⑤ 底部径26.0 残存高6.1	⑥ 正置(脚部外面、脚台部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋三郎-藤原麻呂邸の調査』(学報54)			⑧ PL. 8, Ph. 23
	⑨ 復原脚数21 151・152と同一個体々			

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
151	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI R035/RH44 861126/870117	③ 灰褐土/暗灰褐土
	④ 踏脚片面視B	⑤ 底部径26.0 残存高6.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 8, Ph. 24
	⑨ 150・152と同一個体々		
152	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RD51 870123	③ 西側溝上層 SD4231
	④ 踏脚片面視B	⑤ 底部径26.0 残存高4.1	⑥ 正置(脚部外面、脚部上面に降伏)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 8, Ph. 24
	⑨ 150・151と同一個体々		
153	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RF46 861106	③ 灰褐土
	④ 圓足片面視a	⑤ 外堤径13.0 碗面径8.8 残存高1.9	⑥ 倒置(碗部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54) PL. 164-4431		⑧ PL. 8, Ph. 24
	⑨ 長方形透孔、復原脚数19		
154	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RK27 861217	③ 灰褐土
	④ 圓足片面視a	⑤ 外堤径13.4 碗面径9.2 残存高2.5	⑥ 倒置(碗部内面、尖部下面に降伏)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54) PL. 164-4430		⑧ PL. 8, Ph. 24
	⑨ 長方形透孔 視裏面に垂焼き痕跡(径4.0cm)		
155	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RM41 861117	③ 灰褐土
	④ 圓足片面視a	⑤ 外堤径13.2 碗面径9.6 残存高2.3	⑥ 倒置(碗部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 8, Ph. 24
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27		
156	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RN38 870416	③ 井戸枠内埋土 SE4265
	④ 圓足片面視a	⑤ 外堤径18.4 碗面径14.7 残存高3.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 8, Ph. 24
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26		
157	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RI35 861126	③ 灰褐土
	④ 圓足片面視b	⑤ 碗面径8.4 残存高2.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 8, Ph. 24
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27		
158	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RD46 861106	③ 灰褐土
	④ 圓足片面視c	⑤ 外堤径13.2 碗面径10.0 残存高2.6	⑥ 倒置(碗部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 8, Ph. 24
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ3条以上		
159	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RD17 870306	③ 流路埋土 SD4150
	④ 圓足片面視	⑤ 外堤径12.0 底部径14.6 器高4.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 8, Ph. 24
	⑨ 長方形透孔、復原脚数9 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ2条、沈線ヨコ3条		
160	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RK34 870207	③ 南半大柱穴 SA4250
	④ 圓足片面視	⑤ 底部径17.1 残存高2.9	⑥ 倒置(脚部内面に厚く、外面に薄く自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 8, Ph. 25
	⑨ 長方形透孔、復原脚数32 脚部上下端に沈線各1条(透孔位置の基準々)		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	④ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
161	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RM18 861223	③ 灰褐色土
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.2	⑥ 倒置(脚部内外面に自然釉、内面が厚い)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査」(学報54)		⑧ Ph. 25
	⑨ 長方形透孔 脚部下端に比線1条(透孔位置の基線a)		
162	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RN40 870110	③ 南中東四溝 SD4261
	④ 中空円面硯	⑤ 外径径11.7 硯部径10.6 残存高5.0	⑥ 正置(高形把手裏面から上面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査」(学報54)		⑧ PL. 8, Ph. 25 fig. 64-4458, Ph. 216-4358
	⑨		
163	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RP33 870210	③ 大土坑 SE4260
	④ 円形硯(軸状高台)	⑤ 高台径15.0 残存高2.4	⑥ 倒置(硯裏面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査」(学報54) PL. 165-4444		⑧ PL. 8, Ph. 25
	⑨		
164	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RQ28 870218	③ 硝灰褐色土
	④ 風字硯	⑤ 残存長7.0 残存幅6.4 残存高1.3	⑥ 不明(硯面、硯裏面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査」(学報54) PL. 165-4448		⑧ PL. 8, Ph. 25
	⑨		
165	① 178次	② 左京3-2-7 6AFI RO50 870123	③ 黒灰褐色土
	④ 特殊硯	⑤ 残存長12.4 残存高3.0	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査」(学報54) PL. 166-4454		⑧ PL. 8, Ph. 25
	⑨ 硯でない可能性あり		
166	① 179次	② 右京8-1-14 6AII OT51 861214	③ 柱穴断面土坑 1 SB1790
	④ 踏脚円面硯A	⑤ 外径径21.2 残存高4.1	⑥ 倒置(外堤部内面全体と外面の一部に降灰)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 8, Ph. 25
	⑨ 復原脚数13 脚頭部に范傷あり		
167	① 179次	② 右京8-1-14 6AII OC50 861112	③ 硝灰砂質土
	④ 踏脚円面硯	⑤ 復原径9.5 残存高3.2	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ Ph. 25
	⑨		
168	① 179次	② 右京8-1-14 6AII OT45 861209	③ 大土坑 1
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径22.9 硯面径18.4 残存高2.3	⑥ 倒置(硯部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 9, Ph. 26
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29		
169	① 179次	② 右京8-1-14 6AII OT47 861205	③ 井戸採取 SE1700
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径13.4 残存高2.8	⑥ 倒置(硯部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ PL. 9, Ph. 26
	⑨ 長方形透孔、復原脚数7		
170	① 179次	② 右京8-1-14 6AII OD52 861110	③ 硝灰砂質土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 硯面径8.4 残存高1.5	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989「平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告」(学報46)		⑧ Ph. 26
	⑨		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
171	① 179次	② 右京8-1-14 6AII ON51 861126	③ 土坑①
	④ 圍足円面硯 a	⑤ 底部径27.3 残存高2.6	⑥ 正置(脚台面上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46)		⑧ PL 7, Ph. 26
	⑨ 120~122と同一個体々		
172	① 179次	② 右京8-1-14 6AII OQ45 861113	③ 暗灰砂質土
	④ 円形硯(無脚)	⑤ 外周径9.8 底部径11.6 器高1.8	⑥ 倒置(覆面面に降灰)
	⑦ 奈文研1989『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』(学報46) PL. 43-525		⑧ PL 9, Ph. 26
	⑨		
173	① 183-14次	② 右京1-2-6 6AGA LR04 871007	③ 南北溝 上層 SD812
	④ 圍足円面硯 a	⑤ 残存高4.5	⑥ 正置(脚台面上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1988『昭和62年度平城京発掘』		⑧ Ph. 26
	⑨ 長方形透孔		
174	① 184次・178次	② 左京3-2-7 6AFI SI28/RG27 870411/870429	③ 灰濁土/暗灰濁土
	④ 踏脚円面硯 A	⑤ 外周径27.0 残存高6.9	⑥ 倒置(外周部外面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸・藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 9, Ph. 26
	⑨ 復原脚数4々 146・175と同一個体々		
175	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SQ25 870417	③ 灰濁土
	④ 踏脚円面硯 A	⑤ 残存高4.1	⑥ 倒置(外周部外面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸・藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 9, Ph. 26
	⑨ 復原脚数4々 146・174と同一個体々		
176	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SI51 870626	③ 床土
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 視面径22.6 残存高5.2	⑥ 正置(海部に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸・藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 9, Ph. 26
	⑨ 復原脚数22		
177	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SF20 870502	③ 暗灰土
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 底部径24.7 残存高5.3	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸・藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 9, Ph. 26
	⑨ 復原脚数18		
178	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SS46 870706	③ 暗灰土
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 残存高6.9	⑥ 正置(脚台面上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸・藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 27
	⑨		
179	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI ST50 870909	③ 土坑2
	④ 踏脚円面硯	⑤ 残存高4.0	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸・藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 27
	⑨		
180	① 184次・178次	② 左京3-2-8 6AFI SU37/RD20 870703/870306	③ 北側溝下層/流路無し1 SD4361・SD4150
	④ 圍足円面硯 a	⑤ 外周径11.9 視面径7.3 残存高2.4	⑥ 倒置(腹部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸・藤原麻呂邸の調査-』(学報54) PL. 164-1429		⑧ PL 9, Ph. 27
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成	
⑦ 概観・報告	⑧ PL, Ph		
⑨ 備考			
181	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SA39 870622	③ 床土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径7.3 視面径4.7 器高3.3 底部径8.6	⑥ 正置(視面、彫部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 27 Pl. 164-4436, Ph. 216-4336	
	⑨ 造孔なし 彫部外面に草花文状のヘラ描き×15		
182	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SJ43 870930	③ 東西セクションベルト断面
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径13.6 視面径9.4 残存高2.1	⑥ 不明(明確な痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 27	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16 彫部に金属片付着		
183	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SS45 870706	③ 暗灰土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径12.8 視面径8.6 残存高1.9	⑥ 倒置(外壁部外面、下面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 27	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 184・185と同一個体		
184	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SS45 870706	③ 暗灰土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径12.8 残存高1.9	⑥ 不明(外壁部外面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 27	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 183・185と同一個体		
185	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SS47 870701	③ 床土
	④ 圓足円面硯	⑤ 外径径12.8 残存高1.9	⑥ 不明(突帯上面、側面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 27	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 183・184と同一個体		
186	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SS40 870709	③ 南側溝上層 暗茶褐色質土 SD4359
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外径径10.6 視面径8.8 残存高2.5	⑥ 不明(明確な痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 27 Pl. 164-4433, Ph. 216-4335	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数24		
187	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI ST45 870707	③ 北側溝(新) 暗灰砂 SD4361
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外径径10.6 視面径9.0 残存高2.8	⑥ 不明(明確な痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 27 Pl. 164-4434	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16 外壁部外面に波状文3条		
188	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SG49 870625	③ 床土
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外径径11.2 視面径7.2 残存高3.8	⑥ 正置(外壁部上面、外面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 28 Pl. 164-4433	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数12		
189	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SF50 870730	③ 暗灰土
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外径径12.4 視面径10.5 残存高2.7	⑥ 正置(外壁部上面から側面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 28 Pl. 164-4432	
	⑨ 長方形透孔		
190	① 184次・178次	② 左京3-2-7 6AFI SC25/RE17/RO20 870414/870306/870302	③ 灰褐色/暗灰褐色/灰褐色
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外径径15.7 視面径9.2 残存高2.6	⑥ 倒置(視部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)	⑧ PL. 9, Ph. 28 Pl. 164-4428	
	⑨ 長方形透孔、復原脚数32 視面に垂流き痕(径約7cm)		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
191	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SH35 870424	③ 暗灰土
	④ 團足円面硯 c	⑤ 外径径14.6 視面径12.8 残存高2.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 9, Ph. 28
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ描き沈線タテ1条		
192	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SB48 870806	③ 暗灰土
	④ 團足円面硯 c	⑤ 視面径11.2 残存高1.4	⑥ 復置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 9, Ph. 28
	⑨ 復表面に重焼き痕(径約10cm)		
193	① 184次	② 左京3-2-2 6AFI SD51 870813	③ 西側溝 上層
	④ 團足円面硯 c	⑤ 残存高2.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 28
	⑨ 戻でない可能性あり		
194	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SP41 870630	③ 床土
	④ 團足円面硯	⑤ 外径径20.2 残存高5.5	⑥ 正置(突唇外面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 9, Ph. 28
	⑨ 台形透孔		
195	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SP49 870630	③ 床土
	④ 團足円面硯	⑤ 残存長4.1	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 28
	⑨ 長方形透孔		
196	① 184次	② 左京3-2-8 6AFI SU41 870707	③ 東西溝 上層
	④ 團足円面硯	⑤ 底部径13.4 残存高1.5	⑥ 復置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 9, Ph. 28
	⑨ 長方形透孔、復原脚数18 脚部下端に沈線1条(透孔位置の基線*)		
197	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SG27 870506	③ 暗灰土
	④ 團足円面硯	⑤ 底部径16.8 残存高2.4	⑥ 復置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 9, Ph. 28
	⑨ 長方形透孔		
198	① 184次	② 左京3-2-8 6AFI SU39 870707	③ 暗灰土
	④ 團足円面硯	⑤ 底部径17.6 残存高3.5	⑥ 復置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 9, Ph. 28
	⑨ 長方形透孔、復原脚数20		
199	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SE31 870409	③ 灰褐色土
	④ 團足円面硯	⑤ 底部径18.5 残存高5.9	⑥ 不明(脚部側面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 9, Ph. 29
	⑨ 長方形透孔、復原脚数19		
200	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SF21 870427	③ 暗灰土
	④ 團足円面硯	⑤ 底部径23.4 残存高2.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 9, Ph. 29
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29 201と同一個体*		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成	⑧ PL, Ph
	⑦ 概観・報告						
	⑨ 備考						
201	① 184次	② 左京3-2-7 6AF1 SD21 870428	③ 暗灰土	④ 團足円面硯	⑤ 底部径23.4 残存高1.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	⑧ PL. 9, Ph. 29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54)						
	⑨ 長方形透孔、復原数29 200と同一個体カ						
202	① 184次	② 左京3-2-7 6AF1 SD21 870406	③ 灰褐土	④ 團足円面硯	⑤ 残存長4.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	⑧ Ph.29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54)						
	⑨ 長方形透孔						
203	① 184次	② 左京3-2-7 6AF1 SN20 870530	③ 井戸 最上層	④ 團足円面硯	⑤ 残存長5.3	⑥ 正置(脚部外面に降灰)	SE4340 ⑧ Ph. 29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54)						
	⑨ 長方形透孔						
204	① 184次	② 左京3-2-7 6AF1 SE21 870429	③ 暗灰土	④ 團足円面硯	⑤ 残存長4.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	⑧ Ph.29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54)						
	⑨ 長方形透孔						
205	① 184次	② 左京3-2-7 6AF1 SE26 880128	③ 井戸掘形	④ 團足円面硯	⑤ 底部径14.4 残存高3.1	⑥ 正置(脚部外面に降灰)	SE4365 ⑧ PL. 9, Ph. 29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54)						
	⑨ 長方形透孔、復原数14						
206	① 184次	② 左京3-2-7 6AF1 SS38 870708	③ 南北滑上層	④ 円面硯	⑤ 外堀径12.6 視面径12.0 残存高1.5	⑥ 正置(視面、外堀部上面に降灰)	SD4433 ⑧ PL. 9, Ph. 29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54)						
	⑨ 中空円面硯の可能性あり						
207	① 184次	② 左京3-2-8 6AF1 SU37 870707	③ 暗灰土	④ 円形硯(有脚)	⑤ 残存長7.4 残存幅4.2 残存高3.0	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)	⑧ PL. 10, Ph. 29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54) PL. 165-4450						
	⑨ 円形でない可能性あり						
208	① 184次	② 左京3-2-7 6AF1 SK51 880225	③ 暗灰土	④ 風字硯	⑤ 残存長6.4 残存幅3.2 残存高0.7	⑥ 正置(視面から外堀部外面に自然落)	⑧ PL. 10, Ph. 29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54)						
	⑨ 233と同一個体カ 視面にヘラミガキ 視面に重焼き痕(径約14cm) 視裏面に脚部刺痕あり						
209	① 184次	② 左京3-2-7 6AF1 SE45 870731	③ 暗灰土	④ 風字硯	⑤ 残存長5.8 残存幅4.6 残存高3.5	⑥ 正置(視面に自然落)	⑧ PL. 10, Ph. 29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54) PL. 165-4449						
	⑨						
210	① 184次・103-1次	② 左京3-2-7 6AF1 SS23/RU23/SH32 870417/770514/770619	③ 暗灰土/暗灰褐粘質土	④ 形象硯	⑤ 残存長11.4 残存幅12.8 残存高2.7	⑥ 正置(視面に自然落)	⑧ PL. 10, Ph. 29
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査」(学報54)						
	⑨ 視裏面2ヶ所に脚部刺痕あり						

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
211	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SS47 870901	③ 南側溝 上層住 SD4359上層
	④ 特殊環(花形環)	⑤ 残存長15.1 残存幅9.8 残存高3.0	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54) PL 166-4456		⑧ PL. 10, Ph. 30
	⑨		
212	① 184次	② 左京3-2-8 6AFI SU45/ST42/ST42 870929/870702/870907	③ 北庭新甕/暗灰土/北側溝 下層 SD4361
	④ 特殊環(樽形円面環)	⑤ 外堤径15.8 視面径15.2 残高6.4	⑥ 正置(外側に降灰)
	⑦ 奈文研1996『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54) PL 166-4455		⑧ PL. 10, Ph. 30
	⑨ 硯でない可能性あり		
213	① 184次	② 左京3-2-7 6AFI SS33 870416	③ 暗灰土
	④ 特殊環(低足円面環)	⑤ 外堤径18.4 残存高4.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54) PL 166-4452		⑧ PL. 10, Ph. 30
	⑨ 視面に研磨痕あり 視面に凹みあり		
214	① 186次(北・北Ⅱ・補足)	② 左京3-2-8 6AFI TG49 880204	③ 暗灰土
	④ 踏躰円面環B	⑤ 外堤径25.0 視面径20.1 残存高3.7	⑥ 正置(外堤部外側、夾帯上面に自然蝕)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54)		⑧ PL. 11, Ph. 30
	⑨		
215	① 186次(北・北Ⅱ・補足)	② 左京3-2-8 6AFI TB27 880803	③ 灰褐色土
	④ 圓足円面環a	⑤ 外堤径15.2 視面径11.6 残存高3.5	⑥ 倒置(視部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54) PL 164-4427, Ph. 216-4327		⑧ PL. 11, Ph. 30
	⑨ 長方形透孔、復原脚数15 脚柱外面にヘラ掻き沈線タテ1条		
216	① 186次(北・北Ⅱ・補足)	② 左京3-2-8 6AFI TF31 871125	③ 暗灰土
	④ 圓足円面環a	⑤ 外堤径13.2 視面径9.2 残存高2.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54)		⑧ PL. 11, Ph. 30
	⑨ 長方形透孔、復原脚数11		
217	① 186次(北・北Ⅱ・補足)	② 左京3-2-8 6AFI TC33/SU30 8704151	③ 北側溝1 SD4361
	④ 圓足円面環b	⑤ 外堤径14.4 視面径12.0 残存高2.7	⑥ 倒置(視部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54) PL 164-4426		⑧ PL. 11, Ph. 30
	⑨ 長方形透孔、復原脚数13		
218	① 186次(北・北Ⅱ・補足)	② 左京3-2-1 6AFI 56ライン 880810	③ 灰褐色土
	④ 圓足円面環	⑤ 残存長6.0	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 31
	⑨ 長方形透孔		
219	① 186次(北・北Ⅱ・補足)	② 左京3-2-8 6AFI TE48 880212	③ 小穴1 SB4831
	④ 圓足円面環	⑤ 底部径18.8 残存高2.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54)		⑧ PL. 11, Ph. 31
	⑨ 長方形透孔、復原脚数22 22と同一個体々		
220	① 186次(北・北Ⅱ・補足)	② 左京3-2-8 6AFI 48ライン 880808	③ 灰褐色土
	④ 圓足円面環	⑤ 底部径18.8 残存長2.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長原王塚-藤原朝昌塚の調査-』(学報54)		⑧ PL. 11, Ph. 31
	⑨ 長方形透孔 219と同一個体々		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
221	① 186次(北・北Ⅱ・補尾)	② 左京3-2-8 6AFI TD44 880210	③ 暗灰土
	④ 円形硯(獸脚)	⑤ 外径径19.0 器高4.3	⑥ 割置(底部内面、脚部下面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂塚の調査』(学報54) PL 166-4453		⑧ PL. 11, Ph. 31
	⑨ 復原脚数3カ		
222	① 186次(西・西Ⅱ)	② 左京3-2-2 6AFI SD53 871027	③ 床土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 外径径22.4 硯面径17.6 残存高4.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂塚の調査』(学報54)		⑧ PL. 11, Ph. 31
	⑨ 復原脚数22 223と同一個体カ		
223	① 186次(西・西Ⅱ)	② 左京3-2-2 6AFI SK54 871224	③ 暗灰土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高4.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂塚の調査』(学報54)		⑧ PL. 11, Ph. 31
	⑨ 復原脚数22 222と同一個体カ		
224	① 186次(西・西Ⅱ)・184次	② 左京3-2-2・7 6AFI SH57/SB52/SB51/SB51 880119/870806/870811/870811	③ 暗灰土/暗灰土/暗灰土 西側溝/土坑① SD4731・SB4490
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高4.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂塚の調査』(学報54)		⑧ Ph. 31
	⑨ 225と同一個体カ		
225	① 186次(西・西Ⅱ)	② 左京3-2-2 6AFI SH57/SH57/SG59 880117/880118/871219	③ 暗灰土/暗灰土/暗灰土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 底部径32.0 残存高5.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂塚の調査』(学報54)		⑧ Ph. 31
	⑨ 224と同一個体カ		
226	① 186次(西・西Ⅱ)	② 左京3-2-2 6AFI SL77 871127	③ 床土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 底部径22.4 残存高4.7	⑥ 正置(脚部上面、側面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂塚の調査』(学報54)		⑧ PL. 11, Ph. 31
	⑨ 復原脚数22		
227	① 186次(西・西Ⅱ)	② 左京3-2-1 6AFI T-II 880127	③ 床土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外径径12.7 硯面径9.3 残存高1.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂塚の調査』(学報54)		⑧ PL. 11, Ph. 31
	⑨ 長方形透孔、復原脚数22		
228	① 186次(西・西Ⅱ)	② 左京3-2-2 6AFI SM71 880511	③ 南北溝
	④ 風字硯(獸脚)	⑤ 残存長8.2 残存幅13.8 残存高5.8	⑥ 割置(脚部外面、硯面側面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂塚の調査』(学報54) PL 165-4451		⑧ PL. 11, Ph. 32
	⑨		
229	① 189次	② 左京2-2-14 6AFF CS27 880331	③ 布堀
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外径径14.8 硯面径11.2 残存高2.0	⑥ 正置(硯面、外縁部上面、突起上面に降灰)
	⑦ 奈文研1988『昭和62年度平城京発掘』		⑧ PL. 11, Ph. 32
	⑨ 長方形透孔、復原脚数24		
230	① 189次	② 左京2-2-14 6AFF FA23 880219	③ 灰褐色
	④ 圓足円面硯c	⑤ 硯面径14.0 残存高2.1	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1988『昭和62年度平城京発掘』・奈文研2003『平城京左京二条二坊十四坪発掘調査報告』(学報67)		⑧ PL. 11, Ph. 32
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 図解・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
231	① 189次	② 左京2-2-14 6AFF CN33 880308	③ 灰筒砂
	④ 圓足円面視	⑤ 底部径32.6 残存高8.5	⑥ 倒置(新内部に降灰)
	⑦ 奈文研1988『昭和62年度平城雑報』・奈文研2003『平城京左京二条二坊十四坪発掘調査報告』(学報67)		⑧ PL 11, Ph. 32
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26 脚部内面にかき目状の調整痕あり		
232	① 189次	② 左京2-2-14 6AFF CR37 880318	③ 井戸枠内 塵土層 SE40
	④ 円形視(輪状高台有脚)	⑤ 外径径22.0 視面径19.6 残存高3.0	⑥ 倒置(視裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1988『昭和62年度平城雑報』・奈文研2003『平城京左京二条二坊十四坪発掘調査報告』(学報67)		⑧ PL 11, Ph. 32
	⑨ 2ヶ所に脚部刺刺痕あり、復原脚数3ヶ 埋土最下層の木炭層から萬年通寶		
233	① 189次	② 左京2-2-14 6AFF CR22/CS23 880220/880219	③ 灰筒砂/灰袴砂
	④ 鳳字視	⑤ 残存長11.0 残存幅10.0 残存高1.6	⑥ 倒置(視裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1988『昭和62年度平城雑報』		⑧ PL 10, Ph. 33
	⑨ 海部内堤で区分 208と同一個体*		
234	① 190次	② 左京3-2-1 6AFI SO65 880519	③ 床土
	④ 踏脚円面視B	⑤ 残存高5.8	⑥ 倒置(新内部に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王部・藤原朝臣部の調査』(学報54)		⑧ Ph. 33
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26		
235	① 190次	② 左京3-2-1 6AFI ST78 881024	③ 北側溝 SD4951
	④ 踏脚円面視	⑤ 外径径21.4 残存高3.4	⑥ 不明(明確な痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王部・藤原朝臣部の調査』(学報54)		⑧ Ph. 33
	⑨		
236	① 190次	② 左京3-2-2 6AFI SQ59 880520	③ 床土
	④ 圓足円面視	⑤ 底部径16.6 残存高1.1	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王部・藤原朝臣部の調査』(学報54)		⑧ PL 11, Ph. 33
	⑨ 長方形透孔、復原脚数19		
237	① 193次(A・D区)	② 左京3-2-7 6AFI SN08 880903	③ 西側溝 暗灰砂 SD4699
	④ 踏脚円面視(百足視)	⑤ 外径径25.2 視面20.0 底部径24.5 器高5.4	⑥ 倒置(視裏面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王部・藤原朝臣部の調査』(学報54) PL 164-4439		⑧ PL 11, Ph. 33
	⑨ 復原脚数22 視面の一部に布目痕あり		
238	① 193次(A・D区)-184次	② 左京3-2-7・10 6AFI ST26/SI104 870413/880921	③ 灰褐色/東側溝 暗灰砂礫土 SD4701
	④ 踏脚円面視A	⑤ 外径径25.5 視面径20.2 残存高5.0	⑥ 倒置(視面内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王部・藤原朝臣部の調査』(学報54) PL 164-4441		⑧ PL 8, Ph. 34
	⑨ 復原脚数20 144・145と同一個体*		
239	① 193次(A・D区)	② 左京3-2-7 6AFI SCD6 880705	③ 排水溝
	④ 踏脚円面視B	⑤ 残存高5.1	⑥ 不明(明確な痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王部・藤原朝臣部の調査』(学報54) PL 164-4441		⑧ Ph. 34
	⑨		
240	① 193次(A・D区)-184次	② 左京3-2-7 6AFI SS13/SD20 880809/870428	③ 小路南側溝 上層/暗灰土 SD4589
	④ 踏脚円面視B	⑤ 底部径27.8 残存高6.2	⑥ 正置(脚部外面、脚部上面と側面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王部・藤原朝臣部の調査』(学報54) PL 164-4440		⑧ PL 12, Ph. 34
	⑨ 復原脚数20		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序	
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成	
	⑦ 概程・報告			⑧ PL, Ph
	⑨ 備考			
241	① 193次 (A・D区)	② 左京3-2-7 6AFI SP08 880722	③ 土坑1	
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高5.2	⑥ 正置 (脚部外面、脚台部上面に自然乾)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54)			⑧ PL. 12, Ph. 34
	⑨ 脚柱と脚台部の接合部に指オウシ遺			
242	① 193次 (A・D区)	② 左京3-2-7 6AFI SJ08 880722	③ 暗灰土	
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高5.6	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54)			⑧ Ph. 34
	⑨			
243	① 193次 (A・D区)	② 左京3-2-7 6AFI RS08 880713	③ 灰褐色土	
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高4.5	⑥ 正置 (脚部外面、脚台部上面に降灰)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54)			⑧ Ph. 34
	⑨ 244と同一個体。脚台部下面に火跡あり			
244	① 193次 (A・D区)	② 左京3-2-7 6AFI SS10 880809	③ 小路南側溝 上層	SD4589
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高5.2	⑥ 正置 (脚部外面、脚台部上面に降灰)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54)			⑧ PL. 12, Ph. 34
	⑨ 243と同一個体。脚台部下面に火跡あり			
245	① 193次 (A・D区)	② 左京3-2-10 6AFI SF07 880826	③ 西側溝 灰色粘土	SD4699
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外径径12.5 残存高1.5	⑥ 倒置 (硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54)			⑧ Ph. 34
	⑨ 長方形透孔			
246	① 193次 (A・D区)	② 左京3-2-7 6AFI RS08 880826	③ 西側溝 茶灰土	SD4699
	④ 円形硯 (輪状高台)	⑤ 外径径20.0 高台径16.8 器高2.7	⑥ 倒置 (硯表面、外側部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54) PL 165-4343			⑧ PL. 12, Ph. 35
	⑨			
247	① 193次 (B・C・E・F区)	② 左京3-2-8 6AFI TQ08 881019	③ 暗灰土	
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 底径径26.6 残存高5.3	⑥ 正置 (脚台部上面に自然乾)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54)			⑧ PL. 12, Ph. 35
	⑨ 復原脚数20			
248	① 193次 (B・C・E・F区)	② 左京3-2-8 6AFI UP13/UO10 881027/880920	③ 南側溝 木屑層/大路南側溝 炭層	SD5100
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外径径26.8 硯面径20.4 残存高2.5	⑥ 倒置 (硯部内面に降灰)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54) PL. 164-1849, Ph. 216-1879			⑧ PL. 12, Ph. 35
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29			
249	① 193次 (B・C・E・F区)	② 左京3-2-8 6AFI UO15 881117	③ 南側溝 炭層	SD5100
	④ 円面硯	⑤ 硯面径20.2 残存高1.75	⑥ 倒置 (硯部内面に自然乾)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54)			⑧ Ph. 35
	⑨			
250	① 193次 (B・C・E・F区)	② 左京3-2-8 6AFI UC08 881104	③ 西側溝 灰褐色粘土	SD4699
	④ 円形硯 (輪状高台)	⑤ 外径径21.2 残存高2.7	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)	
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告 長屋王塚・藤原麻呂塚の調査』(学報54) PL 165-4446			⑧ PL. 12, Ph. 35
	⑨			

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
251	① 193次(B・C・E・F区)	② 左京3-2-8 6AFI UO19 880916	③ 大路南側溝 炭層 SD5100
	④ 円形硯(輪状高台)	⑤ 外境径18.0 器高2.3	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54) PL 165-1881		⑧ PL 12, Ph. 36
	⑨		
252	① 195次(北・南区)	② 左京3-2-1 6AFI TP62 881130	③ 灰褐色土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 外境径27.8 硯面径23.4 残存高5.0	⑥ 正置(硯部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 12, Ph. 36
	⑨ 復原脚数27 253と同一個体*		
253	① 195次(北・南区)	② 左京3-2-1 6AFI TR63 881201	③ 灰褐色土
	④ 踏脚円面硯	⑤ 外境径27.8 硯面径23.4 残存高2.9	⑥ 正置(硯部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 12, Ph. 36
	⑨ 252と同一個体*		
254	① 195次(北・南区)	② 左京3-2-1 6AFI TO61 881129	③ 灰褐色土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 底部径24.7 残存高4.1	⑥ 正置(銜合部上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 12, Ph. 36
	⑨ 復原脚数21		
255	① 195次(北・南区)	② 左京3-2-1 6AFI TT69 881210	③ 灰褐色土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外境径27.8 硯面径23.4 残存高2.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 12, Ph. 36
	⑨ 長方形透孔、復原脚数37		
256	① 195次(北・南区)	② 左京3-2-1 6AFI TQ72 881201	③ 灰褐色土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 硯面径19.2 残存高2.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 36
	⑨ 長方形透孔		
257	① 195次(北・南区)	② 左京3-2-1 6AFI TT59/TS61 881128/881129	③ 灰褐色土/灰褐色土
	④ 円面硯(無脚)	⑤ 外境径15.2 硯面径10.2 底部径14.9 器高3.3	⑥ 正置(硯面、外境部外面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54) PL 165-4442		⑧ PL 12, Ph. 36
	⑨		
258	① 197次	② 左京3-2-8 6AFI UO46 890201	③ 南側溝 黒色土 SD5100
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 残存高3.3	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 12, Ph. 36
	⑨ 278と同一個体* 共伴土器は平城Ⅲ		
259	① 197次	② 左京3-2-1・8 6AFI UI53 890118	③ 凹み
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 底部径26.8 残存高5.6	⑥ 正置(脚部内外面、脚合部上面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 36
	⑨		
260	① 197次	② 左京3-2-8 6AFI UO48 890131	③ 南側溝 黒色砂 SD5100
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外境径13.4 硯面径9.5 残存高1.8	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王塚-藤原麻呂邸の調査-』(学報54) PL 164-1794		⑧ PL 12, Ph. 37
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21 外境部外面に窯ならし器痕あり 共伴土器は平城Ⅲ		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
261	① 197次	② 左京3-2-1 6AFI TP58 881213	③ 灰褐土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径16.6 視面径13.2 残存高2.2	⑥ 倒置(視部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54)		⑧ PL. 12, Ph. 37
	⑨ 長方形透孔		
262	① 197次	② 左京3-2-1 6AFI UJ35 881221	③ 灰褐土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径18.6 視面径14.8 残存高2.5	⑥ 倒置(視部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54) PL. 164-4437		⑧ PL. 12, Ph. 37
	⑨ 長方形透孔、復原脚数25 視面に火傷あり		
263	① 197次	② 左京3-2-1 6AFI UG61/UE58/UH58 890223/890222/890306	③ 灰褐土/灰褐土/大土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径19.6 視面径14.3 残存高2.1	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54) PL. 164-4438		⑧ PL. 12, Ph. 37
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28 264と同一個体か		
264	① 197次	② 左京3-2-8 6AFI UC58 890222	③ 灰褐土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径19.6 残存高2.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54)		⑧ PL. 12, Ph. 37
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28 263と同一個体か		
265	① 197次・186次(西・西Ⅱ)	② 左京3-2-1・8 6AFI TM55/TS53/西Ⅱ 890109/890111/880205	③ 南北溝 灰褐土/灰褐土/床土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 視面径13.0 残存高2.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54)		⑧ Ph. 37
	⑨ 長方形透孔		
266	① 197次	② 左京3-2-8 6AFI TQ49 890110	③ 小路東側溝
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径12.0 視面径9.6 残存高2.1	⑥ 倒置(視部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54)		⑧ PL. 12, Ph. 37
	⑨ 長方形透孔、復原脚数14		
267	① 197次	② 左京3-2-7 6AFI TR54/TQ54 881219/881219	③ 灰褐土/灰褐土
	④ 圓足円面硯	⑤ 外径径19.8 底部径26.0 器高7.0	⑥ 正置(外縁部外面、脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54)		⑧ PL. 12, Ph. 38
	⑨ 槽形透孔 脚部中央に横方向の貼付け突帯1条あり		
268	① 197次	② 左京3-2-8 6AFI UO48 890202	③ 南側溝 木屑層
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存径5.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54)		⑧ Ph. 38
	⑨ 長方形透孔 共伴土器は平城Ⅲ		
269	① 197次	② 左京3-2-1 6AFI UK57 880221	③ 灰褐土
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径32.0 残存高2.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54)		⑧ Ph. 38
	⑨ 長方形透孔		
270	① 197次	② 左京3-2-1 6AFI UO56 890221	③ 大土坑2
	④ 円面硯(無脚)	⑤ 外径径15.2 視面径11.4 底部径13.7 器高13.7	⑥ 正置(視部、外縁部上面、突帯上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995「平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-」(学報54)		⑧ PL. 12, Ph. 38
	⑨ 視面に厚く自然釉		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
271	① 198次 (A~C区)	② 左京2-2-5 6AFF JJ15 890419	③ 暗灰土 炭混り
	④ 圓足円面硯 c	⑤ 外堤径12.6 視面径10.8 底部径15.3 器高4.7	⑥ 正置 (腹部内面、脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 12, Ph. 38
	⑨ 隅丸長方形透孔、復原脚数29		
272	① 198次 (A~C区)	② 左京2-2-5 6AFF JG10 890516	③ 北甕溝3 下層 SD5240
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径22.3 視面径18.0 残存高2.5	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 38
	⑨ 長方形透孔 273・274と同一個体*		
273	① 198次 (A~C区)	② 左京2-2-5 6AFF JG10 890ZZZ	③ 北甕溝3 下層 SD5240
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径22.3 視面径18.0 残存高2.4	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 38
	⑨ 長方形透孔 272・273と同一個体*		
274	① 198次 (A~C区)	② 左京2-2-5 6AFF JG06 890425	③ 東西大溝D たちわり砂層①
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径22.3 残存高3.0	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 38
	⑨ 長方形透孔 272・273と同一個体*		
275	① 198次 (A~C区)	② 左京2-2-5 6AFF JS13 890329	③ 灰褐色土
	④ 円面硯	⑤ 視面径7.8 残存高1.5	⑥ 倒置 (視表面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 12, Ph. 38
	⑨ 視表面に黒焼き痕 (径約7.0cm)		
276	① 198次 (A~C区)	② 左京2-2-5 6AFF JP12/JP16 890419/890419	③ 柱穴5 抜取/紀堆積
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径26.4 残存高3.0	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 12, Ph. 39
	⑨ 長方形透孔、復原脚数22		
277	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO37 890316	③ 南甕溝 暗灰褐色砂土 SD5100
	④ 蹄脚円面硯 A	⑤ 残存径3.2	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 39
	⑨ 脚部内面に脚台部と接合の補強筋土あり 同伴土器は平城Ⅲ		
278	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO43 890317	③ 南甕溝 炭層 SD5100
	④ 蹄脚円面硯 B	⑤ 外堤径27.6 視面径21.8 残存高4.7	⑥ 不明 (明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54) PL 164-1850		⑧ PL 12, Ph. 39
	⑨ 復原脚数25 258と同一個体* 同伴土器は平城Ⅲ		
279	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO28 890401	③ 南甕溝 暗灰褐色砂土 SD5100
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径19.1 視面径14.0 残存高4.0	⑥ 倒置 (腹部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54) PL 164-1848, Ph. 216-1878		⑧ PL 13, Ph. 39
	⑨ 長方形透孔、復原脚数22 同伴土器は平城Ⅲ		
280	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO43 890317	③ 南甕溝 炭層 SD5100
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径27.2 視面径19.2 残存高5.1	⑥ 正置 (視面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原麻呂邸の調査-』(学報54)		⑧ PL 13, Ph. 39
	⑨ 長方形透孔、復原脚数20 同伴土器は平城Ⅲ		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
281	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO33 890322	③ 南側溝 灰層 SD5100
	④ 圓足円面硯	⑤ 硯口径20.0 残存高4.4	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親昌邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 13, Ph. 39
	⑨ 長方形透孔。復原脚数37 共伴土器は平城Ⅲ		
282	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO29 890406	③ 南側溝 黒灰粘土 SD5100
	④ 圓足円面硯	⑤ 外口径14.2 硯口径13.2 残存高1.8	⑥ 倒置(硯部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親昌邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 39
	⑨ 長方形透孔。共伴土器は平城Ⅲ		
283	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO29 890401	③ 南側溝 暗灰褐色砂土 SD5100
	④ 圓足円面硯	⑤ 底口径27.0 残存高2.9	⑥ 倒置(脚部内面全体、外面の一部に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親昌邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 13, Ph. 39
	⑨ 長方形透孔。復原脚数29 脚台部側面に沈泥2条 脚部下端に沈泥2条(透孔位置の基線々) 共伴土器は平城Ⅲ		
284	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO43 890317	③ 南側溝 灰層 SD5100
	④ 圓足円面硯	⑤ 外口径28.2 残存高3.0	⑥ 正置(硯面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親昌邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 40
	⑨ 長方形透孔。共伴土器は平城Ⅲ		
285	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO43 890323	③ 南北溝 木屑層 SD5100
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.6	⑥ 不明(脚部内外面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親昌邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 40
	⑨ 長方形透孔。285と同一個体か		
286	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO26 890714	③ 暗灰褐色砂土
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長8.4 残存幅13.2 残存高3.7	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親昌邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 13, Ph. 40 Pl. 165-4445, Ph. 216-4455
	⑨		
287	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UO42 890328	③ 南側溝 木屑層 SD5100
	④ 鏡面硯	⑤ 器長16.1 器幅12.0 器高1.9	⑥ 硯裏面に自然釉
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親昌邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 13, Ph. 40 Pl. 166-1852, Ph. 216-1882
	⑨ 須恵器の壺片を研磨して成形 共伴土器は平城Ⅲ		
288	① 200次	② 左京3-2-8 6AFI UM19 890327	③ 東西溝(新) SD5105
	④ 鏡面硯	⑤ 器長19.3 器幅14.5 器高2.4	⑥ 硯裏面に自然釉
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親昌邸の調査-』(学報54)		⑧ PL. 13, Ph. 41 Pl. 166-4458
	⑨ 須恵器の壺片を研磨して成形		
289	① 202-4次	② 右京3-1-15 6AGF NS78 890531	③ 流路 暗灰砂 SX07
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外口径16.4 硯口径12.4 残存高1.4	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1990『1989年度平城概報』		⑧ PL. 13, Ph. 41
	⑨ 長方形透孔。復原脚数17 復面にヘラケズリ		
290	① 202-13次	② 左京2-2-5 6AFF JP10 900209	③ 南北溝 灰色粘土 SD5021
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 残存高5.3	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王邸-藤原親昌邸の調査-』(学報54)		⑧ Ph. 41
	⑨		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
291	① 202-13次	② 左京2-2-5 6AFF JP10 900219	③ 南北溝東岸 晴灰砂質土 SD5021
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径19.2 硯面径14.0 残存高3.9	⑥ 倒置(硯部内面、突帯下面に自然粘)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王部-藤原麻呂部の調査-』(学报54)		⑧ PL. 13, Ph. 41
	⑨ 長方形透孔、復原脚数11		
292	① 202-13次	② 左京2-2-5 6AFF JQ11 900206	③ 暗褐色土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径18.4 硯面径14.2 残存高3.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王部-藤原麻呂部の調査-』(学报54)		⑧ PL. 13, Ph. 41
	⑨ 長方形透孔、復原脚数19		
293	① 204次	② 左京2-2-5 6AFF JG27 890802	③ 暗灰褐色砂質土
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 残存高7.2	⑥ 正置(脚部外面、碑台上面と側面に自然粘)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王部-藤原麻呂部の調査-』(学报54)		⑧ Ph. 42
	⑨		
294	① 204次	② 左京2-2-5 6AFF JC26 890808	③ 晴灰褐色砂質土
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存高4.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告-長屋王部-藤原麻呂部の調査-』(学报54)		⑧ Ph. 42
	⑨		
295	① 215-1次	② 左京2-3-6 6AFE LJ10 900416	③ 南北溝 灰色粘土 SD5480 (SD04)
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径24.2 硯面径19.2 残存高3.5	⑥ 正置(硯面に自然粘)
	⑦ 奈文研1991『1990年度平城遺報』		⑧ PL. 14, Ph. 42
	⑨ 不定形透孔、復原脚数7		
296	① 215-5次	② 左京1-3-2 6AFB NQ72 900731	③ 灰黒土
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.7	⑥ 正置(脚部外面、側面に自然粘)
	⑦ 奈文研1991『1990年度平城遺報』		⑧ Ph. 42
	⑨ 長方形透孔		
297	① 215-19次	② 右京北辺1-2 6AGA 910225	③ 灰褐色砂
	④ 圓足円面硯	⑤ 外堤径15.2 残存高4.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1991『1990年度平城遺報』(一覽表のみ)		⑧ PL. 13, Ph. 42
	⑨ 長方形透孔、復原脚数11~12 脚柱外面を縦方向にヘラケズリ		
298	① 223-2次	② 平城宮北方 6ASA JE66 910423	③ 表土
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外堤径12.4 硯面径10.4 底部径17.6 器高7.1	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1992『1991年度平城遺報』		⑧ PL. 14, Ph. 42
	⑨ 台形透孔、復原脚数4 脚柱外面にヘラ描き沈積タテ3条		
299	① 223-2次	② 平城宮北方 6ASA JE66 910425	③ 灰褐色土
	④ 風字硯	⑤ 残存長10.0 残存幅6.3 残存高2.4	⑥ 倒置(硯表面に降灰)
	⑦ 奈文研1992『1991年度平城遺報』		⑧ PL. 14, Ph. 42
	⑨ 立方形の脚柱が傾斜した痕跡あり		
300	① 223-9次	② 左京2-2-5 6AFF LA33 910809	③ 排水溝
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径15.5 硯面径10.8 残存高3.5	⑥ 倒置(硯部内面、外堤部下面、突帯下面に自然粘)
	⑦ 奈文研1992『1991年度平城遺報』		⑧ PL. 14, Ph. 43
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
301	① 230次	② 左京3-1-16 6AFJ GR32 920805	③ 井戸埋土 SE06
	④ 圓足円面硯b	⑤ 外径径13.3 視面径11.6 残存高3.0	⑥ 正置(突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1993「1992年度平城京概報」		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 長方形透孔、復原脚数19 共伴土器は平城V～長同期		
302	① 230次	② 左京3-1-16 6AFJ GQ32 920804	③ 井戸採取 SE06
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径19.0 残存高1.2	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1993「1992年度平城京概報」		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17 共伴土器は平城V～長同期		
303	① 230次	② 左京3-1-15 6AFJ FM33 920723	③ 暗灰土
	④ 圓足円面硯	⑤ 最大径20.6 残存高3.3	⑥ 倒置(脚部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1993「1992年度平城京概報」		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 突帯の上下に長方形透孔、復原脚数10(上段)、14(下段)		
304	① 231次	② 左京3-1-7 6AFJ OH32 920207	③ 黄褐粘土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 外径径25.6 残存高5.1	⑥ 正置(外堤部外面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1993「平城京左京三条一坊七坪発掘調査報告」fig. 22-120		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 復原脚数23		
305	① 231次	② 左京3-1-7 6AFJ OG31 920210	③ 黄褐粘土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 最大径20.2 残存高5.0	⑥ 不明(明確な高痕跡なし)
	⑦ 奈文研1993「平城京左京三条一坊七坪発掘調査報告」		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 復原脚数19		
306	① 231次	② 左京3-1-7 6AFJ NR27 920302	③ 大土坑 SK5769
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径20.8 残存高4.3	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1993「平城京左京三条一坊七坪発掘調査報告」fig. 22-122		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 三角形または逆台形透孔 共伴土器は平城Ⅲ		
307	① 231次	② 左京3-1-7 6AFJ ON34 920217	③ 東西溝1
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径20.1 残存高2.1	⑥ 倒置(脚部下面、内面に降灰)
	⑦ 奈文研1993「平城京左京三条一坊七坪発掘調査報告」fig. 22-121		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 長方形透孔		
308	① 231次	② 左京3-1-7 6AFJ OP31 920229	③ 東西溝1
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径12.8 残存高1.1	⑥ 不明(脚部内外面に降灰)
	⑦ 奈文研1993「平城京左京三条一坊七坪発掘調査報告」		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28		
309	① 231次	② 左京3-1-7 6AFJ NP27 920117	③ 黄褐粘土
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径22.8 残存高3.5	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1993「平城京左京三条一坊七坪発掘調査報告」		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 長方形透孔		
310	① 242-8次	② 左京3-1-7 6AFJ OO17 931007	③ 南北溝1 SD6100
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外径径19.0 視面径13.4 残存高2.3	⑥ 不明(明確な高痕跡なし)
	⑦ 奈文研1993「1994年度平城京概報」		⑧ PL 14, Ph. 43
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26 視裏面に研着痕		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
311	① 242-8次	② 左京3-1-7 6AFJ OL18 930924	③ 灰色土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径10.9 硯面径6.8 残存高2.0	⑥ 側置(硯部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1994『1993年度平城紙報』		⑧ PL. 14, Ph. 44
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21 312と同一個体*		
312	① 242-8次	② 左京3-1-7 6AFJ OM18 931012	③ 井戸1 井戸枠上 SE6900
	④ 圓足円面硯	⑤ 外堤径10.9 残存高2.1	⑥ 側置(硯部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1994『1993年度平城紙報』		⑧ PL. 14, Ph. 44
	⑨ 長方形透孔 外堤部上面に滑着痕あり 311と同一個体* 共存遺物に萬年通寶(760年初鑄)		
313	① 242-8次	② 左京3-1-7 6AFJ OL18/OL17 930924/931012	③ 灰色土/東西溝2
	④ 風字硯	⑤ 残存長10.2 残存幅8.1 残存高8.1	⑥ 側置(硯部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1994『1993年度平城紙報』		⑧ PL. 14, Ph. 44
	⑨ 硯面をヘラケズリ		
314	① 249次	② 左京3-1-14 6AFJ DO17 940519	③ 小穴1 SB5630抜取穴
	④ 円面硯(無脚)	⑤ 硯面径9.0 底部径11.6 残存高2.4	⑥ 正置(海部に自然粘)
	⑦ 奈文研1995『平城京左京三条一坊十四坪発掘調査報告』fig. 10-21, PL. 10-21		⑧ PL. 14, Ph. 44
	⑨ 硯裏面を硯に転用 共存土器は平城V		
315	① 252次	② 左京7-1-16 6AHH HM11 940812	③ 南北溝 SD6400
	④ 踏脚円面硯	⑤ 残存高1.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ Ph. 44
	⑨ 316と同一個体*		
316	① 252次	② 左京7-1-16 6AHH HM11 940812	③ 南北溝 SD6400
	④ 踏脚円面硯	⑤ 残存高1.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ Ph. 44
	⑨ 315と同一個体*		
317	① 252次	② 左京7-1-16 6AHD AC24 940901	③ 黄灰土
	④ 圓足円面硯	⑤ 外堤径9.8 残存高2.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ PL. 14, Ph. 44
	⑨ 長方形透孔、復原脚数31 318と同一個体*		
318	① 252次	② 左京7-1-16 6AHD AD24 940901	③ 黄灰土
	④ 圓足円面硯	⑤ 外堤径9.8 残存高2.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ PL. 14, Ph. 44
	⑨ 長方形透孔、復原脚数31 317と同一個体*		
319	① 252次	② 左京7-1-16 6AHH HO13 940718	③ 南北大溝 暗灰粘質土 SD6400
	④ 円面硯	⑤ 残存長5.1	⑥ 側置(硯裏面に降灰)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ Ph. 44
	⑨ 硯面に火禱あり		
320	① 252次	② 左京7-1-16 6AHH HN14 940712	③ 黄灰土
	④ 円面硯(駄脚)	⑤ 外堤径21.0 硯面径16.0 器高3.6	⑥ 側置(硯裏面、脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56) PL. 37-530		⑧ PL. 14, Ph. 44
	⑨ 復原脚数3*		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
321	① 252次	② 左京7-1-16 6AHH II.28 940914	③ 漆2 新割茶褐土 SD6446
	④ 特殊硯(形象硯カ)	⑤ 残存長11.7 残存幅7.0 残存高3.1	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56) PL. 37-537		⑧ PL. 14, Ph. 44
	⑨ 脚部の痕跡はなし		
322	① 253次	② 左京7-1-16 6AHH HD15 941026	③ 黄灰土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外境径17.3 硯面径11.8 残存高2.9	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56) PL. 37-533		⑧ PL. 15, Ph. 45
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29		
323	① 253次	② 左京7-1-16 6AHG PL97 941122	③ 西側溝 褐粗砂 SD6400
	④ 圓足円面硯	⑤ 最大径12.8 残存高4.1	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56)		⑧ PL. 15, Ph. 45
	⑨ 透孔不明 脚部外面にヘラ描き沈線タテ3条以上		
324	① 253次	② 左京7-1-16 6AHG QA97 941114	③ 西側溝 青灰細砂 SD6400
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存高4.2	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56)		⑧ PL. 15, Ph. 45
	⑨ 透孔不明、脚部外面にヘラ描き沈線タテ3条以上 331と同一個体カ		
325	① 253次	② 左京7-1-16 6AHG PJ97 941121	③ 西側溝 暗灰砂 SD6400
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存高5.2	⑥ 倒置(脚部外面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56)		⑧ Ph. 45
	⑨ 長方形透孔		
326	① 253次	② 左京7-1-16 6AIG PM97 941121	③ 西側溝 暗灰砂 SD6400
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存高4.2	⑥ 正置(脚部外面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56)		⑧ Ph. 45
	⑨ 長方形透孔、脚部外面に突帯2条		
327	① 253次	② 左京7-1-16 6AHG PK96 941122	③ 西側溝 褐粗砂 SD6400
	④ 円形硯(輪状高台)	⑤ 硯面径10.6 底部径10.5 器高1.6	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56)		⑧ PL. 15, Ph. 45
	⑨		
328	① 253次	② 左京7-1-16 6AHG QZ97 941117	③ 暗灰粘土
	④ 円形硯(輪状高台)	⑤ 硯面径17.6 高台径17.2 器高2.4	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56)		⑧ PL. 15, Ph. 45
	⑨		
329	① 253次	② 左京7-1-16 6AIG PF97 941129	③ 西側溝 褐粗砂 SD6400
	④ 形象硯(鳥形硯)	⑤ 残存長4.5 残存幅10.2 残存高9.0	⑥ 倒置(頸部下面に降灰)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56) PL. 37-536, Ph. 44-536		⑧ PL. 15, Ph. 45
	⑨		
330	① 254次	② 左京7-1-16 6AHH GO40 950111	③ 黄灰土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外境径18.5 硯面径13.1 残存高4.4	⑥ 倒置(硯裏面、外境部外面に自然釉)
	⑦ 奈文研1997「平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告」(学報56) PL. 37-532		⑧ PL. 15, Ph. 45
	⑨ 長方形透孔、復原脚数35 外境部上端、脚部上端に沈線各2条		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
331	① 254・253次	② 左京7-1-16 6AHH/6AHG GM44/PM97 950120/941110	③ 東西溝 最上層/新溝 褐灰砂質土 SD6472上層/SD6415
	④ 圓足円面硯	⑤ 外径径12.6 底部径16.5 器高5.0	⑥ 正置(脚部外面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56) PL 37-531, Ph. 44-531		⑧ PL 15, Ph. 45
	⑨ 造孔なしカ 脚部外面に縦方向のヘラ掻き沈線(約1cm間隔) 共存土器はSD6472上層が平城Ⅳ～Ⅴ、Ⅲ24と同一個体カ		
332	① 254次	② 左京7-1-16 6AHH GM43/GM45/GM42 950113/950214/950123	③ 黄灰土/東西溝 中層茶褐色粘土/黄灰土 SD6472中層
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径17.0 視面径12.4 残存高2.9	⑥ 正置(視面に降灰)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ PL 15, Ph. 46
	⑨ 長方形透孔 脚幅広狭あり、復原脚数4(広)、4(狭) 共存土器は平城Ⅳ～Ⅴ、Ⅲ		
333	① 254次	② 左京7-1-16 6AHH GT45 950118	③ 黄灰土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 視面径16.6 残存高2.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ Ph. 46
	⑨		
334	① 254次	② 左京7-1-16 6AHH GA41 950112	③ 黄灰土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 底部径18.2 残存高2.2	⑥ 正置(脚部上面に降灰)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ PL 15, Ph. 46
	⑨ 長方形透孔、復原脚数14 脚部外面にヘラ掻き沈線クテ1条 脚部外面にヨコ方向の沈線2条		
335	① 254次	② 左京7-1-16 6AHH HC30-31 941222	③ 黄灰土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 視面径15.0 残存高3.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ PL 15, Ph. 46
	⑨		
336	① 254次	② 左京7-1-16 6AHH GS43 950113	③ 黄灰土
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径21.7 残存高1.3	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ Ph. 46
	⑨		
337	① 254次	② 左京7-1-16 6AHH HA37 950110	③ 黄灰土
	④ 円形硯(輪状高台)	⑤ 外径径19.6 高台径17.5 器高2.5	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56) PL 37-534, Ph. 28-534, Ph. 44-534		⑧ PL 15, Ph. 46
	⑨ 硯面に布目模あり 硯面に重燒き灰(径18.5cm)		
338	① 254次	② 左京7-1-16 6AHH HA44 950218	③ 黄灰土
	④ 円形硯(輪状高台)	⑤ 外径径19.0 高台径17.2 器高2.5	⑥ 正置(硯面に降灰)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ PL 15, Ph. 46
	⑨		
339	① 254次	② 左京7-1-16 6AHH GN40/GR41/GS37 950125/980124/950108	③ 溝状土坑1/不整形土坑/黄灰土 SD6609・SK6579
	④ 宝珠硯	⑤ 残存径12.3 残存高1.5	⑥ 倒置(硯裏面に降灰)
	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56) PL 37-535, Ph. 44-535		⑧ PL 15, Ph. 46
	⑨ 硯裏面に重燒き灰(径14.0cm)		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成	⑧ PL, Ph
⑦ 概観・報告			
⑨ 備考			
340	① 255次	② 左京7-1-16 6AIII HR46 950223	③ 灰灰土
④	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径15.4 残存高2.5	⑥ 正置(脚部外面に障灰)
⑦	⑦ 奈文研1997『平城京左京七条一坊十五・十六坪発掘調査報告』(学報56)		⑧ Ph. 46
⑨	⑨		
341	① 266次	② 左京3-1-15 6AFJ GD24 960125	③ 末土
④	④ 圓足円面硯b	⑤ 外堤径19.5 残存高3.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
⑦	⑦ 奈文研1996『1995年度概報』		⑧ PL. 16, Ph. 47
⑨	⑨ 長方形透孔、復原脚数23		
342	① 266次	② 左京3-1-15 6AFJ GF21 960206	③ 暗灰砂質土
④	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
⑦	⑦ 奈文研1996『1995年度概報』		⑧ Ph. 47
⑨	⑨ 長方形透孔		
343	① 279次	② 左京2-2-11 6AFF EA68/EA65 970213/970207	③ 灰色土/灰色土
④	④ 圓足円面硯a	⑤ 外堤径15.0 視面径9.6 底部径18.8 器高6.4	⑥ 正置(海部、突帯上面、脚部外面に自然釉)
⑦	⑦ 奈文研1997『年報1997-Ⅲ』		⑧ PL. 16, Ph. 47
⑨	⑨ 長方形透孔、復原脚数10 脚部外面に突帯1条		
344	① 279次	② 左京2-2-11 6AFF DM65/DO64 970123/970127	③ 灰色土/灰色土
④	④ 圓足円面硯a	⑤ 外堤径17.7 視面径12.0 残存高3.4	⑥ 倒置(底部内面に自然釉)
⑦	⑦ 奈文研1997『年報1997-Ⅲ』		⑧ PL. 16, Ph. 47
⑨	⑨ 長方形透孔、復原脚数28 外堤部外面に沈線1条		
345	① 279次	② 左京2-2-11 6AFF DK70 970116	③ 灰色土
④	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径21.4 残存高1.0	⑥ 倒置(脚部内面に障灰)
⑦	⑦ 奈文研1997『年報1997-Ⅲ』		⑧ PL. 16, Ph. 47
⑨	⑨ 長方形透孔、復原脚数24		
346	① 279次	② 左京2-2-11 6AFF DT71 970218	③ 灰色土
④	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径12.6 残存高2.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
⑦	⑦ 奈文研1997『年報1997-Ⅲ』		⑧ Ph. 47
⑨	⑨ 長方形透孔、脚部に突帯1条		
347	① 279次	② 左京2-2-11 6AFJ EA63 970224	③ バラス層
④	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長7.3	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
⑦	⑦ 奈文研1997『年報1997-Ⅲ』		⑧ Ph. 47
⑨	⑨ 長方形透孔		
348	① 279次	② 左京2-2-11 6AFF DM68 970214	③ 土坑1 SK6955
④	④ 形象硯(電形硯蓋・奈良二彩) ⑤ 残存長5.5 残存幅4.8		⑥
⑦	⑦ 奈文研1997『年報1997-Ⅲ』巻頭カラー写真ii-上		⑧ PL. 16, カラーPh. 2下
⑨	⑨ 沈線で亀甲の表現あり		
349	① 279次	② 左京2-2-11 6AFF DO69 970226	③ 土坑2 木くず層
④	④ 形象硯(電形硯蓋・奈良二彩) ⑤ 残存長2.4 残存幅3.0		⑥
⑦	⑦ 奈文研1997『年報1997-Ⅲ』巻頭カラー写真ii-上		⑧ PL. 16, カラーPh. 2下
⑨	⑨ 沈線で亀甲の表現あり 350と同一形体		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 図解・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
350	① 279次	② 左京2-2-11 6AFF DO69 970226	③ 土坑2 木くず層
	④ 形象硯(亀形硯蓋・奈良二彩)	⑤ 残存長1.7	⑥
	⑦ 奈文研1997『年報1997-Ⅱ』巻頭カラー写真ii-上		⑧ カラーPh. 2F
	⑨ 沈線で亀甲の表現あり 349と同一団体々		
351	① 282-3次	② 左京3-1-14 6AFJ DC13 970527	③ 暗灰砂質土
	④ 踏脚円面硯A	⑤ 底部径28.7 残存高2.6	⑥ 倒置(跗部側面、下面に自然釉)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ Ph. 47
	⑨		
352	① 282次-10次	② 左京2-2-10(二条桑間路) 6AFF ED56 971030	③ 暗灰砂
	④ 円形硯(輪状高台・有脚)	⑤ 外縁径18.2 底部径15.6 残存高2.8	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1997『年報1998-Ⅲ』		⑧ PL, 16, Ph. 47
	⑨ 跗部の刺痕あり 視裏面に墨書(「口(ニヵ)」)あり		
353	① 282-10次	② 左京2-2-11 6AFF EG55 971104	③ 暗灰砂
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径18.8 残存高3.5	⑥ 正置(跗部外面に自然釉)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ PL, 16, Ph. 48
	⑨ 長方形透孔、復原脚数12 跗部外面に突帯1条		
354	① 282-16次	② 左京2-2-11 6AFF DP84 980316	③ 赤灰砂質土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外縁径5.4 視面径3.6 残存高1.1	⑥ 倒置(跗部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ PL, 16, Ph. 48
	⑨ 長方形透孔、復原脚数20 視面に墨痕あり		
355	① 282-16次	② 左京2-2-11 6AFF EB83 980323	③ 土坑2
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外縁径20.6 視面径16.6 残存高3.1	⑥ 倒置(跗部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ PL, 16, Ph. 48
	⑨ 長方形透孔、復原脚数25		
356	① 282-16次	② 左京2-2-11 6AFF DP85 980313	③ 赤灰砂質土
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外縁径17.0 視面径13.6 残存高2.0	⑥ 不明(明確な磨痕跡なし)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ PL, 16, Ph. 48
	⑨ 長方形透孔、復原脚数25		
357	① 282-16次	② 左京2-2-11 6AFF DR83 980324	③ 井戸抜き穴 SE7340
	④ 圓足円面硯a	⑤ 外縁径19.0 視面径14.4 残存高2.5	⑥ 倒置(跗部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ PL, 16, Ph. 48
	⑨ 長方形透孔、復原脚数14		
358	① 282-16次	② 左京2-2-11 6AFF DR83 980317	③ 土坑1 灰褐色質土 SE7340
	④ 圓足円面硯a	⑤ 視面径8.4 残存高2.5	⑥ 倒置(跗部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ Ph. 48
	⑨ 長方形透孔		
359	① 282-16次	② 左京2-2-11 6AFF DP83 980323	③ 土坑6
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.5	⑥ 正置(跗部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ PL, 16, Ph. 48
	⑨ 長方形透孔 跗部外面、側面にヘラケズリ		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
360	① 282-16次	② 左京2-2-11 6AFF DO83 980313	③ 茶灰砂質土
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.4	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1998「年報1998-Ⅲ」		⑧ Ph. 48
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面、側面にヘラケズリ		
361	① 282-16次	② 左京2-2-11 6AFF DP82 980308	③ 茶灰砂質土
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径27.0 残存高2.0	⑥ 正置(脚台部上面、外面、下面に自然釉)
	⑦ 奈文研1998「年報1998-Ⅲ」		⑧ Ph. 48
	⑨ 長方形透孔 脚台部外面に突帯1条		
362	① 289次	② 左京2-2-11 6AFF EH76 980113	③ 灰色土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 外縁径23.6 硯面径19.5 残存高5.4	⑥ 正置(脚台部上面、外面、下面に自然釉)
	⑦ 奈文研1998「年報1998-Ⅲ」		⑧ PL. 16, Ph. 48
	⑨ 復原脚数23		
363	① 290次	② 右京3-1-3 6AGF CS24 980227	③ 南北溝1 灰褐砂質土 SD2618
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径21.0 残存高0.7	⑥ 倒置(脚台部下面に降灰)
	⑦ 奈文研1998「年報1998-Ⅲ」		⑧ PL. 16, Ph. 48
	⑨ 長方形透孔 復原脚数25 脚台部側面、上面にミガキ調整		
364	① 304次	② 左京3-1-10 6AFJ FP84 990510	③ 東西溝1
	④ 踏脚円面硯A	⑤ 外縁径20.1 硯面径14.6 残存高4.6	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)
	⑦ 奈文研2000「年報2000-Ⅱ」		⑧ PL. 16, Ph. 49
	⑨ 復原脚数14 硯面に周縁に沈線1条 脚頭部に貼付けの工具痕あり		
365	① 304次	② 左京3-1-10 6AFJ FH84 990611	③ 茶褐砂質土
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 外縁径25.6 残存高6.5	⑥ 正置(外縁部外面、脚部外面に自然釉)
	⑦ 奈文研2000「年報2000-Ⅲ」		⑧ PL. 16, Ph. 49
	⑨ 復原脚数22		
366	① 314-7次	② 左京3-1-7 6AFJ OQ22 000717	③ 灰褐砂質土
	④ 圓足円面硯	⑤ 外縁径14.4 残存高2.7	⑥ 正置(外縁部外面、脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研2001「紀要2001」		⑧ PL. 16, Ph. 49
	⑨ 復原脚数17~18 367と同一個体々		
367	① 314-7次	② 左京3-1-7 6AFJ OQ22 000717	③ 大溝 灰褐砂質土 SD5100
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存高2.7	⑥ 正置(外縁部外面、脚部外面に降灰)
	⑦ 奈文研2001「紀要2001」		⑧ PL. 16, Ph. 49
	⑨ 366と同一個体々		
368	① 372次	② 左京7-1-16 6AHH HO39 040628	③ 灰褐土
	④ 踏脚円面硯A	⑤ 残存高3.5	⑥ 倒置(脚台部下面に降灰)
	⑦ 奈文研2005「紀要2005」		⑧ Ph. 49
	⑨		
369	① 372次	② 左京7-1-16 6AHH HP42 040622	③ 灰褐土
	④ 円形硯(有脚)	⑤ 外縁径14.8 硯面径12.8 高台径12.8 唇高3.9	⑥ 不明(明確な痕跡跡なし)
	⑦ 奈文研2005「紀要2005」同178-10		⑧ PL. 16, Ph. 49
	⑨		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 種類	⑤ 法量	⑥ 焼成
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
370	① 375次	② 左京7-1-16 6AFF DN4/DO4 040730/040804	③ 灰色粘土/灰色粘土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径13.8 硯面径10.6 底部径17.8 残存高4.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研2005『紀要2005』図184-1		⑧ PL, Ph, 49
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16		
371	① 次数不明	② 奈良山丘陵 6SNR	③
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径17.6 硯面径13.2 残存高3.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研編1973・1974・1979『奈良山-平城ニュータウン予定地内遺跡調査概報1・2・3』		⑧ Ph, 49
	⑨ 外堤部外面に横方向の沈線1条		

# IV—2.

寺院出土陶硯 一覽表

## 凡 例

- ①寺院の順番 付表の順で、寺院ごとに並べる。  
②出土地点 寺域内での位置、出土地区、出土口時の順に記す。

付表. 寺院の略号と掲載順

大安寺	6BDA
法華寺	6BFK・6BFO
元興寺	6BGN
法隆寺	6BHR
海竜王寺	6BKA
興福寺	6BKF
西大寺	6BSD
西隆寺	6BSR
東大寺	6BTD
唐招提寺	6BTS
薬師寺	6BYS

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
<b>大安寺 6BDA</b>			
401	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA F16	③
	④ 円形礎	⑤ 外堤径11.0 視面径6.6 残存高2.1	⑥ 倒置(視裏面に自然軸)
	⑦ 奈文研1976「昭和50年度平城概報」・奈良市教委1997「史跡大安寺旧境内1-杉山古墳地区の発掘調査・発掘事業報告」		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔、復原脚数15		
402	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA A11 751212	③ 明灰磚土
	④ 圓足円面礎 b	⑤ 外堤径19.6 視面径17.0 残存高2.1	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1976「昭和51年度平城概報」・奈良市教委1997「史跡大安寺旧境内1-杉山古墳地区の発掘調査・発掘事業報告」		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨		
403	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA B11 751212	③ 瓦溜り
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長6.1	⑥ 倒置(脚部内面に自然軸)
	⑦ 奈文研1976「昭和51年度平城概報」		⑧ Ph. 5
	⑨ 長方形透孔		
404	① 95-18次	② 大安寺北面中房推定地 6BDA F19	③ 大安寺駐車場
	④ 円形礎(有脚)	⑤ 外堤径19.0 視面径18.0 残存高1.4	⑥ 倒置(視裏面に自然軸)
	⑦ 奈文研1976「昭和51年度平城概報」・奈良市教委1997「史跡大安寺旧境内1-杉山古墳地区の発掘調査・発掘事業報告」		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 視面に重焼き痕(径13.2cm) 基部は視面の一部を内堤で区画		
<b>法華寺 6BFK・6BFO</b>			
405	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LE44 770208	③ 南北細溝 SD04
	④ 踏脚円面礎 B	⑤ 外堤径21.9 視面径16.7 底部径25.6	⑥ 正置(基部、脚部外面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1977「昭和51年度平城概報」		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 復原脚数15 * 概観ではSD04		
406	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LE44 770207	③ 灰褐色砂質土
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径12.0 視面径8.0 残存高1.9	⑥ 倒置(視部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1977「昭和51年度平城概報」		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔、脚幅に広狭あり		
407	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LF43 770222	③ 黄褐色砂質土
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径8.2 視面径4.4 残存高2.6	⑥ 不明(外堤部外面の一部に降灰)
	⑦ 奈文研1977「昭和51年度平城概報」		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔、脚幅に広狭あり		
408	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LF44 770207	③ 南北細溝 SD04
	④ 圓足円面礎	⑤ 底部径12.6 残存高1.3	⑥ 倒置(脚台部側面・内面に自然軸)
	⑦ 奈文研1977「昭和51年度平城概報」		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔		
409	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LG42 770207	③ 石溝 SD03
	④ 圓足円面礎	⑤ 底部径21.0 残存高2.2	⑥ 倒置(脚台部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1977「昭和51年度平城概報」		⑧ PL. 17, Ph. 50
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 脚部下端に沈溝4条(透孔位置の基線*)		
410	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LD44 770208	③ 黄褐色砂土
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径9.2 視面径6.4 底部径11.0 器高4.8	⑥ 倒置(視部内面、脚台部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1977「昭和51年度平城概報」		⑧ PL. 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔、復原脚数12		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 礎形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 図解・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
411	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LF44/LF44 770208/770207	③ 黄褐色土/南北細溝 SD04
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径11.3 礎面径7.2 残存高2.2	⑥ 倒置(礎部内面に自然蝕)
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29		
412	① 98-17次	② 法華寺経楼推定地 6BFK LG44 770207	③ 灰褐色土
	④ 風字礎	⑤ 礎尻径12.1 残存高2.0	⑥ 倒置(復表面に降灰)
	⑦ 奈文研1977『昭和51年度平城概報』		⑧ PL 17, Ph. 51
	⑨		
413	① 112-10次	② 法華寺旧境内東端部 6BFK I 781222	③ 暗褐色土
	④ 圓足円面礎	⑤ 底部径18.2 残存高4.6	⑥ 正置(脚部外面、脚台部上面・側面に降灰)
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城概報』(一覽表のみ)		⑧ PL 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔 脚柱部外面にヘラ抜き沈線3条		
414	① 118-9次	② 法華寺旧境内東端部 6BFK I 790724	③ 床土
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径8.8 礎面径1.6 残存高1.5	⑥ 倒置(礎部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』		⑧ PL 17, Ph. 51
	⑨		
415	① 123-4次	② 法華寺旧境内南西隅 6BFK 北トレンチ 800501	③ 暗茶粘質土
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径17.6 礎面径11.0 残存高3.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1980『昭和54年度平城概報』		⑧ PL 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28		
416	① 141-1次	② 法華寺旧境内南東隅 6BFK DC32 820413	③ 東西溝 SD01
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径17.8 礎面径14.6 残存高2.8	⑥ 倒置(礎部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1983『昭和57年度平城概報』		⑧ PL 17, Ph. 51
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23		
417	① 191-10次	② 法華寺旧境内南東隅 6BFK 東西トレンチ 881214	③ 近世井戸懸土
	④ 蹄形円面礎 A	⑤ 外堤径19.9 礎面径16.4 残存高6.6	⑥ 倒置(礎部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1989『昭和63年度平城概報』(一覽表のみ)		⑧ PL 17, Ph. 52
	⑨ 復原脚数25 礎面、外堤部外面にヘラマガキ		
418	① 191-12次	② 法華寺旧境内西辺 6BFO CZ 中区中B 890227	③ 表土
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径20.0 礎面径13.4 残存高3.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1989『昭和63年度平城概報』		⑧ PL 17, Ph. 52
	⑨ 長方形透孔、復原脚数18 礎面外周に沈線1条		
419	① 280次(東地区)	② 法華寺阿弥陀浄土院西端 6BFK EM96 971013	③ 黒色炭
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径26.4 残存高2.4	⑥ 倒置(脚台部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ PL 17, Ph. 52
	⑨ 長方形透孔、復原脚数53		
420	① 280次(東地区)	② 法華寺阿弥陀浄土院西端 6BFK EM97 971020	③ 北側溝 暗灰砂 SD5200
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長3.7	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1998『年報1998-Ⅲ』		⑧ Ph. 52
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 現形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・変痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
421	① 281次	② 法隆寺河弘陀浄土院西階 6BFK EM86 970807	③ 礎層
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外径径15.8 硯面径10.1 残存高2.6	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）
	⑦ 奈文研1998「年報1998-III」		⑧ PL, 17, Ph. 52
	⑨ 長方形透孔、復原脚数28		
<b>元興寺 6 BGN</b>			
422	① 374次	② 元興寺旧境内（大乗院）6BGN CF37 040823	③ 灰褐土
	④ 圓足円面硯 c	⑤ 外径径13.4 硯面径11.5 残存高2.0	⑥ 倒置（硯部内面に降灰）
	⑦ 奈文研2005「紀要2005」		⑧ Ph. 52
	⑨ 硯表面に重燒き痕（径約9.0cm）		
<b>法隆寺 6 BHR</b>			
423	① 123-43次	② 法隆寺西院 6BHR 講堂東トレ（東西トレ）800707	③ 東西溝 SD10
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.9	⑥ 倒置（脚部外面、内面下方に自然袖）
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985「法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書」		⑧ Ph. 52
	⑨ 長方形透孔		
424	① 131-35次	② 法隆寺西院素室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径15.7 残存高5.8	⑥ 正置（脚部上面に降灰）
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985「法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書」Fig. 54-25		⑧ PL, 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 425～435と同一個体々		
425	① 131-35次	② 法隆寺西院素室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径15.7 残存高5.8	⑥ 正置（脚部上面に降灰）
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985「法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書」Fig. 54-25		⑧ PL, 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔、復原脚数23 424・426～435と同一個体々		
426	① 131-35次	② 法隆寺西院素室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.1	⑥ 不明（明確な変痕跡なし）
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985「法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書」Fig. 54-25		⑧ PL, 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔。424・425・427～435と同一個体々		
427	① 131-35次	② 法隆寺西院素室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.1	⑥ 不明（明確な変痕跡なし）
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985「法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書」Fig. 54-25		⑧ PL, 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔。424～426・428～435と同一個体々		
428	① 131-35次	② 法隆寺西院素室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.6	⑥ 不明（明確な変痕跡なし）
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985「法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書」Fig. 54-25		⑧ PL, 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔。424～427・429～435と同一個体々		
429	① 131-35次	② 法隆寺西院素室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 不明（明確な変痕跡なし）
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985「法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書」Fig. 54-25		⑧ PL, 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔。424～428・430～435と同一個体々		
430	① 131-35次	② 法隆寺西院素室・網封蔵南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.2	⑥ 不明（明確な変痕跡なし）
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985「法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書」Fig. 54-25		⑧ PL, 18, Ph. 53
	⑨ 長方形透孔。424～429・431～435と同一個体々		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 礎形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告	⑧ PL, Ph	
	⑧ 備考		
431	① 131-35次	② 法隆寺西院実室・榑封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~430・432~435と同一個体々		
432	① 131-35次	② 法隆寺西院実室・榑封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.0	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~431・433~435と同一個体々		
433	① 131-35次	② 法隆寺西院実室・榑封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長5.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~432・434・435と同一個体々		
434	① 131-35次	② 法隆寺西院実室・榑封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.6	⑥ 不明(脚部内外面に降灰)
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~433・435と同一個体々		
435	① 131-35次	② 法隆寺西院実室・榑封藏南方 6BHR 128区 81-12- I 811210	③ 下層土坑 SK2135
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長3.8	⑥ 不明(脚部内面の一部に降灰)
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 424~434と同一個体々		
436	① 131-35次	② 法隆寺西院実室・榑封藏南方 6BHR 128区 81-12- I F区 811204	③ 黒板土
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径15.8 残存長3.4	⑥ 正置(脚部上面に降灰)
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』	⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にヘラ指き沈線2条		
437	① 131-35次	② 法隆寺西院実室・榑封藏南方 6BHR 128区 81-12- I G区 811207	③ 土坑3 黒板土 SK2135
	④ 風字硯	⑤ 残存長6.2 残存幅4.4 残存高2.9	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』Fig. 54-25	⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨		
438	① 151-38次・141-39次	② 法隆寺律学院北方・大宝藏殿内東壁 6BHR 151区 U147 831203/213区 82-5-Ⅲ C区 820810	③ SX191 灰褐色砂/瓦面 SD6191・SX4560
	④ 獸脚円面硯	⑤ 外境径26.0 硯面径19.6 器高5.6	⑥ 正置(海部に降灰)
	⑦ 奈文研・奈良県教育委員会編1985『法隆寺防災施設工事・発掘調査報告書』PL. 92-266	⑧ PL. 18, Ph. 53	
	⑨ 復原脚数9 SD6191共伴土器は6世紀中頃~7世紀前半、SX4560共伴土器は7世紀前半		
439	① 151-38次	② 法隆寺律学院北方 6BHR 収蔵庫 831029	③ 暗茶褐色砂質土
	④ 円面硯(無脚)	⑤ 硯面径10.0 底部径15.8 器高3.4	⑥ 倒置(硯部内面に降灰)
	⑦ 法隆寺発掘調査発掘要小委員会編1984『法隆寺発掘調査概報Ⅱ』第60頁7	⑧ PL. 18, Ph. 54	
	⑨ 硯部内面に重焼き痕(径11.0cm) 獸脚円面硯の可能性あり		
440	① 226次	② 法隆寺食堂北方 6BHR 北室南 911030	③ 焼土層
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外境径13.0 硯面径9.0 残存高2.2	⑥ 正置(海部に降灰)
	⑦ 奈文研1992『1991年度平城京概観』	⑧ PL. 18, Ph. 54	
	⑨ 外境部外面にヘラ指き波状文3条 硯面に凹みあり 海部に重焼き痕(径10.2cm)		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 規格・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
<b>海竜王寺 6 B K A</b>			
441	① 164-24次	② 海竜王寺旧境内北方 6BKA 860212	③ 東西大溝下層 暗灰バラス SD1140
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径19.6 残存高5.8	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文新1986「昭和60年度平城晚报」		⑧ PL. 18, Ph. 54
	⑨ 長方形+花頭文形透孔 本体土器は平城Ⅳ～Ⅴ		
<b>興福寺 6 B K F</b>			
442	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IU14 630619	③ 寂殿下層下土坑
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 残存高4.6	⑥ 正置(外壁部外面、脚頭部に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964「重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書」		⑧ Ph. 54
	⑨ 443と同一個体々		
443	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IW17	③ 寂殿下層下土坑
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 残存高2.5	⑥ 正置(外壁部外面、脚頭部に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964「重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書」		⑧ Ph. 54
	⑨ 442と同一個体々		
444	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IX17/IW17 630530/630605	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外壁径12.0 視面径10.0 底部径14.3 器高4.2	⑥ 正置(視面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964「重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書」第228図、第231図4		⑧ PL. 18, Ph. 54
	⑨ 重要文化財 長方形透孔×4、十字形透孔×4 復原脚数8		
445	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外壁径11.0 視面径7.0 底部径15.0 器高6.3	⑥ 倒置(視部内面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964「重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書」第228図4		⑧ PL. 18, Ph. 5
	⑨ 重要文化財 長方形透孔、復原脚数19 視表面にへら描き辻漕「漢大」		
446	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IV17 630531	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外壁径13.2 視面径9.0 残存高2.8	⑥ 倒置(視部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964「重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書」		⑧ PL. 18, Ph. 54
	⑨ 長方形透孔×8、宝珠形透孔×4		
447	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IV15	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外壁径12.5 視面径8.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964「重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書」		⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 視部内面に研磨痕		
448	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IW14 630621	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外壁径8.0 視面径5.6 残存高1.5	⑥ 倒置(視部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964「重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書」		⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 長方形透孔、復原脚数27		
449	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IW14/TW14 630618/630612	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外壁径11.4 視面径7.4 残存高2.0	⑥ 倒置(視部内面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964「重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書」第228図1		⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17～18		
450	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IU14 630610	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外壁径12.1 視面径6.4 残存高2.2	⑥ 正置(突帯上面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964「重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書」		⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
451	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IV17 630601	③ 竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 a	⑤ 外境径11.7 視面径6.6 残存高2.0	⑥ 倒置(視部内面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』		⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21 復原面に重焼き痕(径5.7)		
452	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IW17 630604	③ 竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 a	⑤ 外境径13.2 視面径8.4 残存高1.9	⑥ 倒置(視部内面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』		⑧ PL. 18, Ph. 55
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21		
453	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IU17西部 630420	③ 竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 a	⑤ 視面径6.0 残存高1.7	⑥ 倒置(視部内面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』		⑧ PL. 18, Ph. 56
	⑨		
454	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IV15 630630	③ 竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 b	⑤ 外境径14.8 視面径13.6 底部径19.0 器高7.2	⑥ 正置(外境部上面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』第22図6		⑧ PL. 18, Ph. 56
	⑨ 重要文化財 長方形透孔×4、四弁文透孔×4 脚柱外周にへろ描き波状文4条 復原内面に朱付着 463と同一個体カ		
455	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IU17 630412	③ 基壇下黒土竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 b	⑤ 外境径13.7 視面径12.0 底部径17.5 器高6.1	⑥ 倒置(脚台部内面、視部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』第22図5、第231図3		⑧ PL. 18, Ph. 56
	⑨ 重要文化財 長方形透孔、復原脚数17		
456	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IX14 630615	③ 竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 b	⑤ 外境径8.0 視面径6.6 残存高1.6	⑥ 倒置(視部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』		⑧ PL. 18, Ph. 56
	⑨ 長方形透孔、復原脚数13		
457	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IU16 630410	③ 竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 b	⑤ 外境径19.4 視面径10.4 残存高3.6	⑥ 正置(視面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』第22図7		⑧ PL. 18, Ph. 56
	⑨ 長方形透孔		
458	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IU15 630523	③ 竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 b	⑤ 外境径16.6 視面径10.5 残存高3.2	⑥ 倒置(視部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 56
	⑨ 長方形透孔 外境部外面にへろ描き波状文2条 視原面に重焼き痕(径約6.0cm)		
459	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IY15/TY17/IX17 630610/630611/630608	③ 竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 b	⑤ 外境径13.8 視面径11.6 残存高5.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 56
	⑨ 長方形透孔、復原脚数14		
460	① 17-1次	② 興福寺一乗院竪殿下層 6BKF IU15 630523	③ 竪殿下層下土坑
	④ 圓足円面観 b	⑤ 外境径19.0 視面径16.2 残存高3.2	⑥ 正置(視面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院竪殿・殿上及び支間移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数26		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 礎形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
461	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15 630610	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎 b	⑤ 外堤径14.4 礎面径7.4 残存高2.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17~18		
462	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX14 630615	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 外堤径20.4 残存高3.9	⑥ 正置(突帯上面に自然軸)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16		
463	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU17 6304ZZ	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 外堤径10.2 残存高3.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 18, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、脚柱外面にへう描き波状文2条以上 454と同一個体々		
464	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 外堤径15.0 残存高2.3	⑥ 倒置(礎部内面、外堤部外面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨		
465	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IT14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 外堤径11.4 残存高2.2	⑥ 倒置(礎部内面に自然軸)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17 526と同一個体々		
466	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630618	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 外堤径14.0 残存高2.4	⑥ 倒置(礎部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨		
467	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY16	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 外堤径15.4 残存高1.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 57
	⑨		
468	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU18 630418	③ 基壇下黒土宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 外堤径12.0 残存高1.8	⑥ 正置(突帯上面、外堤部上面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔		
469	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長1.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 57
	⑨		
470	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長3.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 57
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概輪・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
471	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IX17 630530	③ 基壇下寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径15.8 残存高0.9	⑥ 倒置(脚台部内面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数22~23 472と同一個体々		
472	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IX17	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存高1.7	⑥ 倒置(脚台部内面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔。471と同一個体々		
473	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IW14	③ 基壇下寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径9.2 残存高1.2	⑥ 倒置(脚台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数17		
474	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IX16	③ 基壇下寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径11.8 残存高1.5	⑥ 倒置(脚台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 57
	⑨		
475	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IU14	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径13.4 残存高1.6	⑥ 倒置(脚台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 57
	⑨		
476	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IV17	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径14.0 残存高3.0	⑥ 倒置(脚台部内面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数19		
477	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IW14	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径22.8 残存高2.2	⑥ 正置(脚台部外面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 57
	⑨ 長方形透孔		
478	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IY15 630610	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径16.6 残存高2.5	⑥ 倒置(脚台部下置、脚部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数20		
479	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IU17 630423	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径17.2 残存高2.5	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 57
	⑨ 長方形透孔、復原脚数21		
480	① 17-1次	② 興福寺一乘院寂殿下層 6BKF IV15	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径21.8 残存高1.4	⑥ 倒置(脚台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乘院寂殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 57
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 礎形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・築痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
481	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IT16 6304ZZ	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 底部径17.6 残存高1.0	⑥ 倒置(御台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
482	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 底部径18.0 残存高1.3	⑥ 倒置(御台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
483	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630617	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 底部径18.2 残存高1.2	⑥ 倒置(御台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 484と同一個体々		
484	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630617	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 底部径18.2 残存高1.3	⑥ 倒置(御台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 483と同一個体々		
485	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630612	③ 基壇下宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 底部径22.3 残存高3.3	⑥ 倒置(御台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にへろ挿き沈線クテ1条以上		
486	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 底部径14.3 残存高0.9	⑥ 倒置(御台部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
487	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存高4.2	⑥ 正置(御台部外面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚柱下端に細い沈線1条(透孔位置の基線々)		
488	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY16	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長3.3	⑥ 不明(明確な築痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
489	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長3.6	⑥ 倒置(脚部内面に自然軸)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
490	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長3.6	⑥ 正置(脚部外面に自然軸)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び支間修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
491	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF IV14	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長2.8	⑥ 正置（脚部外面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。脚部外面に沈線ヨコ1条		
492	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF IV14	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長3.1	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。		
493	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF IV16	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.0	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。		
494	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF IV15	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長2.4	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。		
495	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF IV14	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.2	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。		
496	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長3.8	⑥ 倒置（脚部内面に自然釉）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。		
497	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長1.6	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。		
498	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.2	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。		
499	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF IU14 630610	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.8	⑥ 正置（脚部外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。		
500	① 17-1次	② 興福寺一乗院寢殿下層 6BKF IW14	③ 寢殿下層下土坑
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存長4.4	⑥ 倒置（脚部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寢殿・殿上及び玄關修築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔。脚柱下端に沈線1条（透孔位置の基線を）		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 礎形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
501	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU16	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長2.5	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
502	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY16	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長3.9	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
503	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV17	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長4.4	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
504	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長3.0	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
505	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長2.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
506	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長2.1	⑥ 正置(脚部外面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
507	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630618	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長3.6	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔 脚柱下端に沈線1条(透孔位置の基線々)		
508	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV15 630523	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長4.3	⑥ 倒置(脚部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
509	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU16 630424	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長3.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		
510	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑
	④ 圓足円面礎	⑤ 残存長4.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 58
	⑨ 長方形透孔		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
511	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IY17 630611	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面視	⑤ 残存長4.1	⑥ 倒置（胴部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔		
512	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IU14 630610	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面視	⑤ 残存長7.1	⑥ 正置（脚部外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にへっ掛け沈線タテ1条		
513	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IU14	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面視	⑤ 残存長2.9	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にへっ掛け沈線タテ1条以上		
514	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IW17/IY15 630608/	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面視	⑤ 残存高7.8	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にへっ掛け沈線タテ1条 515と同一個体*		
515	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面視	⑤ 残存長5.2	⑥ 倒置（胴部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面に被紗文状へっ掛け沈線 514と同一個体*		
516	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IU16 630425	③ 黒土中寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面視	⑤ 残存長6.7	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔 脚柱外面にへっ掛け沈線タテ2条以上、ヨコ1条以上		
517	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IV14	③ 寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面視	⑤ 残存長3.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔		
518	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IU14 630620	③ 基壇下寂殿下層下土坑
	④ 圓足円面視	⑤ 残存長3.3	⑥ 正置（脚部外面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ Ph. 59
	⑨ 長方形透孔、宝珠形透孔		
519	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IV17 630530	③ 寂殿下層下土坑
	④ 円面視	⑤ 視面径11.8 残存高1.3	⑥ 倒置（胴部内面に降灰）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ Ph. 59
	⑨		
520	① 17-1次	② 興福寺一乗院寂殿下層 6BKF IV15上 630531	③ 寂殿下層下土坑
	④ 円面視	⑤ 視面径13.6 残存高2.6	⑥ 不明（明確な窯痕跡なし）
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院寂殿・殿上及び玄間修築工事報告書』		⑧ Ph. 59
	⑨		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
521	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX16 630607	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 径面径10.8 残存高0.9	⑥ 倒置(観部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨		
522	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630610	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 径面径11.6 残存高1.2	⑥ 倒置(観部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨ 観部内面に重燒き痕(径14.7cm)		
523	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IX16 630523	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 径面径9.2 残存高0.8	⑥ 倒置(観部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨		
524	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU18 630418	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 径面径5.5 残存高1.1	⑥ 正置(観面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨		
525	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630618	③ 基壇下宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 径面径14.2 残存高1.1	⑥ 正置(観面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨		
526	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IT14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 残存長5.0	⑥ 倒置(観部内面に自然軸)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 60
	⑨ 465と同一個体カ		
527	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 残存長3.4	⑥ 倒置(観部内面に自然軸)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨ 円面観でない可能性あり		
528	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 残存長3.8	⑥ 倒置(観部内面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨ 円面観でない可能性あり		
529	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 残存長3.7	⑥ 倒置(観部内面に自然軸)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨ 円面観でない可能性あり		
530	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF	③ 宸殿下層下土坑
	④ 円面観	⑤ 残存長3.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財田一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨ 円面観でない可能性あり		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
531	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU17 630418	③ 基礎下黒土宸殿下層下土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長6.6 残存幅9.3 残存高2.5	⑥ 倒置(硯裏面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』第22図3		⑧ PL. 19, Ph. 60
	⑨ 重要文化財		
532	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14	③ 宸殿下層下土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長4.3 残存高1.6	⑥ 倒置(硯裏面、外壁部外面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨		
533	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IV17	③ 宸殿下層下土坑
	④ 宝珠硯か風字硯	⑤ 残存高2.8	⑥ 倒置(脚部外面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 60
	⑨ 脚部のみ残存		
534	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW17 630617	③ 宸殿下層下土坑
	④ 形象硯(龜形硯)	⑤ 残存長5.3 残存幅2.7 残存高3.3	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 60
	⑨ 重要文化財 535と同一個体か		
535	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU14 630618	③ 宸殿下層下土坑
	④ 形象硯(龜形硯)	⑤ 残存長4.3 残存幅3.8 残存高1.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 19, Ph. 60
	⑨ 重要文化財 534と同一個体か		
536	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630618	③ 宸殿下層下土坑
	④ 形象硯(龜形硯)	⑤ 残存長1.9 残存幅3.8 残存高4.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 20, Ph. 61
	⑨ 視でない可能性あり		
537	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IW14 630615	③ 宸殿下層下土坑
	④ 形象硯(鳥または龜形硯の蓋)	⑤ 残存長10.3 残存幅6.6 残存高1.4	⑥ 正置(外面に降灰)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ PL. 20, Ph. 61
	⑨ 内面に火傷あり		
538	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU16西	③ 宸殿下層下土坑
	④ 風字硯	⑤ 残存長3.2 残存高1.0	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 61
	⑨		
539	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IY15	③ 宸殿下層下土坑
	④ 風字硯	⑤ 残存長2.2 残存高3.5	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 61
	⑨		
540	① 17-1次	② 興福寺一乗院宸殿下層 6BKF IU18 630418	③ 宸殿下層下土坑
	④ 特殊硯	⑤ 残存高3.0	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈良県文化財保存事務所編1964『重要文化財旧一乗院宸殿・殿上及び玄關移築工事報告書』		⑧ Ph. 61
	⑨ 視でない可能性あり		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 礎形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
541	① 308次	② 興福寺中金堂院 6BKF LE19 991206	③ 灰色粘土
	④ 円面礎(無脚・八角形)	⑤ 外堤最大幅18.9 外堤最小幅17.1 礎面径11.4 器高1.5	⑥ 倒置(礎裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研2000『年報2000-目』		⑧ PL 20, Ph. 61
	⑨		
542	① 321次	② 興福寺一乗院 6BKF O147 001114	③ 灰色粘土
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径13.4 礎面径8.0 残存高2.2	⑥ 倒置(礎部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』 図136-2		⑧ Ph. 61
	⑨		
543	① 321次	② 興福寺一乗院 6BKF O147 001108	③ 瓦土坑 3 SK7860
	④ 宝珠礎	⑤ 残存長7.7 残存幅8.7 残存高1.4	⑥ 倒置(礎裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研2001『紀要2001』 図136-1		⑧ PL 20, Ph. 61
	⑨		
544	① 350次	② 興福寺一乗院 6BKF O051 021224	③ 池 赤褐色 SG8463
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 礎面径5.6 残存高1.0	⑥ 倒置(礎部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研2003『紀要2003』		⑧ Ph. 61
	⑨		
545	① 350次	② 興福寺一乗院 6BKF OJ58 021031	③ 大瓦土坑 SK8480
	④ 円面礎	⑤ 礎面径7.6 残存高0.9	⑥ 倒置(礎部内面に降灰)
	⑦ 奈文研2003『紀要2003』		⑧ Ph. 61
	⑨		
<b>西大寺 6BSD</b>			
546	① 341次	② 西大寺四王堂北東 6BSD EB63 020201	③ 抜取穴 SA895
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径11.0 礎面径6.3 残存高1.5	⑥ 倒置(礎部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研2003『紀要2003』		⑧ PL 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚敷27		
547	① 391次	② 西大寺旧境内東部 6BSD DM65 050705	③ 瓦葺敷地土
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 礎面径8.0 残存高1.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研2006『紀要2006』(一覽表のみ)		⑧ Ph. 62
	⑨		
<b>西隆寺 6BSR</b>			
548	① 74-12次(西隆寺3次)	② 西隆寺金堂地区 6BSR KK12 711216	③ 灰黒砂土
	④ 圓足円面礎	⑤ 最大径16.8 残存高2.2	⑥ 倒置(外堤部外面、突帯下面に降灰)
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』		⑧ Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚敷27		
549	① 74-12次(西隆寺3次)	② 西隆寺金堂地区 6BSR KF16 711223	③ 灰黒土 SD110
	④ 圓足円面礎	⑤ 礎面径6.4 残存高1.2	⑥ 倒置(外堤部外面、突帯下面に降灰)
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』第29図2		⑧ PL 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚敷26 外形八花形※(外堤部、礎面に挿入り箇所あり)		
550	① 82-13次(西隆寺5次)	② 西隆寺寺城北西地区 6BSR RQ28 730709	③ 西北西溝 SD235
	④ 圓足円面礎 a	⑤ 外堤径8.8 礎面径5.4 残存高1.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』第29図1		⑧ PL 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚敷27		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法 量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備 考		
551	① 82-13次(西隆寺5次)	② 西隆寺寺域北西地区 6BSR RQ28 730709	③ 北の東西溝 SD215
	④ 圓足円面観 a	⑤ 外径径5.8 視面径3.6 残存高1.2	⑥ 正置(視面、突帯上面に降灰)
	⑦ 西隆寺調査委員会1976『西隆寺発掘調査報告』第29図3		⑧ PL 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔		
552	① 202-14次	② 西隆寺旧境内南西方 6BSR OA77 900227	③ 暗灰燻土
	④ 圓足円面観	⑤ 残存高3.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1990『1989年度概観』(一覽表のみ)		⑧ Ph. 62
	⑨ 長方形透孔		
553	① 209次	② 西隆寺金堂東方 6BSR PB42 891021	③ 淡灰燻土
	④ 圓足円面観 a	⑤ 視面径5.0 残存高1.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-601		⑧ PL 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数8 脚柱外面にヘラ抜き沈線タテ1条、ナナメ1条		
554	① 210次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR RM17 891226	③ 土坑
	④ 圓足円面観	⑤ 底部径23.8 残存高2.3	⑥ 正置(舞台部外面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-607		⑧ PL 20, Ph. 62
	⑨ 長方形透孔、復原脚数29		
555	① 219次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QR23 910219	③ 井戸埋土 SE491
	④ 圓足円面観	⑤ 底部径23.8 残存高3.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-609		⑧ PL 21, Ph. 62
	⑨ 脚部外面にヘラ抜き沈線4条以上 陶硯でない可能性あり		
556	① 223-21次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QG45	③ 瓦溝
	④ 圓足円面観	⑤ 残存長3.2	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-608		⑧ PL 21, Ph. 62
	⑨ 脚柱外面にヘラ抜き沈線タテ1条		
557	① 223-21次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QJ39 920118	③ 瓦混灰茶砂質土
	④ 圓足円面観	⑤ 残存長10.6 残存高1.6	⑥ 正置(溝部、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-606		⑧ PL 21, Ph. 63
	⑨ 長方形透孔 透孔に広狭あり、5(広)+5(狭) 復原脚数10		
558	① 223-21次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QI36 910205	③ 灰褐粘質土
	④ 形象観	⑤ 残存長6.8 残存幅8.3 残存高4.8	⑥ 正置(視面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-604		⑧ PL 21, Ph. 63
	⑨		
559	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QN36 910906	③ 黄灰砂質土
	④ 圓足円面観 b	⑤ 外径径16.4 視面径8.8 残存高2.9	⑥ 倒置(視部内面、突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-603		⑧ PL 21, Ph. 63
	⑨ 長方形透孔、復原脚数16		
560	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QQ36 91817	③ 灰褐砂質土
	④ 圓足円面観 a	⑤ 視面径13.2 残存高3.8	⑥ 正置(突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1993『西隆寺発掘調査報告書』(学報52) PL. 55-602		⑧ PL 21, Ph. 63
	⑨ 長方形透孔、復原脚数12		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概報・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
561	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6DSR QQ36 910902	③ 灰炭砂質土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 硯面径15.6 残存高3.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1993「西隆寺発掘調査報告書」(学報52) PL. 55-605		⑧ PL. 21, Ph. 63
	⑨ 長方形透孔 舞部外面にヘラ書き沈線1条		
562	① 228次	② 西隆寺旧境内北東部 6BSR QO37 910818	③ 灰炭砂質土
	④ 圓足円面硯	⑤ 残存高2.5	⑥ 正置(舞台部上面に降灰)
	⑦ 奈文研1993「西隆寺発掘調査報告書」(学報52)		⑧ PL. 21, Ph. 63
	⑨ 長方形透孔 舞脚円面硯B様の舞台部の成形		
563	① 242-12次	② 西隆寺金堂南東方 6BSR DL54 931210	③ 大土坑 SE649 (SE01)
	④ 踏脚円面硯B	⑤ 硯面径21.8 底部径29.5 器高11.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1994「1993年度平城廣報」図56		⑧ PL. 21, Ph. 63
	⑨ 復原脚数19		
564	① 324次	② 西隆寺旧境内南西方 6BSR OM72 010306	③ 畦下茶灰土
	④ 圓足円面硯 c	⑤ 外縁径11.2 硯面径8.5 残存高2.0	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研2001「紀要2001」		⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨		
565	① 324次	② 西隆寺旧境内南西方 6BSR OJ72 010126	③ 南北溝3 SD914
	④ 円面硯	⑤ 硯面径12.1 残存高1.1	⑥ 側置(硯部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研2001「紀要2001」		⑧ Ph. 64
	⑨ 共伴土器は~平城IV		
<b>東大寺 6 B T D</b>			
566	① 118-34次	② 東大寺南面大垣 6BTD 790830	③ 上土、土器層り
	④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長4.6 残存幅2.6 残存高3.0	⑥
	⑦ 奈文研1980「昭和54年度平城廣報」		⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨ 概報では次数なし		
567	① 118-34次	② 東大寺南面大垣 6BTD A1区 790910	③ 西端土坑(井戸) SE04
	④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長8.4 残存幅4.6 残存高3.3	⑥
	⑦ 奈文研1980「昭和54年度平城廣報」		⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨ 概報では次数なし		
<b>唐招提寺 6 B T S</b>			
568	① 54-1次	② 唐招提寺収蔵庫予定地 6BTS CJ36 680719	③ 橙褐色土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外縁径23.0 硯面径15.4 底部径23.1 器高2.6	⑥ 側置(硯部内面に降灰)
	⑦		⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨ 長方形(横長)透孔、復原脚数4		
569	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780610	③ 東北部 礎石? 周辺 黄褐色粘質土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外縁径15.0 硯面径10.2 残存高4.0	⑥ 側置(硯部内面に降灰)
	⑦ 奈文研1979「昭和53年度平城廣報」		⑧ PL. 21, Ph. 64
	⑨ 長方形透孔、復原脚数8		
570	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780609	③ 黄褐色ブロック混粘質土
	④ 圓足円面硯	⑤ 外縁径11.4 残存高1.5	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1979「昭和53年度平城廣報」		⑧ PL. 21, Ph. 65
	⑨		

番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概観・報告	⑧ PL, Ph	
	⑧ 備考		
571	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780609	③ 表込上(東)
	④ 圓足円面硯	⑤ 底部径29.4 残存高1.5	⑥ 正置(脚台部上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城京概報』	⑧ PL. 21, Ph. 65	
	⑧ 長方形透孔、復原脚数36		
572	① 112-18次	② 唐招提寺戒壇院 6BTS 戒壇院 780618	③ 黄褐色粘土
	④ 特殊硯	⑤ 残存長7.0 残存幅8.6 残存高4.6	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1979『昭和53年度平城京概報』	⑧ PL. 21, Ph. 65	
	⑧ 筆立て状の穿孔あり		
<b>薬師寺 6BYS</b>			
573	① 23-2次	② 薬師寺東僧房北方 6BYS FT71 650212	③ 土坑
	④ 風字硯	⑤ 残存長3.5 残存高3.7	⑥ 倒置(脚部に自然釉)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑧		
574	① 23-2次	② 薬師寺東僧房北方 6BYS FR60 650131	③ 井戸上 SE048
	④ 風字硯(黒色土器B類)	⑤ 残存長6.1 残存高1.8	⑥
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑧ 硯でない可能性あり		
575	① 23-2次	② 薬師寺旧東僧房北方 6BYS FZ61 650128	③ 第2層
	④ 形象硯	⑤ 残存長7.2 残存幅7.4 残存高3.2	⑥ 正置(尾部上面に自然釉)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑧ 鳥形硯の尾部々		
576	① 88-21次	② 薬師寺西僧坊 6BYS LG17 741112	③ 焼土
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 硯面径7.8 残存高1.4	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑧ 長方形透孔		
577	① 88-21次	② 薬師寺西僧坊 6BYS LF15 741128	③ 溝 靑灰土
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外堤径14.1 硯面径10.2 残存高3.3	⑥ 正置(突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑧ 長方形透孔 578と同一個体々		
578	① 88-21次	② 薬師寺本坊北方 6BYS NN19 741112	③ 黒褐色粘土
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外堤径14.1 硯面径10.2 残存高2.5	⑥ 正置(突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 65	
	⑧ 長方形透孔 577と同一個体々		
579	① 88-21次	② 薬師寺西僧坊 6BYS HC50 741120	③ 床面
	④ 風字硯(二面風字硯)	⑤ 残存長13.7 器幅14.8 残存高3.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 66	
	⑧		
580	① 95-15次	② 薬師寺食堂北方 6BYS HK32/11L32 750918/750918	③ 土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外堤径13.4 硯面径8.0 残存高2.4	⑥ 倒置(底部内面に自然釉)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)	⑧ PL. 22, Ph. 66	
	⑧ 長方形透孔、復原脚数26		

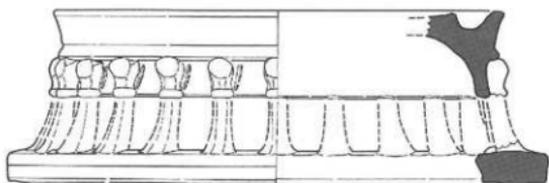
番号	① 次数	② 出土地点	③ 遺構・層序
	④ 視形式	⑤ 法量	⑥ 焼成・窯痕跡
	⑦ 概輪・報告		⑧ PL, Ph
	⑨ 備考		
581	① 95-15次	② 薬師寺食堂北方 6BYS HK31 750918	③ 土坑
	④ 圓足円面硯 a	⑤ 外境径10.3 硯口径6.0 残存高2.8	⑥ 正置(外境部上面・外面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45) PL. 113-255		⑧ PL. 22, Ph. 66
	⑨ 長方形透孔×8、杏仁形透孔×4、復原脚数12		
582	① 95-15次	② 薬師寺食堂北方 6BYS HL31 750918	③ 土坑
	④ 圓足円面硯 b	⑤ 外境径14.2 硯口径12.2 残存高2.1	⑥ 正置(硯面、突帯上面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45) PL. 113-256		⑧ PL. 22, Ph. 66
	⑨ 長方形透孔、復原脚数8		
583	① 103-24次	② 薬師寺十字廓 6BYS HM40 780222	③ 土坑
	④ 踏脚円面硯 B	⑤ 外境径20.0 硯口径13.4 残存高4.9	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 復原脚数17 外境部外面に墨西あり		
584	① 103-24次	② 薬師寺西僧坊小子坊 6BYS LJ15 780203	③ 暗渠
	④ 圓足円面硯 c	⑤ 硯口径15.6 残存高1.7	⑥ 不明(明確な窯痕跡なし)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 復原脚数22~23 585と同一個体々		
585	① 103-24次	② 薬師寺西僧坊小子坊 6BYS LK11 780206	③ 土坑
	④ 圓足円面硯 c	⑤ 硯口径15.6 残存高1.6	⑥ 倒置(突帯下面に降灰)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 復原脚数22~23 584と同一個体々		
586	① 103-24次	② 薬師寺十字廓 6BYS HM40 780223	③ 土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長4.8 残存高1.9 残存幅5.4	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 587と同一個体々		
587	① 103-24次	② 薬師寺十字廓 6BYS HM40 780223	③ 土坑
	④ 宝珠硯	⑤ 残存長6.5 残存幅6.5 残存高2.0	⑥ 倒置(硯裏面に自然釉)
	⑦ 奈文研1987『薬師寺発掘調査報告』(学報45)		⑧ PL. 22, Ph. 67
	⑨ 586と同一個体々 海部に重焼きの溶着痕あり		

V. 図 版

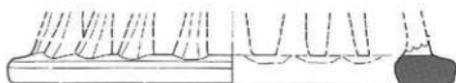


## 凡 例

- ・ 図面の縮尺は3分の1である。
- ・ 同一個体と判断したものについては、合成して作図したものもある。
- ・ 本書の刊行にあたって再実測し、既刊の報告書、概報、年報などに掲載した実測図と異なるものがある。



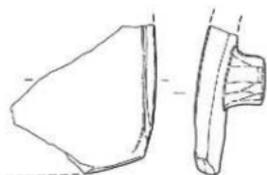
1-2



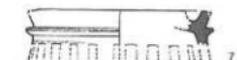
11



9



5



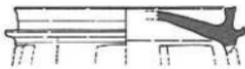
7



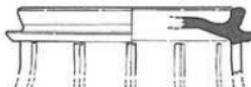
13-14



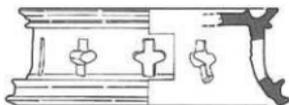
3



17-18



12



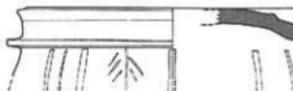
6



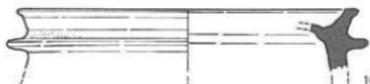
19



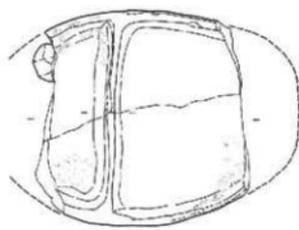
4



15



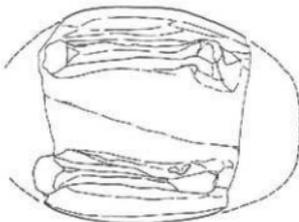
16



1

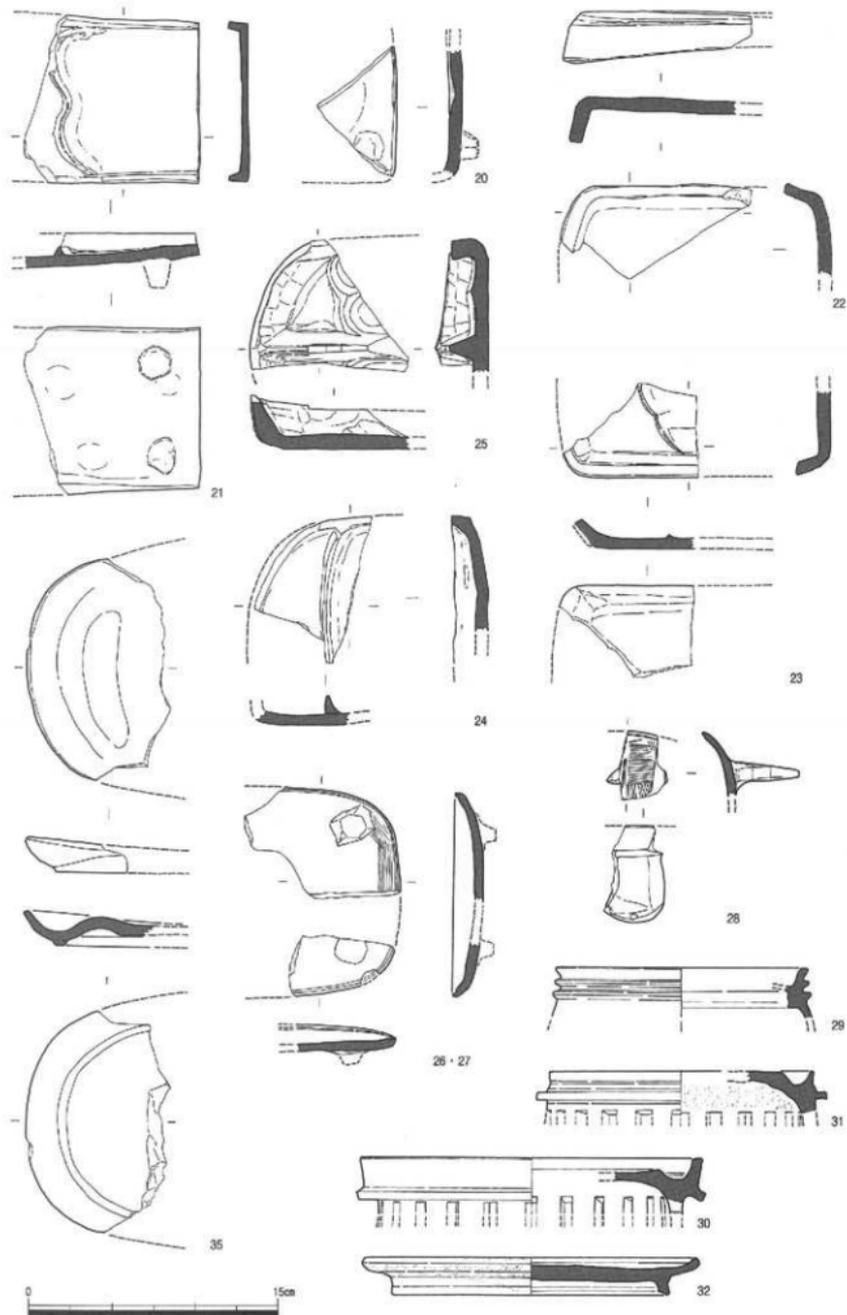


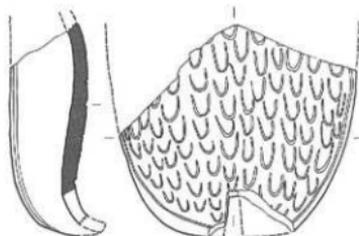
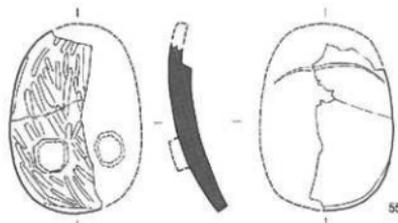
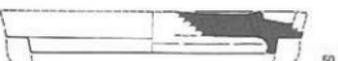
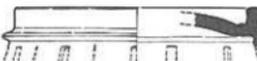
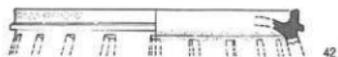
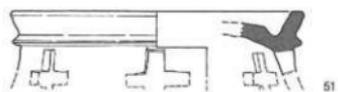
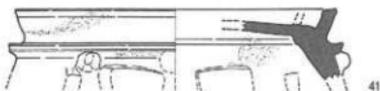
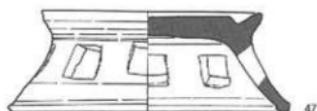
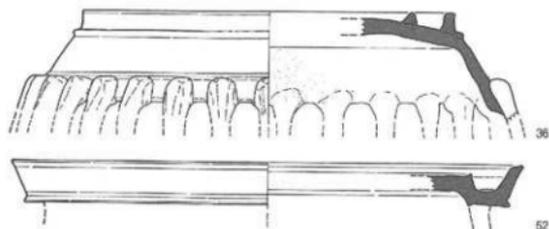
7

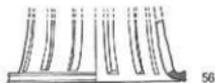


8

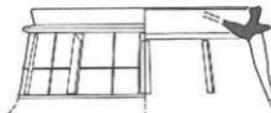




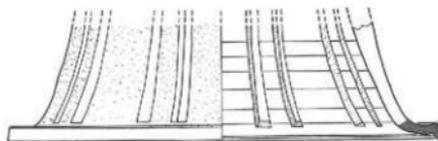




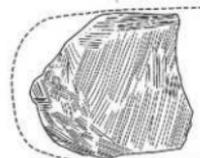
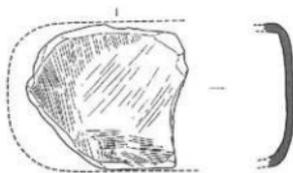
56



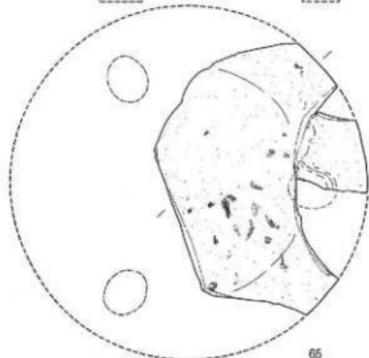
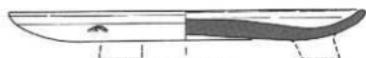
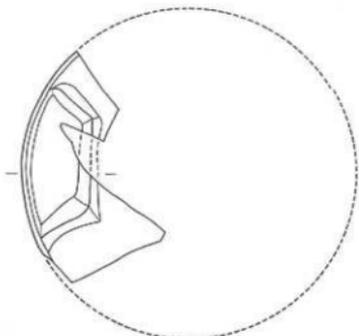
62



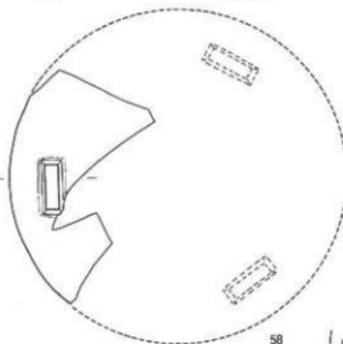
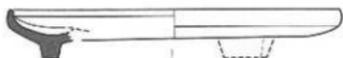
63-64



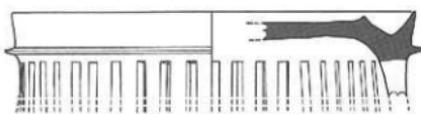
60



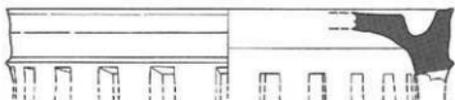
65



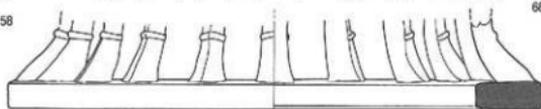
58



66

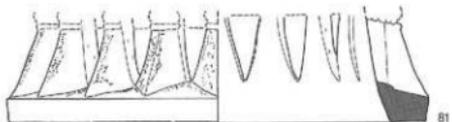
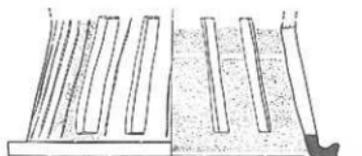
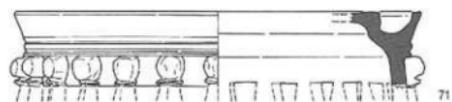
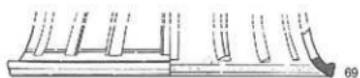
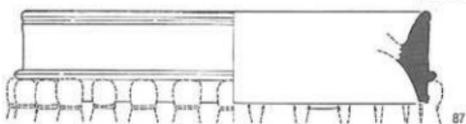
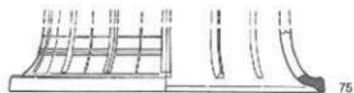


68

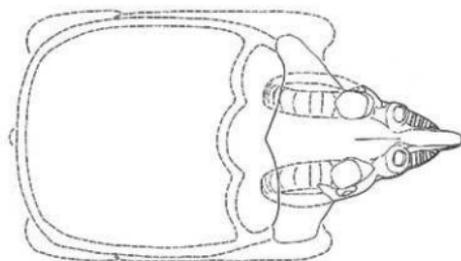
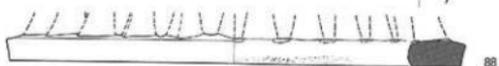
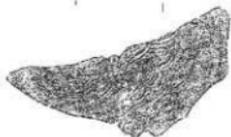


67

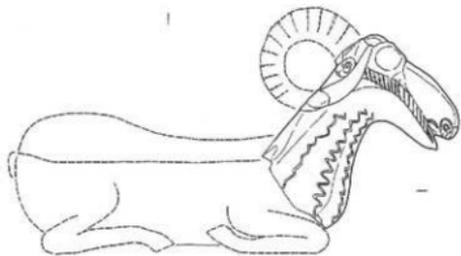




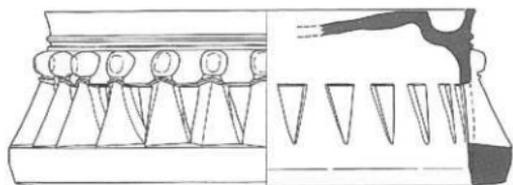
83~86



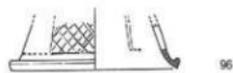
73



82



89 · 90



96



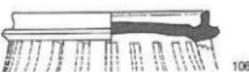
95



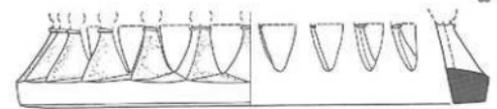
97



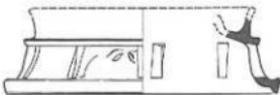
100



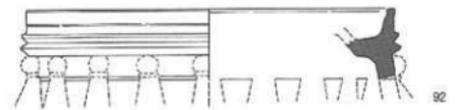
106



91



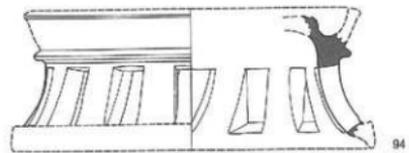
93



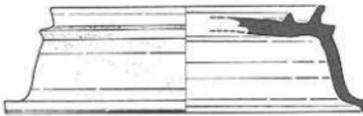
92



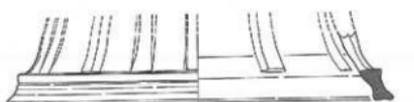
106



94



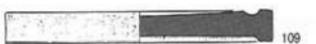
107



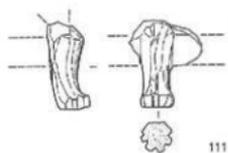
102 - 103



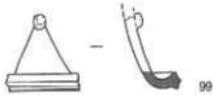
110



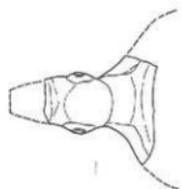
109



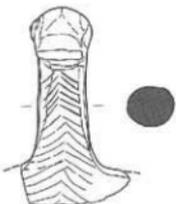
111



99

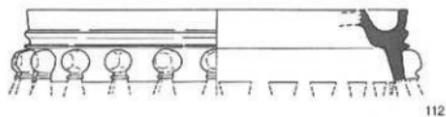


98

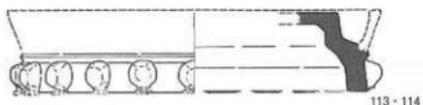


108

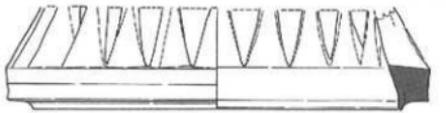




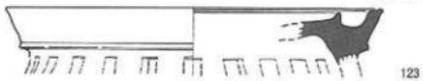
112



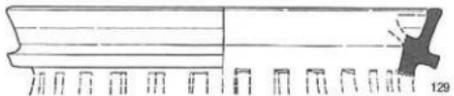
113 - 114



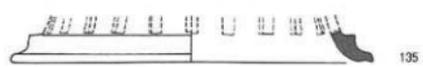
115-117



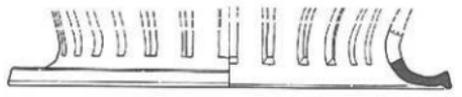
123



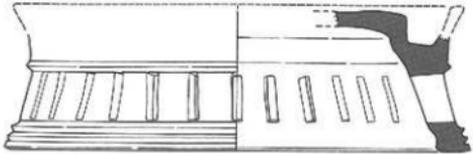
129



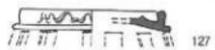
135



133 - 134



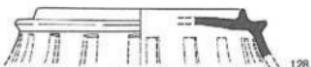
120-122 - 171



127



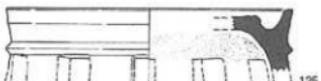
126



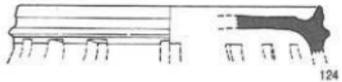
128



130



125



124



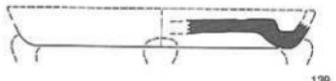
136



131 - 132



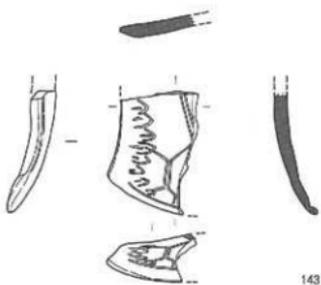
140



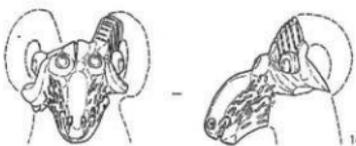
139



141

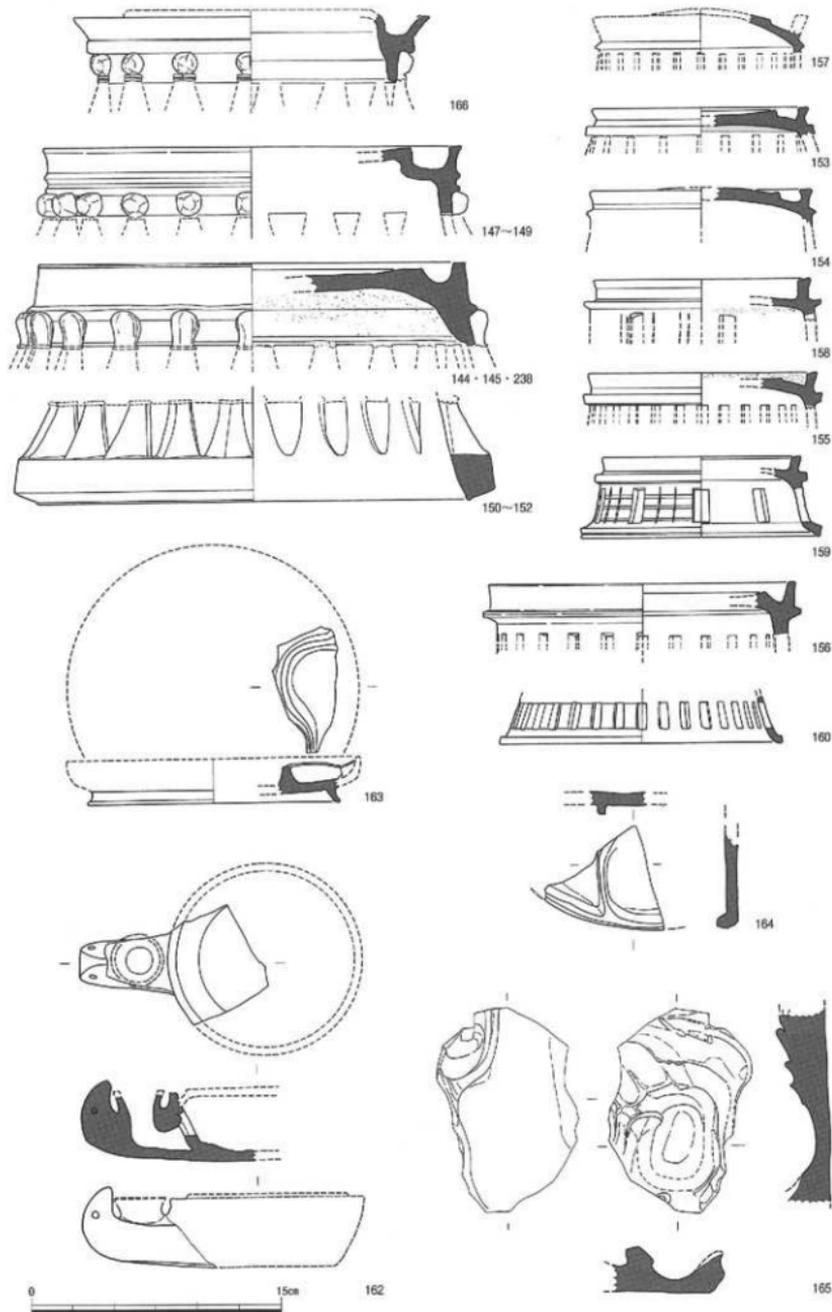


143



142

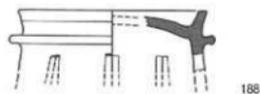




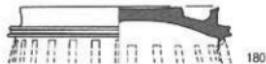
0 15cm

162

165



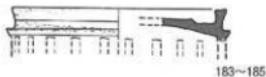
188



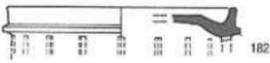
180



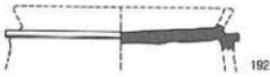
189



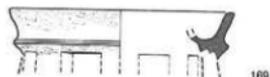
183-185



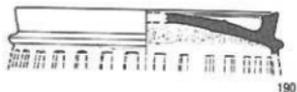
182



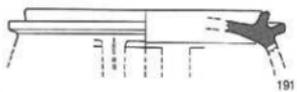
192



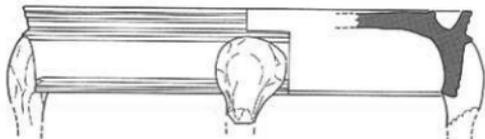
189



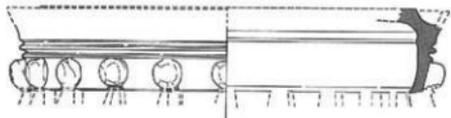
190



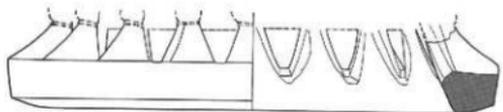
191



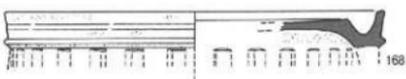
146 · 174 · 175



176



177



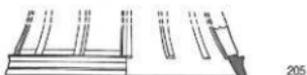
168



194



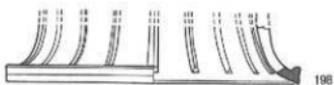
196



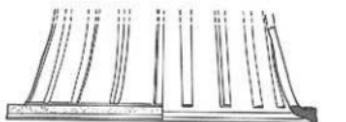
205



197



198



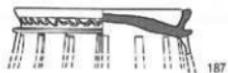
199



200 · 201



181



187



186

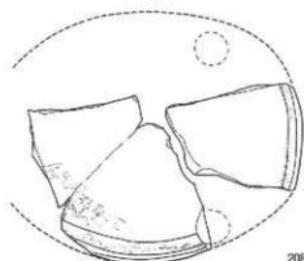
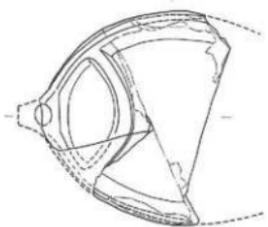
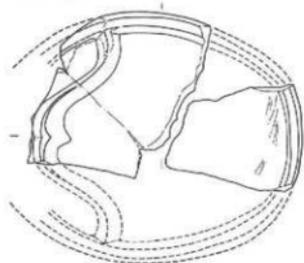


206

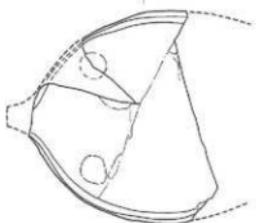


172

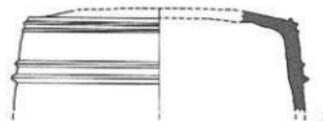




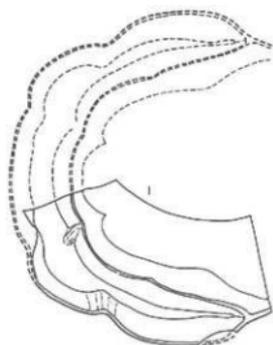
208 - 233



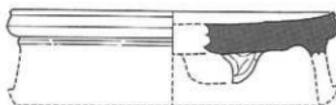
210



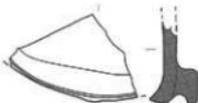
212



211



209

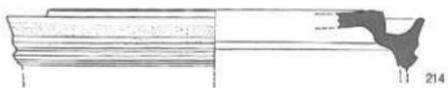


207

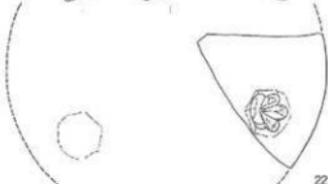
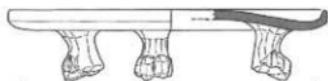


213

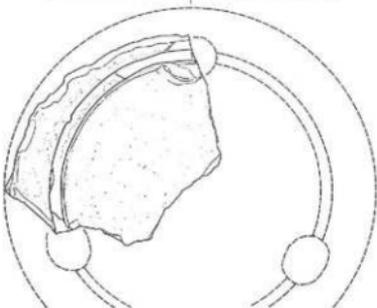
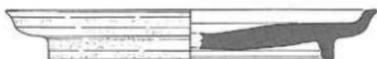




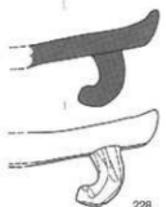
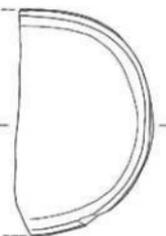
214



221



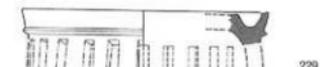
232



228



227



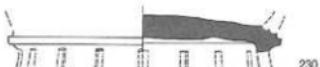
229



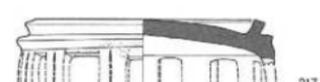
216



236



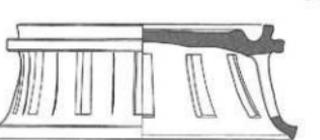
230



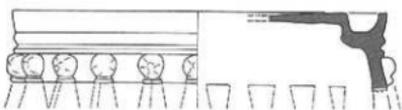
217



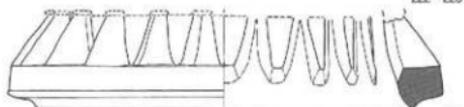
219 · 220



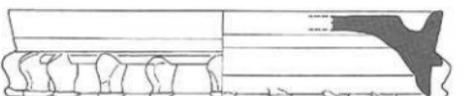
215



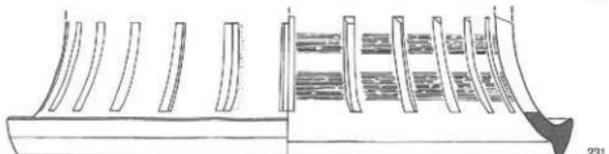
222 · 223



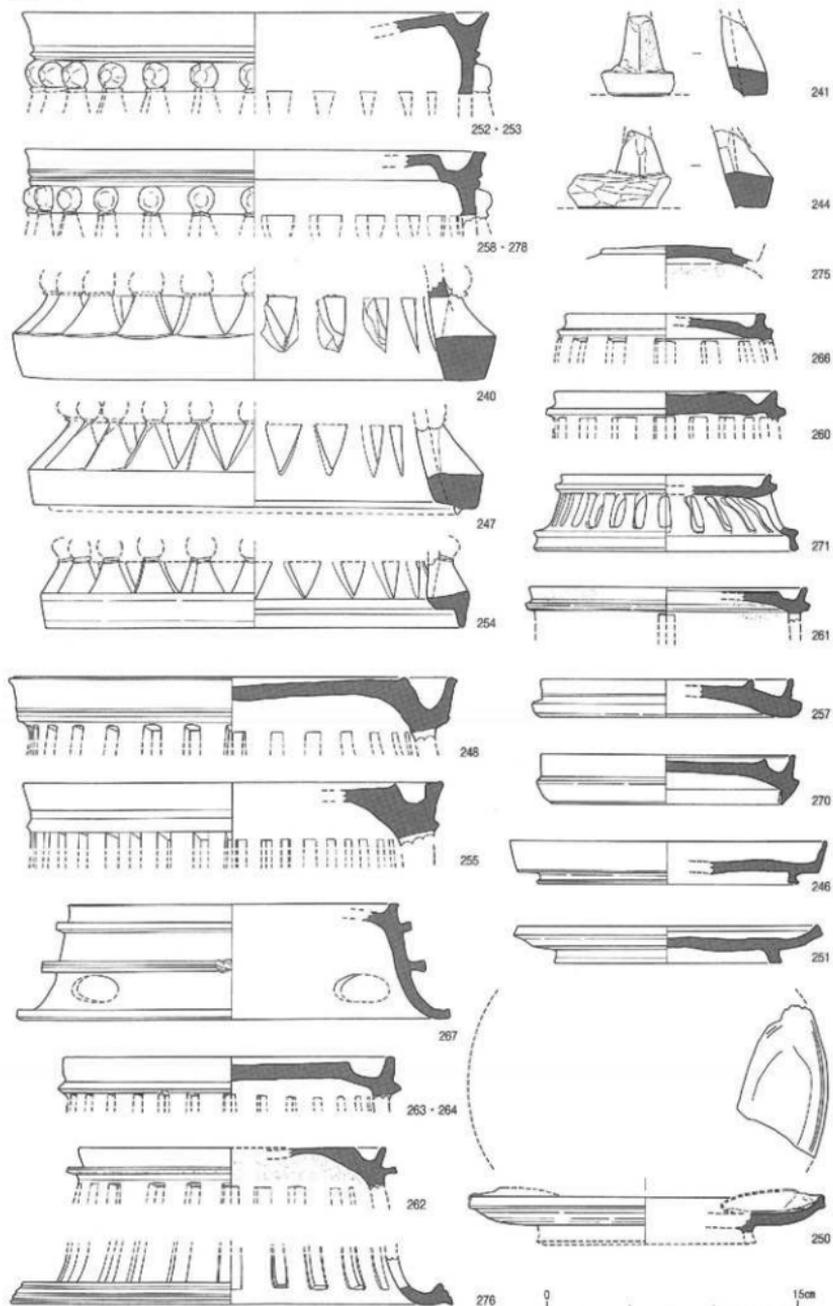
226

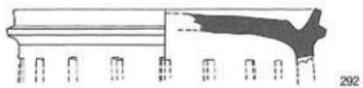


237

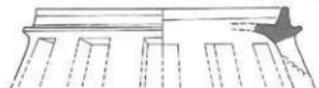


231

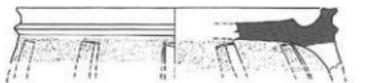




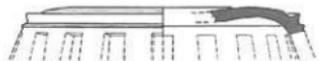
292



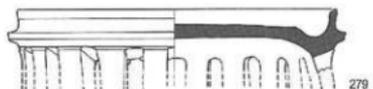
297



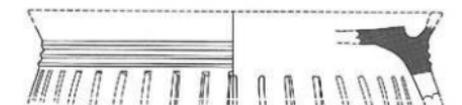
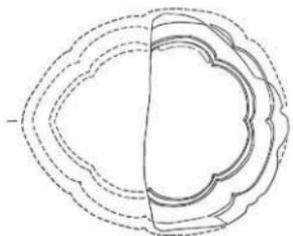
291



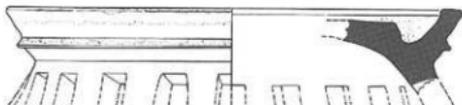
289



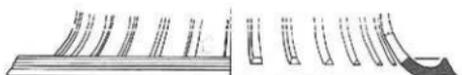
279



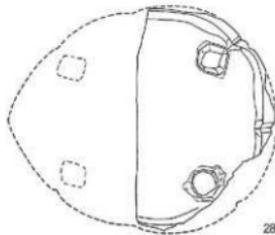
281



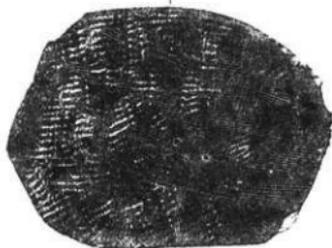
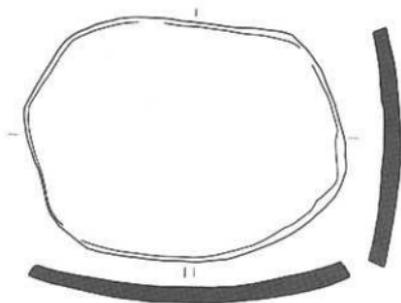
280



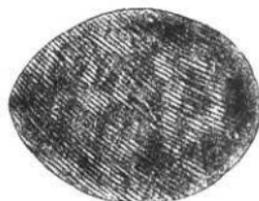
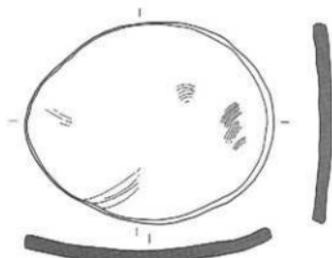
283



286

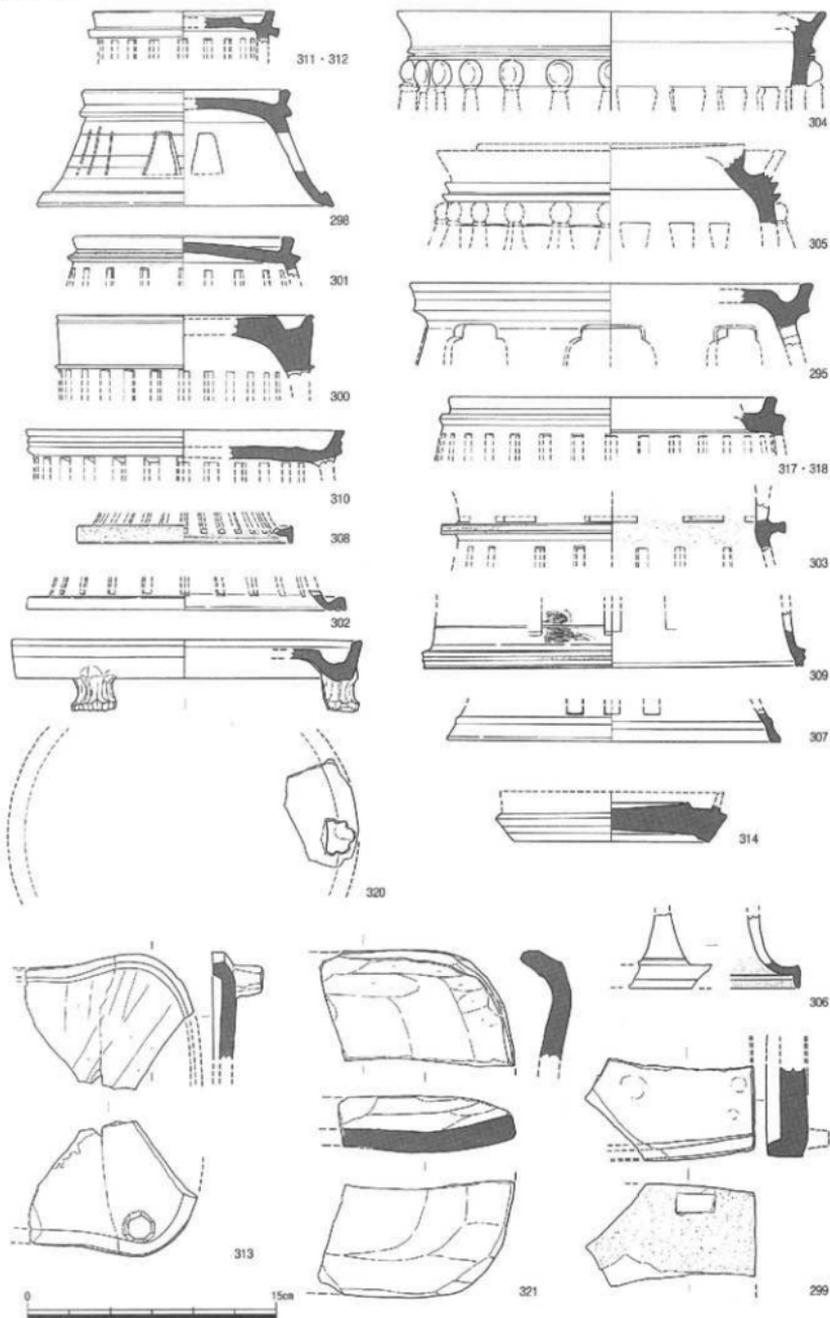


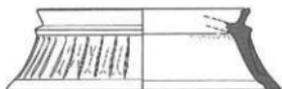
288



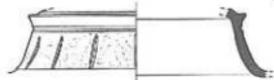
287







324 + 331



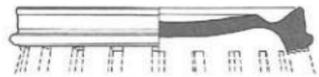
323



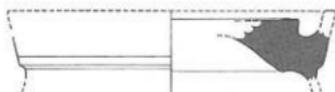
332



330



322



335



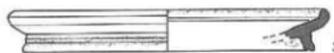
334



327



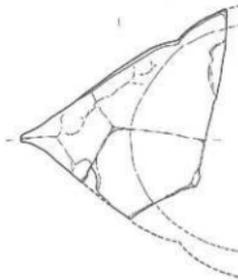
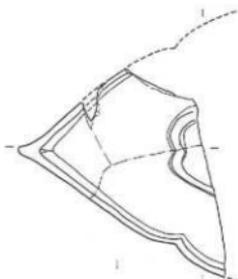
337



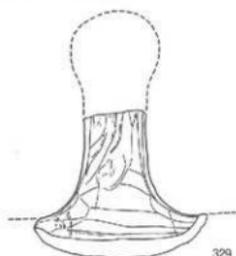
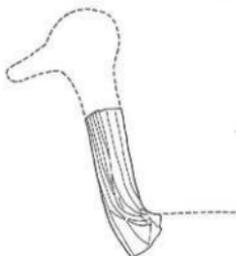
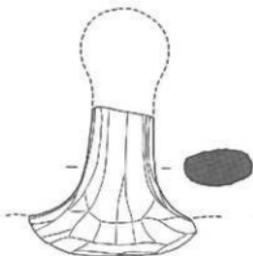
338



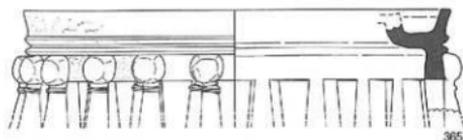
328



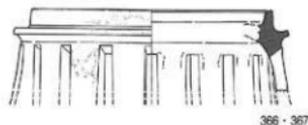
339



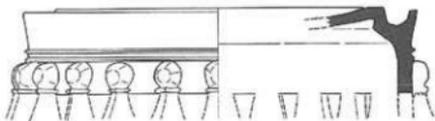
329



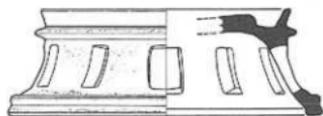
365



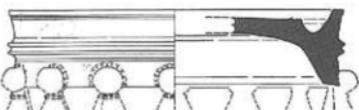
366 - 367



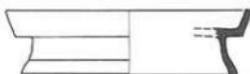
362



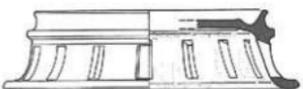
343



364



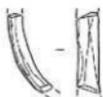
369



370



354



369



356



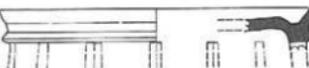
348



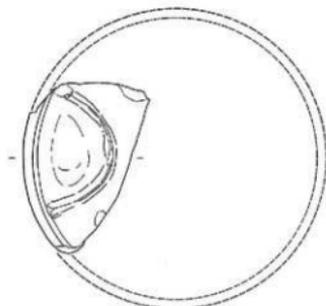
349



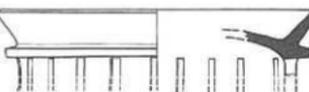
344



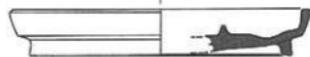
357



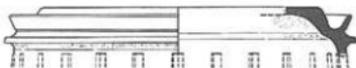
342



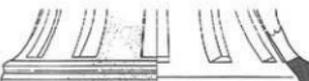
341



352



355



353

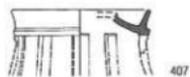


363



345

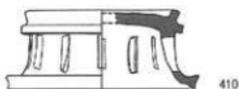




407



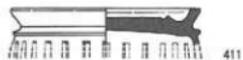
414



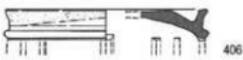
410



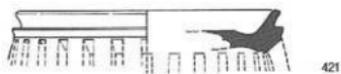
401



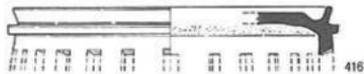
411



406



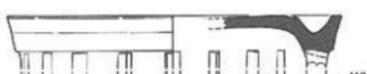
421



416



402



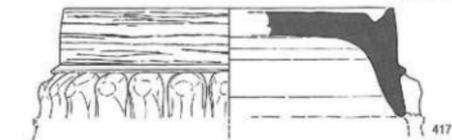
418



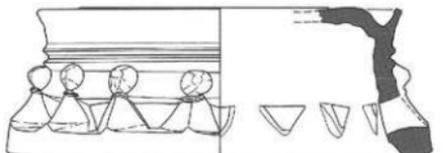
415



412



417



405



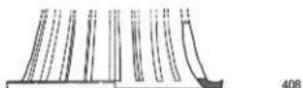
419



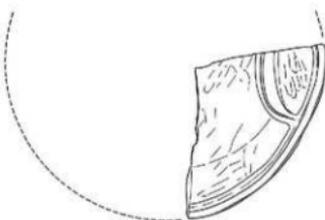
409



413



408

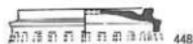


404

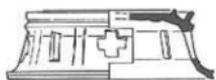




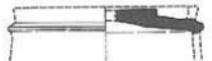
456



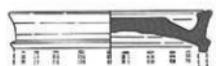
448



444



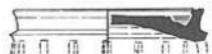
453



450



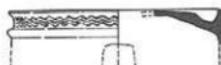
447



449



451



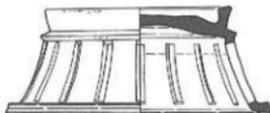
440



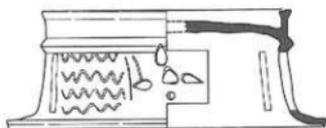
452



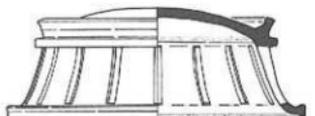
446



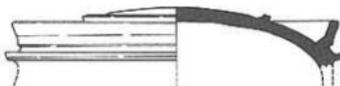
445



454-463



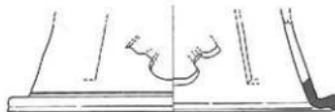
455



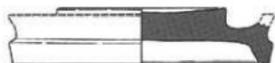
447



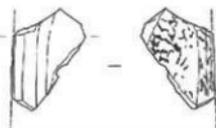
424-435



441



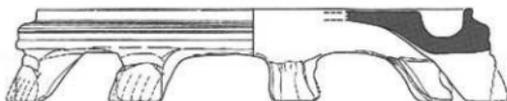
439



436

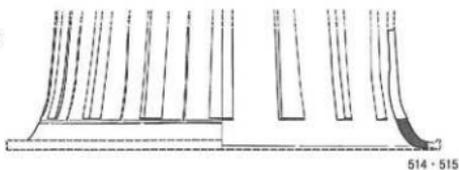
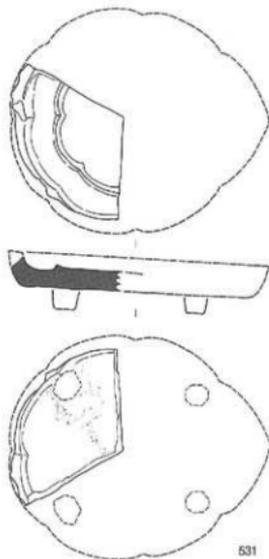
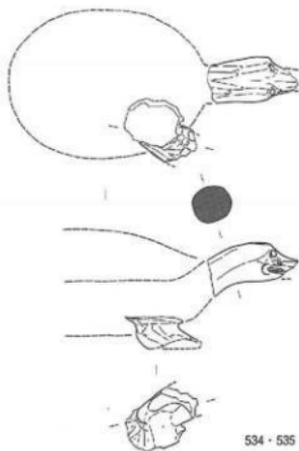
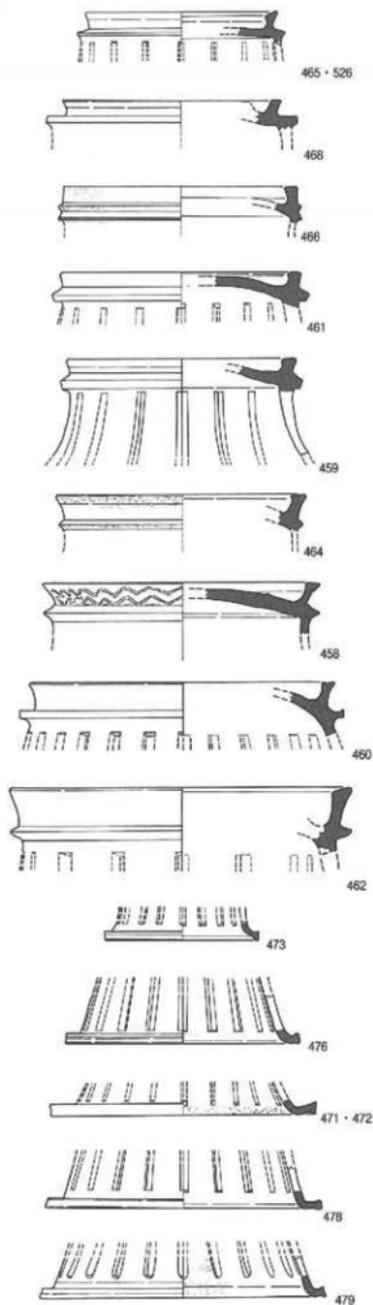


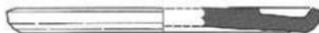
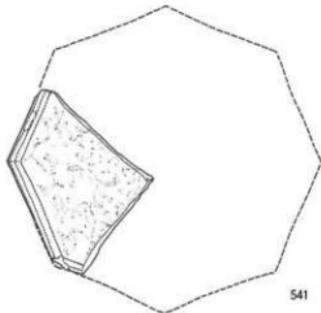
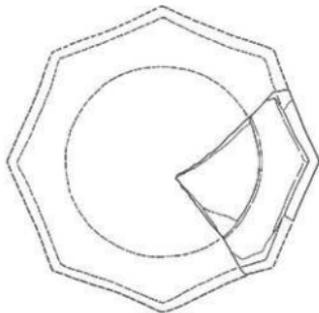
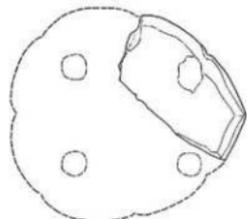
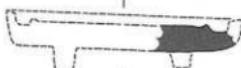
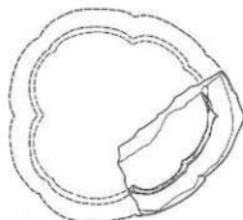
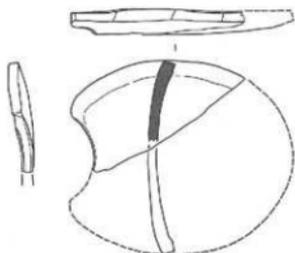
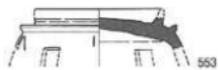
437

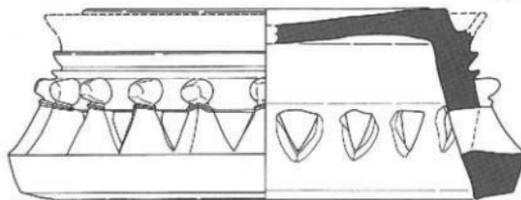
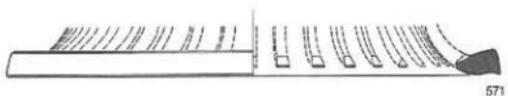
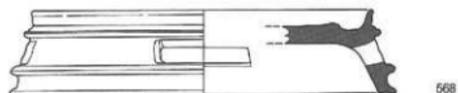
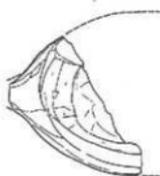
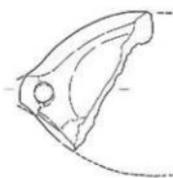
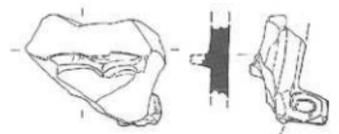
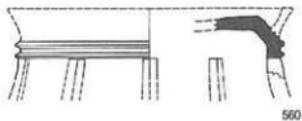
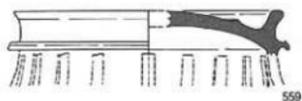
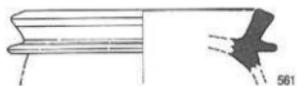
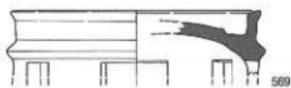
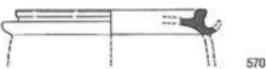
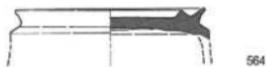


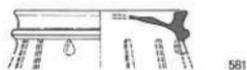
438











581



582



580



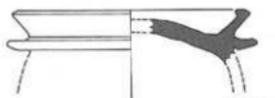
584 · 585



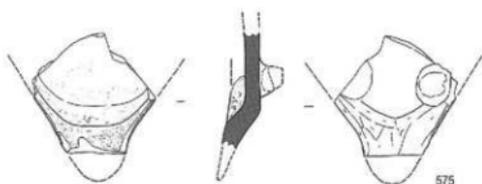
576



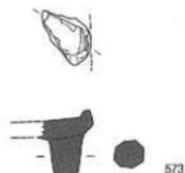
583



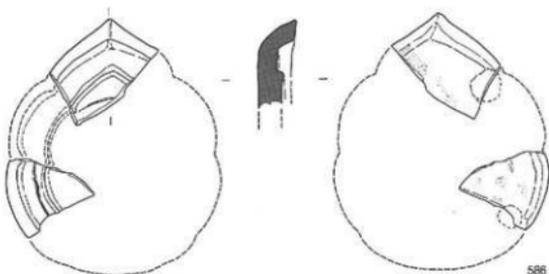
577 · 578



575



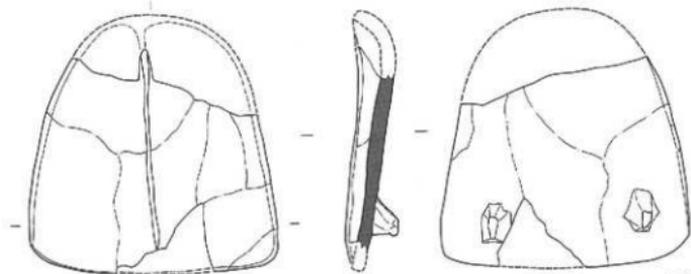
573



586 · 587



574



570



# VI. 写真図版



## 凡 例

- ・ 写真は実寸の約2分の1を基本とするが、大型のものについては、約3分の1を採用し、左下に縮尺を記した。
- ・ カラーPh. は集合写真、白黒図版Ph. は単体写真を原則とするが、348・349・350の3点はカラーPh. 2下に単体写真を掲載した。



寺院より出土した陶硯



上：左京三条二坊より出土した陶硯



下：第279次 奈良三彩 亀形硯蓋



|



1



|



5



4

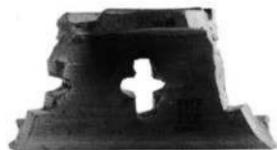


|



1:3

3



6



—



2

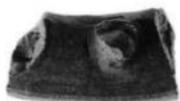


7

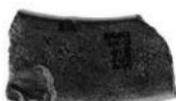


9

10



—



11



—





12



13



14

15



16



17



18



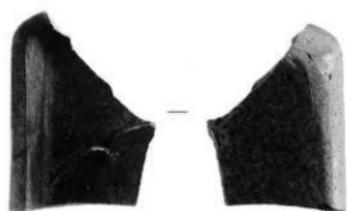
19



20



21



22

23



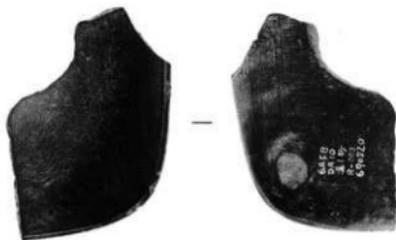
24



25



29



26



27



30

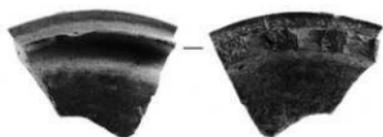
28



1 : 3



32



31



33



34



35



36

41

42

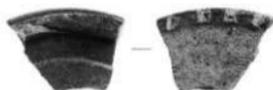


37



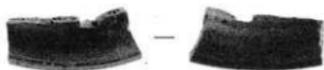
40

38



43

39



44



45



1 : 3

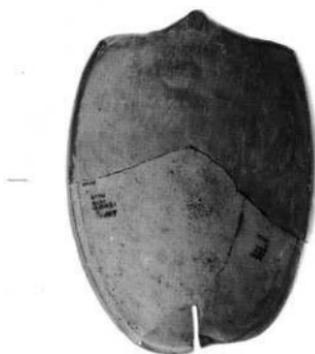
47



48



1 : 3



46



50



53



52



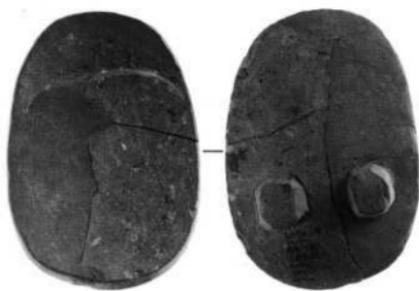
54



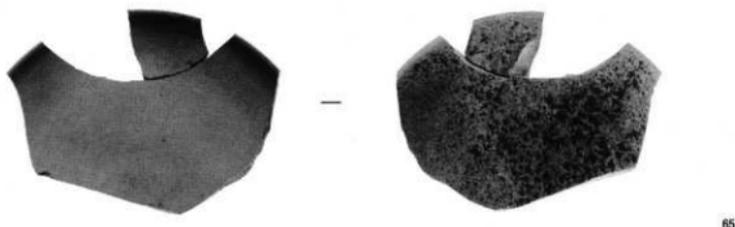
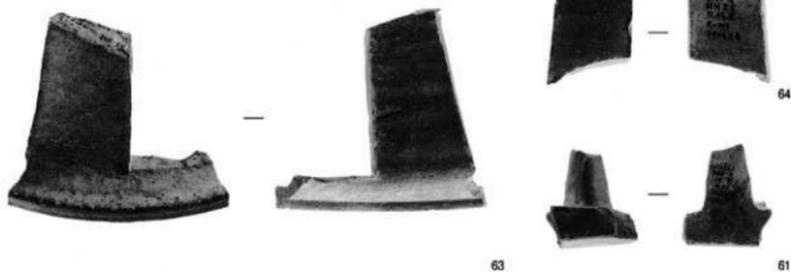
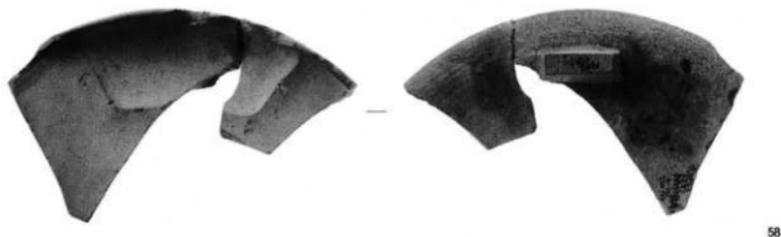
49



51



55





|



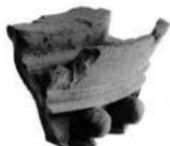
66



|



68



|



71



69



70



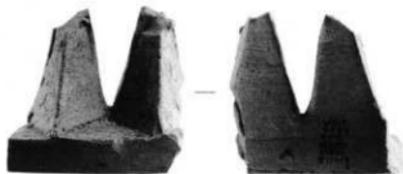
72



|



67



73

81



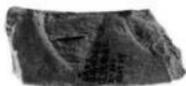
80

75



76

78



77

79



74

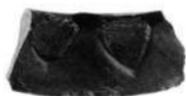


|



|





86



87



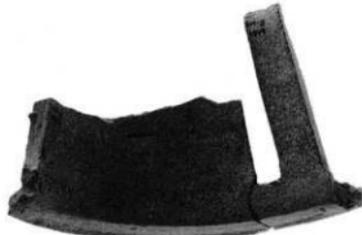
84



86



85



83



|



89



93



|



92



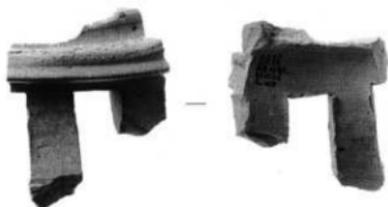
91



|



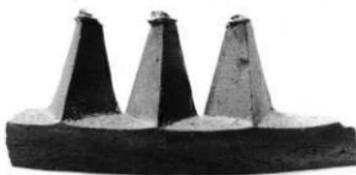
95



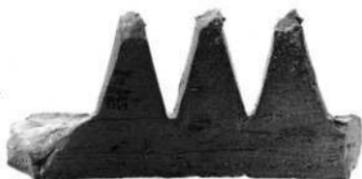
94



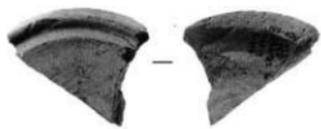
96



—



90



97



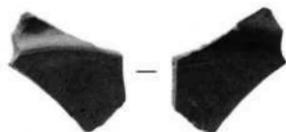
98



99



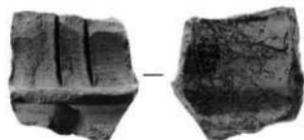
100



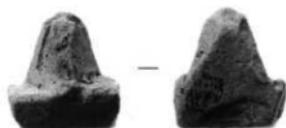
101



103



102



104



105



1 : 3



1 : 3

109



106 1 : 3

110



1 : 3



107

111



108



|



112



-



|



114

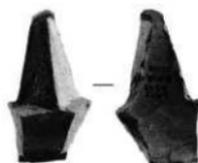
115



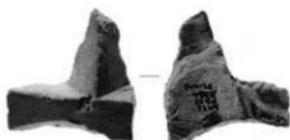
|



113



-



116

118



-



117



-



119



1 : 3

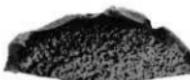
120



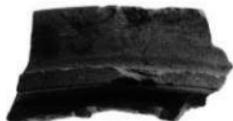
121



122



127

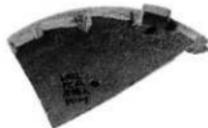


123



129

128



124

126



125



130

131



132

133



134

136



137

139



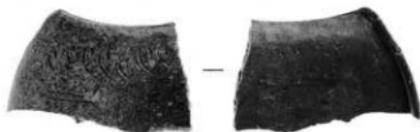
138

135



1 : 3

140



143



145



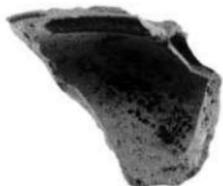
144



141



142



146



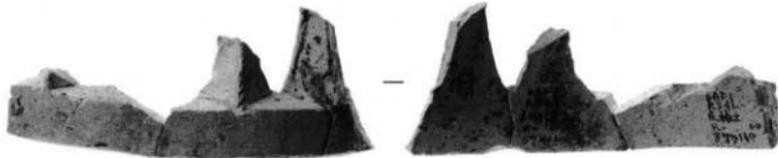
148



149



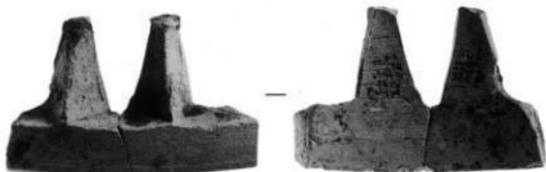
147



150



156



151



153



154



158



152



157



159



155



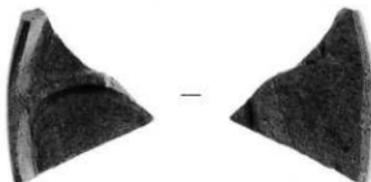
160



163



161



164



167

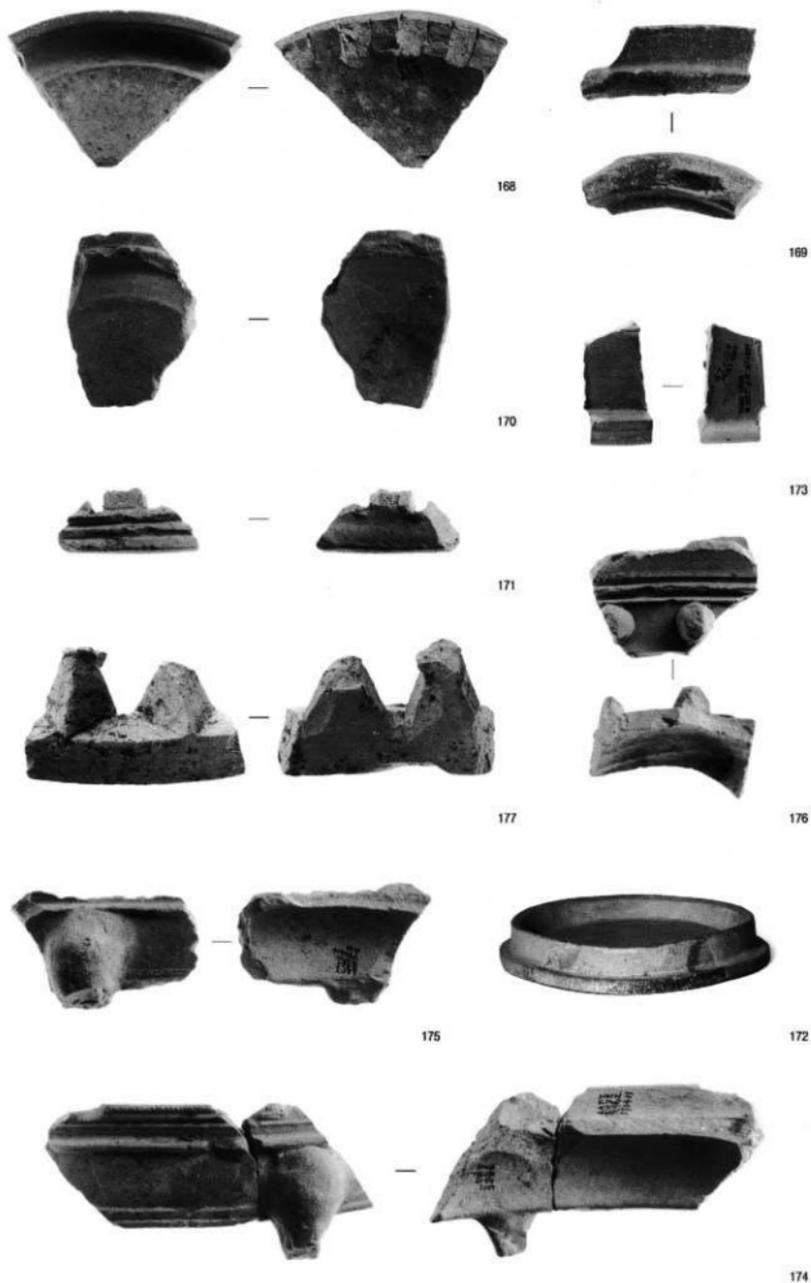
166



165

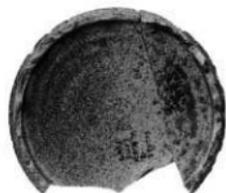


162





|



1 : 3



181



180 1 : 3

186



|



179 1 : 3



187



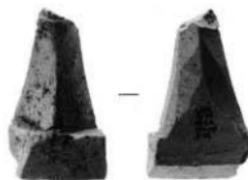
183



184



182

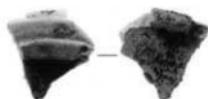


185

178



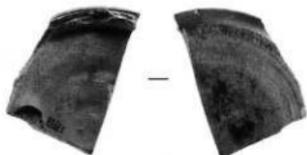
188



193



191



192



183

190 1:3

189



195



196



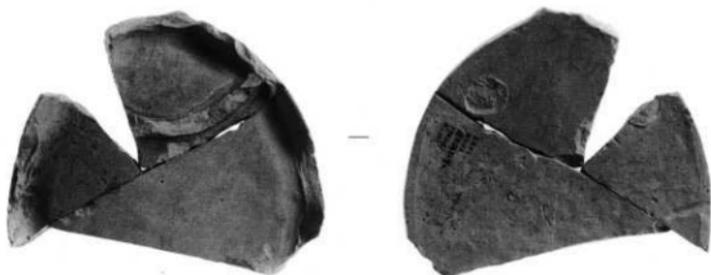
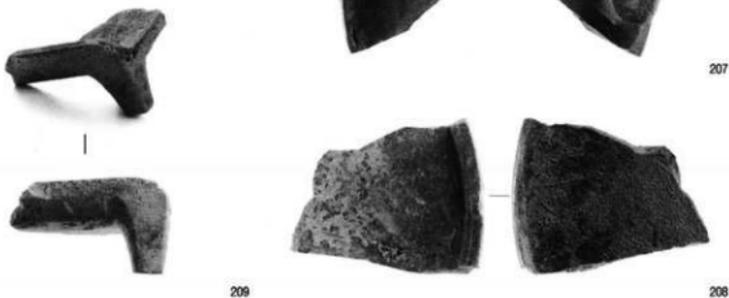
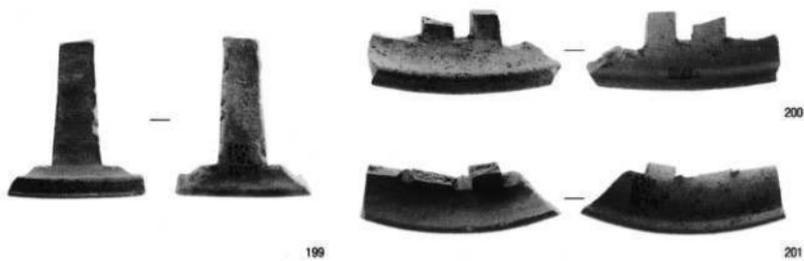
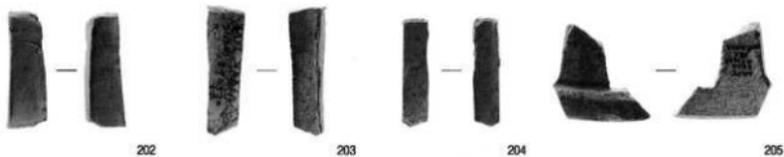
194



197



198





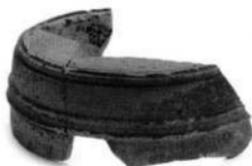
211



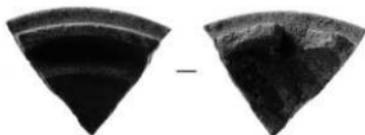
214



213



1:3



216

1:3

212



1:3



217 1:3

215



218



219



221



220



224



223



225



226



227



222

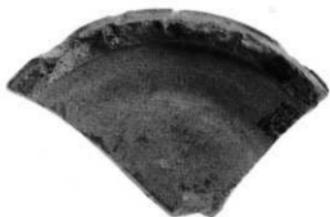


229



228

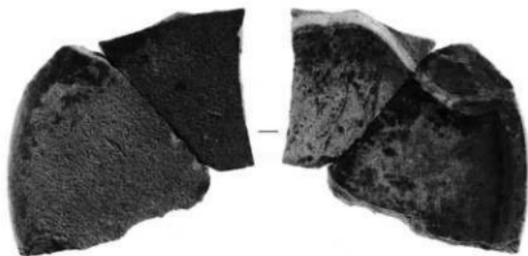
232



230



231



233

234



235

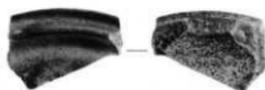


236





239



238

245



240



241



242



243



244



246

250



247



249

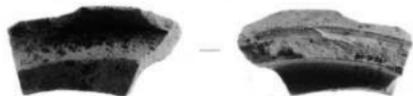




1 : 3



251



253

252



254



259 1 : 3



257



258



255



256



260 1:3



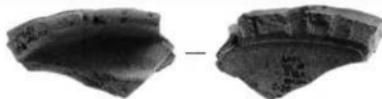
263



261



266



264



—



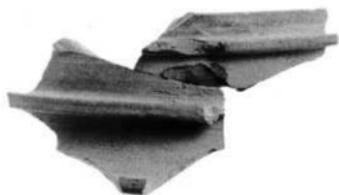
262



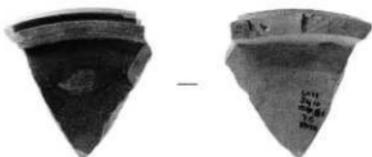
—



265



267



272

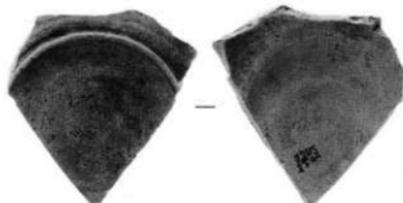
271



273



274



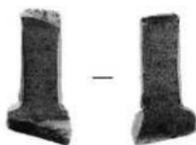
275



270



269



268



|



276



|

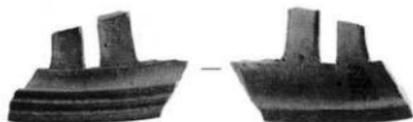


278



—

277



—

283



281



—

282



|



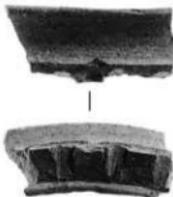
279



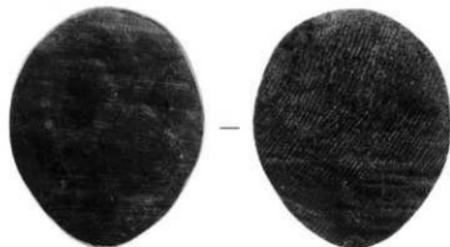
280



286



284



285



1 : 3

288



289

290



291

292



296



294



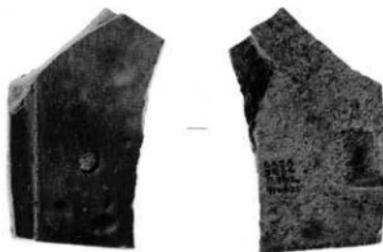
293



295



297



299



298



302



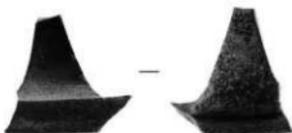
303



305



306



306



307



309

300



310



301

304



300



317



318



311

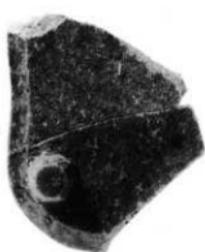


312

1:0



315



314

313

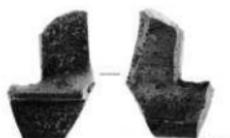


316

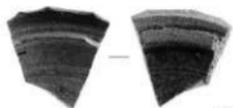


319

321



325



327



329



330



328 1:3

322



1:3



331



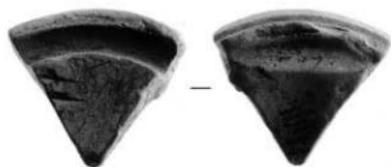
323



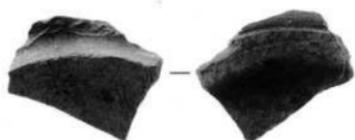
324



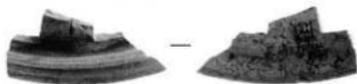
326



335



333



334



336



340 1 : 3

337



332



338



—



339



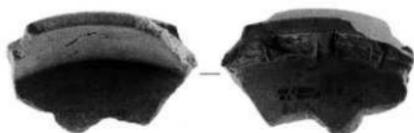
1 : 3

344

343



345



341

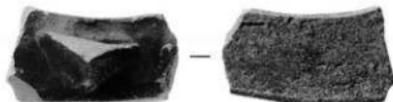


346



347

342



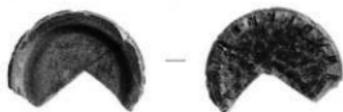
352



351

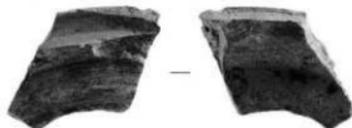


355

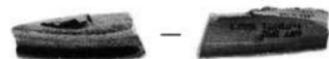


354

353



358



361



362

363



359



356



360



357



364



365



369



368



366



367



371



370



402



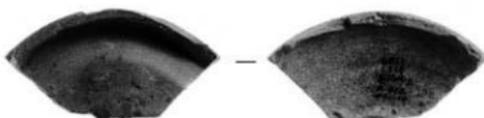
404



409



401



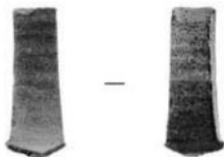
406



407 1 : 3



405



403



408



410



415



411

416



412



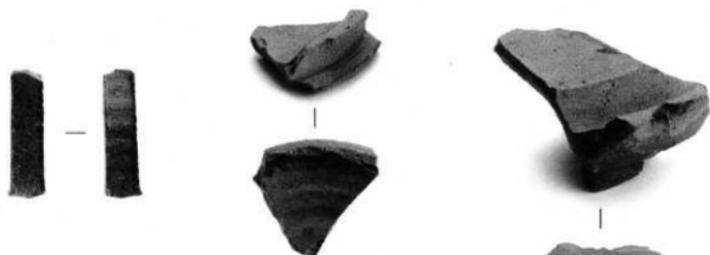
413



414



417



423

422



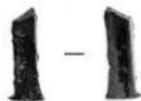
421



418



419



420



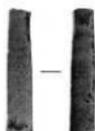
424



425



426



427



428



429



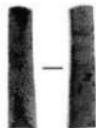
430



431



432



433



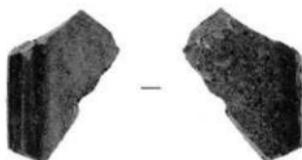
434



435



436



437





|



1:3

439



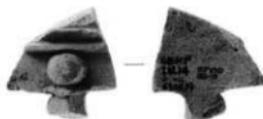
|



440



441



442



443



1:3



444



1:3



|



1:3

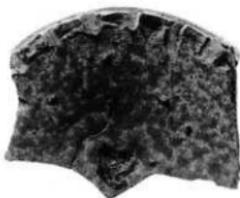
446



448



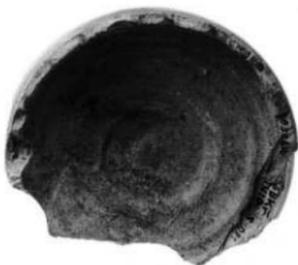
447



452



451



450



449



453



1:3

454



457

1:3

455

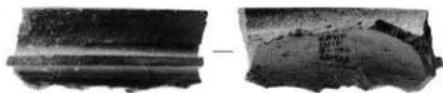


456

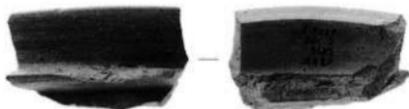


458

459



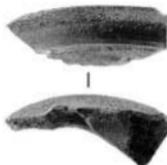
460



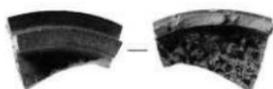
462



463



464



461

465



469



470



466



472



471



467



474



473



468



477



479



478



476



480



475



481



483



482



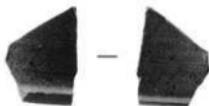
484



488



485



487



489



490



491



486



492



493



495



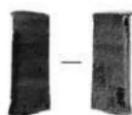
496



494



497



498



499



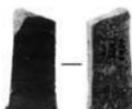
500



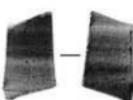
501



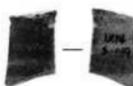
502



503



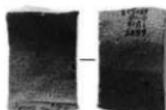
507



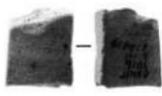
504



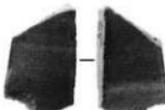
505



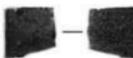
508



509



510



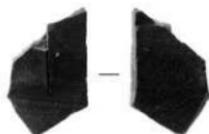
506



511



513



515



512



514



517



516



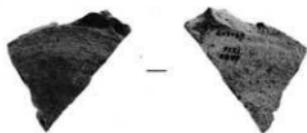
518



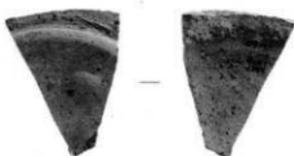
519



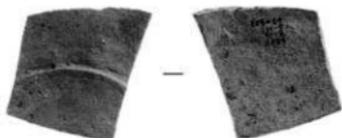
520



521



522



523



524



525



526



527



528



529



530



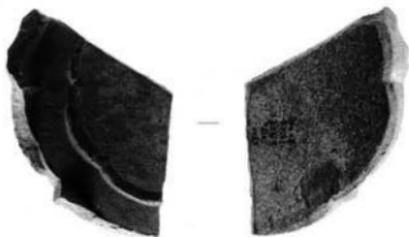
533



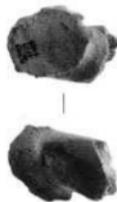
532



534



531



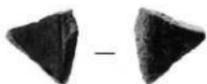
535



536



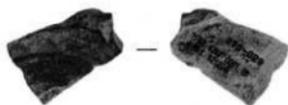
540



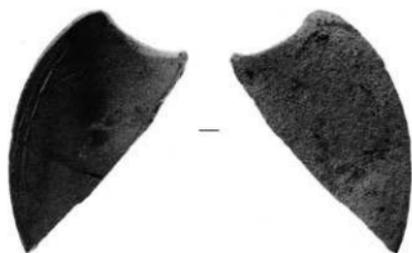
538



539



544



537



541



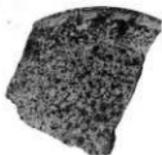
543



542



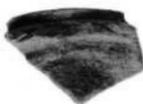
545



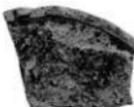
546



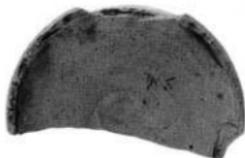
547



548



549



550

554



551



555



552

556



553



1 : 3



559



558 1 : 3



560



562



561

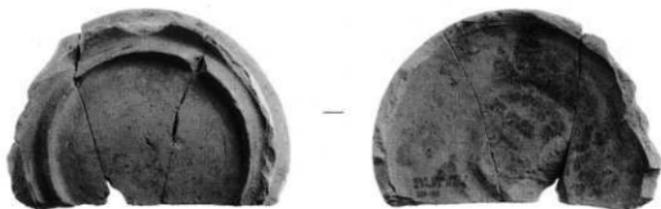


557



1 : 3

563



564



567



565

566



569



568



570



571

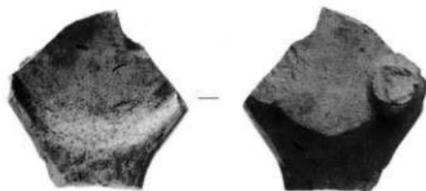


577

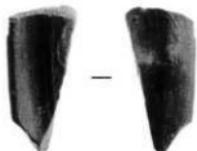


572

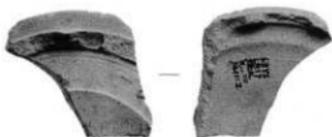
573



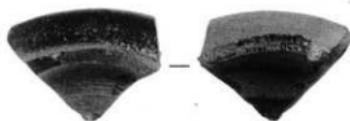
575



574



576



578



579



581



582

580 1:3



583



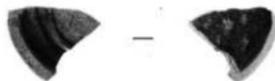
584



585



586



587

# **POTTERY INK SLABS FROM THE NARA CAPITAL SITE**

## **II**

### **THE NARA CAPITAL SITE AND TEMPLES**

Publications on Historical Materials vol.80

NARA NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES

2007

Independent Administrative Institution  
National Research Institute for Cultural Properties, Nara

---

奈良文化財研究所史料 第80冊

平城京出土陶硯集成Ⅱ - 平城京・寺院

ISBN 978-4-902010-57-2

2007年3月10日 印刷

2007年3月30日 発行

著作権 所有者	独立行政法人文化財研究所 奈良市二条町二丁目9-1	奈良文化財研究所
発行者	URL <a href="http://www.nabunken.jp">http://www.nabunken.jp</a>	
印刷者	有限会社 真陽社 京都市下京区油小路仏光寺上ル	

---

